

保証書（持込修理）

本書は、本書記載内容(右記載)で、無料修理を行うことをお約束するものです。保証期間中に、正常なご使用状態で、故障が発生した場合には、本書をご提示のうえ、お買い上げの販売店に修理をご依頼ください。

品 番	A800DR	S/No.	
お 買 い 上 げ 年 月 日	年 月 日 お買い上げ年月日の記載がない場合、無料修理規定外となります。		
保 証 期 間	対象部分 機器本体(消耗部品は除く) お買い上げの日から1年		
お 客 様	お 名 前		
	ご 住 所	〒 TEL ()	
販 売 店	店 名・住 所	上欄に記入または捺印のない場合は、必ず販売店様発行の領収書など、お買い上げの年月日、店名等を証明するものを、お貼りください。	
故障内容記入欄			

<無料修理規定>

1. 本書記載の保証期間内に、取扱説明書の注意書に従った正常なご使用状態で故障した場合には、無料修理いたします。
2. 保証期間内に故障して無料修理を受ける場合には、製品と本書をご持参、ご提示のうえ、お買い上げの販売店に修理をご依頼ください。
3. ご転居ご贈答品等で本保証書に記入してあるお買い上げの販売店に修理がご依頼できない場合には、お客様ご相談センターへご相談ください。
4. 保証期間内でも次の場合は有料修理になります。
(イ) 使用上の誤り、または不当な修理や改造による故障および損傷
(ロ) お買い上げ後の移動、落下等による故障および損傷
(ハ) 火災、地震、水害、落雷、その他の天災地変、公害、塩害、指定外の使用電源(電圧、周波数)や異常電圧による故障および損傷
(ニ) 特殊な条件下等、通常以外の使用による故障および損傷
(ホ) 故障の原因が本製品以外にある場合
(ヘ) 本書のご提示がない場合
(ト) 本書にお買い上げ年月日、お客様名、販売店名の記入のない場合、あるいは字句を書き換えられた場合
(チ) 付属品や消耗品等の消耗による交換
5. 本書は、日本国内においてのみ有効です。
This warranty is valid only in Japan.

※本書を紛失しないように大切に保管してください。

※この保証書は、本書に明示した期間、条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。従ってこの保証書によって、お客様の法律上の権利を制限するものではありませんので、保証期間経過後の修理についてご不明の場合は、お買い上げの販売店または、お客様ご相談センターにお問い合わせください。



ドライブレコーダー付
レーダー探知機

A800DR

取扱説明書

12V車専用

ダウンロード対応



このたびは、弊社製品のレーダー探知機をお買い上げいただきまして、まことにありがとうございます。本機は、運転に関する多くの情報をドライバーに発信し、安全運転をサポートします。

ピックアップ

28

ページ

すぐに使う

52

ページ

カメラユニット用 SD カードを
フォーマットする

61

ページ

取締りのミニ知識

95

ページ

公開取締り情報を表示する

118

ページ

モード設定

181

ページ

こんなときは…

株式会社ユピテル

〒108-0023 東京都港区芝浦4-12-33

6SS1903-A



確認にご注意

すぐに使う

レーダー探知機
基礎知識

ドライブレコーダー
基礎知識

レーダー探知機
カスタマイズして使う

ドライブレコーダー
カスタマイズして使う

再生する

その他

付録

3. 前方衝突防止アラート	88
---------------------	----

録画について 89

1. 常時録画	89
2. イベント記録 (Gセンサー記録とワンタッチ記録) ...	90
3. 上書きモードについて	91

レーダー探知機 カスタマイズして使う

ドライブレコーダー画面について ... 93

1. ドライブレコーダー画面切り替え方法 ...	93
2. ドライブレコーダー画面	93
3. AS 作動時画面	94

レーダー探知機用 SD カード・インター ネットを活用する 95

投稿ピンについて 100

マイエリアを登録する 102

マイキャンセルエリアを登録する 104

プリセット画面の変更 106

設定 109

待受設定 109

モード設定 118

警報設定 124

画面・LED 設定..... 127

音声設定 128

投稿設定 131

リマインダー設定 135

システム設定 136

カスタム設定 137

OBD 月間記録 設定 140

無線 LAN (WLAN) 設定 146

ドライブレコーダー カスタマイズして使う

DR (ドライブレコーダー) 設定 ... 158

再生する

再生モードの表示・再生方法 163

録画ファイルの保護について 165

再生モード 167

専用ビューアソフトで再生する ... 169

専用ビューアソフト 176

録画ファイルの読み出しについて 179

その他

故障かなと思ったら 181

リセットボタンについて 187

エラー表示一覧 188

仕様 190

カメラユニット用 microSD カード対応 一覧表 191

1. 録画時間の目安	191
2. イベント記録の最大記録件数	191

地図データベースについて 192

アフターサービス 194

付録 195

保証書 裏表紙

警報を知る

「速度取締り指針」対応 P.73

走行している場所と時間に合わせて、各都道府県警察署が公表している速度取締り指針をリアルタイムに表示します。

※「速度取締り指針」のお知らせ



「ラウンドアバウト」サイレント警報 P.81

環状交差点(ラウンドアバウト)表示対応。



3種類のマップデザイン P.111

お好みによりマップデザインが選択できます。



TYPE 1



TYPE 2



TYPE 3

「5 stars GPS」

GPS 測位間隔が 1 秒間に最大 5 回に短縮され、高速道路でも安定したポイントで警報が可能になりました。



業界初「ゾーン30」警報

新交通規制ゾーン30を警報！
エリア付近に入ると「この付近ゾーン30です*」と音声でお知らせします。
*日本語女性1の場合



業界最多「実写警報 REALPHOTO」 P.74

全国 4,500 件以上の実写を収録。



情報を知る

ハイブリッド OBDII アダプター対応 P.18

適応車種なら、OBD-HVTM を使用すると、2 つのアクティブ機能やハイブリッド専用情報を表示できます。

※別売品の OBD-HVTM が必要になります。

■ 2 つのアクティブ機能がご使用可能に！



お子様の乗車に安心
●「車速感応ドアロック」



●「エマージェンシーシグナル」



4つのセンサー搭載 P.58

照度センサーが新たに搭載されて、トンネルなどの急な明るさの変化にも対応。
気圧センサーが搭載されたことで、首都高などの入口での高度変化による気圧の変化を感知。



豊富な種類の待受画面 P.63

トヨタハイブリッド車(適応車種限定)の場合は、対応した OBDII アダプター接続でハイブリッド待受表示が可能になります。
お好みの待受画面を選んでください。



待受表示項目数 210 項目以上 P.195

※別売品の OBDII アダプターを使用した場合の項目数になります。
※適応車種が指定されています。詳しくは店頭、ホームページへ。



安全上のご注意

ご使用の前に、この「安全上のご注意」をよくお読みのうえ、正しくお使いください。ここに記載された注意事項は、製品を正しくお使いいただき、使用するかたへの危害や損害を未然に防止するためのものです。安全に関する重大な内容ですので、必ず守ってください。

- 危害や損害の大きさを明確にするために、誤った取り扱いをすると生じることが想定される内容を次の表示で区分し、説明しています。

警告：「死亡または重傷を負う恐れがある」内容です。

注意：「軽傷を負うことや物的損害が発生する恐れがある」内容です。

● 安全上お守りいただきたいこと

警告

- **異常・故障・破損時はすぐに使用を中止してください。**

そのまま使用すると、火災や発火、感電の恐れがあります。

<異常な状態の例>

- ・ 内部に異物が入った
- ・ 水に浸かった
- ・ 煙が出ている
- ・ 変な臭いがする

すぐに使用を中止し、電源コードを外して、お買い上げの販売店またはお客様ご相談センターにお問い合わせください。

● P.194「アフターサービス」

- **心臓ペースメーカー等の医療機器をご使用のお客様は、医療用機器への影響を医療用電気機器製造業者や担当医師にご確認ください。**

- **持病をお持ちの方や妊娠の可能性がある、もしくは妊娠されている方は、本機を使用される前に医師にご相談ください。**

- **本機を長時間使用しない場合、本体から電源コードを外してください。**
車両バッテリーの放電や火災の原因となります。

絵表示について

- **必ず実行していただく「強制」内容です。**

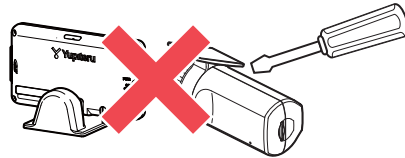
- **してはいけない「禁止」内容です。**

- **気をつけていただきたい「注意喚起」内容です。**

● 関連するページを示します。

- **サービスマン以外の方は、絶対に機器本体および同梱品を分解したり、修理しないでください。**

感電や故障の原因となります。内部点検や調整、修理は販売店にご依頼ください。



- **本機を次のような場所に保管しないでください。**

変色や変形、故障の原因となります。

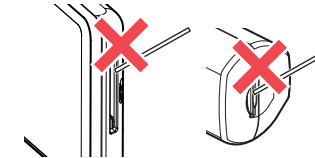
- ・ 直射日光が当たる場所や暖房器具の近くなど、温度が非常に高い所
- ・ 湿気やほこり、油煙の多い所
- ・ ダッシュボードや炎天下で窓を閉め切った自動車内

- **本機を火の中、電子レンジ、オーブンや高圧容器に入れたり、加熱したりしないでください。**

破裂、発火や火傷の原因となります。

- **穴やすき間にピンや針金等の金属を入れないでください。**

感電や故障の原因となります。



- **病院内や航空機内など、使用が禁止されている場所では使用しないでください。**

電子機器などが誤作動する恐れがあり、重大な事故の原因となります。

- **本機を可燃性ガスの多い環境では使用しないでください。**

爆発や火災の原因となります。

- **SD カードおよびその他の同梱品は、子供の手の届かない場所に保管してください。**

誤って飲み込んでしまう恐れがあります。

注意

- **結露したまま使い続けないでください。**

故障や発熱などの原因となります。(気温の低いところから高いところへ移動すると、本機内に結露が生じることがあります。)

- **濡れた手で操作しないでください。**

感電の原因となります。



- **落としたり、強いショックを与えないでください。**

破損、故障の原因となります。

- **各端子に異物が入らないように、取り扱いにご注意ください。**

故障の原因となります。

- **本体の近くに磁石などの磁気を帯びた素材を置かないでください。**

故障の原因となります。

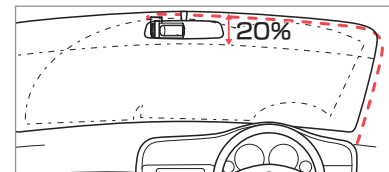
- **本機は精密機械です。**

静電気 / 電氣的ノイズ等でデータが消えることがあります。データが消えると作動しません。

● 取り付けについて

警告

- **カメラユニットの取り付けは、フロントガラスの上部 20%の範囲内に取り付けてください。**



- **取り付けは、運転や視界の妨げにならない場所、また、自動車の機能(ブレーキ、ハンドル等)の妨げにならない場所に取り付けてください。**

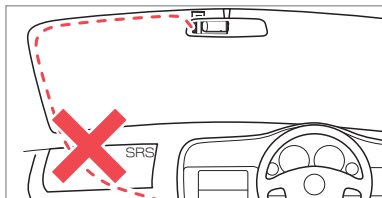
誤った取り付けは、交通事故の原因となります。

- **粘着マット、粘着シートの貼り付け位置は、汚れ・ホコリを十分に落としてください。**

粘着力を弱め、本機が脱落する恐れがあります。

- ❌ エアバッグの近くに取り付けたり、配線をしないでください。

万一のとき動作したエアバッグで本機が飛ばされ、事故やケガの原因となります。また、コード類が妨げとなり、エアバッグが正常に動作しないことがあります。



⚠️ 注意

- ❗ 取り付けは確実に行ってください。また、定期的に点検を行ってください。本体などの脱落・落下等によるケガや事故、物的損害をこうむる恐れがあります。

- ❗ 突起部分などにご注意ください。取り付けや取り外しの際、突起部分などでケガをする恐れがあります。

● 電源コードについて

⚠️ 警告

- ❗ 電源コードは確実に差し込んでください。

接触不良を起こして火災の原因となります。

- ❗ お手入れの際は、電源コードを抜いてください。

感電の原因となります。

- ❗ シガーライターソケットは単独で使ってください。

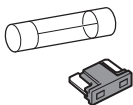
タコ足配線や分岐して接続すると、異常加熱や発火の原因となります。

- ❗ シガーライターソケットやシガープラグコードのマイナス端子、プラス端子の汚れはよく拭いてください。

接触不良を起こして火災の原因となります。

- ❗ 指定以外のヒューズは使用しないでください。

指定以外のヒューズを使用すると異常過熱や発火の原因となります。ヒューズは必ず同一の定格のものと交換してください。



- ❌ 指定された電源電圧車以外では使用しないでください。

火災や感電、故障の原因となります。また、ソケットの極性にご注意ください。本機はマイナースアース車専用です。

- ❌ コードを傷つけたり、無理に曲げたり、加工しないでください。

故障や感電の原因となります。



● OBD II アダプター（別売品）について

⚠️ 注意

- ❗ OBD II アダプターを抜くときは、電源ケーブルを引っ張らずに、アダプター本体を持って抜いてください。

ケーブルを傷つけ、感電やショートによる発火の原因となります。

- ❗ お手入れの際は、OBD II アダプターを抜いてください。

感電の原因となります。

● SDカードについて

⚠️ 警告

- ❗ SD カードの出し入れは、本機の電源 ON になっていないことを確認して行ってください。

- ❗ SD カードは一方方向にしか入りません。挿入方向をよくお確かめの上、挿入してください。

無理に押し込むと、本機が壊れることがあります。

● 本機の操作・運転について

⚠️ 警告

- ❗ 走行中は運転者による操作、画面の注視をしないでください。

このような行為は道路交通法第 71 条への違反となり処罰の対象となります。運転者が操作する場合は、必ず安全な場所に停車してから操作してください。交通事故やけがの原因となります。

- ❗ ワンタッチ記録をするときは、周囲の安全を十分に確認したうえで素早く操作してください。

- ❌ 急発進したり急ブレーキをかけないでください。

安全運転上、大変危険です。また本体などの脱落・落下等によるケガや事故、物的損害をこうむる恐れがあります。

- ❌ 運転者は走行中に操作しないでください。

走行中の操作は前方不注意による事故の原因となります。必ず安全な場所に停車し、サイドブレーキを引いた状態で操作してください。

- ❌ 海外ではご使用にならないでください。

本機は日本国内仕様です。

● お手入れについて

⚠️ 注意

- ❗ カメラのレンズが汚れている場合は、やわらかい布などに水を含ませて、軽く拭いてください。

乾いた布などでふくとキズの原因となります。

- ❌ 本機の外装を清掃する場合は水や溶剤は使わずに、乾いた柔らかい布で行ってください。

内部に異物が入った場合は使用を中止し、お買い上げいただいた販売店にご相談ください。

- ❌ ベンジンやシンナー等の揮発性の薬品を使用して拭かないでください。

塗装面を傷めます。



● その他

⚠️ 注意

- ❗ 車両から離れるときや使用しないときは、電源 OFF してください。

バッテリー上がりの原因となります。

使用上のご注意

- 本機を使用中の違反に関しては、一切の責任を負いかねます。日頃からの安全運転をお心がけください。
- 電波の透過率が低いガラス（金属コーティングの断熱ガラスなど）の場合、電波が受信しにくくなり、GPS 測位機能がはたらかない場合や、取締りレーダー波の探知距離が短くなる場合があります。
- 本機を取り付けたことによる、車両や車載品の故障、事故等の付随的損害について、弊社は一切その責任を負いません。

- ・自然災害や火災、その他の事故、お客様の故意または過失、製品の改造等によって生じた損害に関して、当社は一切の責任を負いません。
- ・説明書に記載の使用方法およびその他の遵守すべき事項が守られないことで生じた損害に関し、当社は一切の責任を負いません。
- ・本機の仕様および外観、アイコン、表示名、表示の内容は、実際と異なったり、改良のため予告なしに変更する場合があります。
- ・本製品の取り付けによるダッシュボードおよび車両の変色・変形（跡が残る）に関し、当社では補償いたしかねます。

レーダーアラームに関する注意

- ・走行環境や測定条件などにより、取締りレーダー波の探知距離が変わることがあります。
- ・狙い撃ちの取締り機（ステルス型取締り機）は、計測する瞬間だけ電波を発射するため、受信できなかったり、警報が間に合わない場合があります。先頭を走行する際はくれぐれもご注意ください。
- ・レーダー波を使用しない速度取締り（光電管式など）の場合、事前に探知することができませんので、あらかじめご了承ください。

無線 14 バンド受信機能に関する注意

- ・カーオーディオやカーナビ、カーエアコン、ワイパー、電動ミラーなどのモーターノイズにより、反応する場合があります。あらかじめご了承ください。
- ・本機は、受信した音声聞くことができる交信音声受信機能（復調）を搭載しておりますが、デジタル方式や、デジタル信号での通信は、受信しても内容はわかりません。また、各無線交信は、数秒間で終わることが多いため、交信内容を完全に聞き取ることができない場合もあります。
- ・カーロケーターシステムは、全国的に新システムへの移行が進んでいます。現在は受信可能な地域であっても今後、新システムへの移行により受信できなくなる場合がありますので、あらかじめご了承ください。新システムが導入された地域や、新システムに移行した場合、カーロケ無線の警報や、ベストパートナー 6 識別は、はたらかません。

録画についての注意

- ・本機は連続で映像を記録しますが、すべての状況において映像の記録を保証するものではありません。
- ・本機は事故の証拠として、効力を保証するものではありません。
- ・本機の故障や本機使用によって生じた損害、および記録された映像やデータの消失、損傷、破損による損害については、弊社は一切その責任を負いません。
- ・本機で録画した映像は、使用目的や使用方法によっては、被写体のプライバシーなどの権利を侵害する場合がありますが、弊社は一切責任を負いません。
- ・本機の動作を確かめるための急ブレーキなど、危険な運転は絶対におやめください。
- ・LED 式信号機は点滅して撮影される場合や色の識別ができない場合があります。そのような場合は、前後の映像、周辺の車両状況から判断してください。それにより発生した損害については弊社は一切責任を負いません。
- ・録画条件により、録画のコマ数が変わる場合があります。
- ・運転者は走行中に電源ランプ等を注視したり、操作しないでください。上書き禁止にするときは、周囲の安全を十分に確認したうえで素早く操作を行ってください。
- ・事故発生時は、録画ファイルが上書きされないように必ず SD カードを保管してください。
- ・本機は精密な電子部品で構成されており、下記のようなお取り扱いをすると、データが破損する恐れがあります。
 - ※本体に静電気や電気ノイズが加わった場合。
 - ※水に濡らしたり、強い衝撃を与えた場合。
 - ※長期間使用しなかった場合。
 - ※パソコンでの操作時に誤った取り扱いを行った場合。

取り付けに関する注意

- ・GPS 衛星からの電波やレーダー波を受信しやすくなるため、障害物や遮へい物のない視界の良い場所に取り付けてください。
- ・車載されている他の電装機器のアンテナの近くなど、他の電装機器の電波干渉により GPS 衛星の電波を受信できない場合があります。本機を取り付ける場所は、他の電装機器との間隔を十分取ってください。
- ・本機の周囲に他のものを配置しないでください。フロントガラスに映り込む可能性があります。
- ・テレビアンテナの近くで使用すると、テレビ受信感度の低下、ちらつき、ノイズの原因となる可能性があります。
- ・水がかかったり、熱風があたる場所には取り付けしないでください。
- ・本機あるいは電源コードが、ドアの開閉部などにあたったり、はさまれないようにしてください。
- ・本機を道路に対して水平に、またレーダー / 無線アンテナ部が進行方向に取り付けていないと、G センサー / ジャイロセンサーが正しく動作しないことがあります。
- ・取付位置によっては、本機のフレックスディマーを照度センサ+衛星情報にした場合にフレックスディマーが常時作動することがあります。その場合は、取付位置を変更するか、フレックスディマーの設定を GPS にしてご使用ください。
- ・カメラユニットは取扱説明書に従って正しく取り付けてください。誤った取り付けは、道路運送車両法違反となるばかりが、交通事故やケガの原因となります。
- ・本書に記載のある付属品や別売品以外は使用しないでください。それ以外を使用した場合の動作に関しては保証いたしかねます。

GPS 測位機能に関する注意

- ・本機を初めてご使用になる場合は、GPS 測位が完了するまで 20 分以上時間がかかる場合があります。
- ・フロントガラスをメタリックフィルムなどで着色している場合、GPS を測位できない場合があります。
- ・車載 TV を UHF56 チャンネルに設定していると、GPS 測位できない場合があります。UHF56 チャンネル受信周波数が障害電波となり、GPS 受信に悪影響を与えるためです。
- ・新たに設置されたオービスなどのターゲットは、GPS 警報できませんのであらかじめご了承ください。
- ・GPS 警報の左右方向識別ボイスは、告知時点でのターゲット方向であり、右車線、左車線を示す訳ではありません。

画面表示に関する注意

- ・日付および時刻は、GPS 測位により自動的に設定され、日付や時刻合わせの操作は不要です。（測位状況により日付や時刻が合わないことがあります。）
- ・時刻の表示は、24 時間表示です。12 時間表示に変更することはできません。
- ・走行速度や GPS ターゲットまでの距離、自車アイコンは、GPS や G センサー、ジャイロセンサー、気圧センサー、マップマッチングシステムにより計測し表示させています。状況によっては実際と異なる場合もあります。
- ・車両の速度計は、実際より数値が高く表示される（プラス誤差）傾向があります。
- ・渋滞や低速走行時（発進直後を含む）は、速度表示を正しく表示しないことがあります。
- ・画面右下の時計表示は、GPS 非測位中と電源 ON 直後の測位完了までの間赤色で表示し、測位すると白色に変わります。一度測位したあと、トンネルなどで測位できない状況になると赤色表示に変わり、再度測位すると白色表示に戻ります。

ディスプレイユニットに関する注意

- ・液晶ディスプレイを強く押したり、衝撃を与えないでください。ディスプレイユニットの故障や破損でケガの原因となります。
- ・サングラスを使用時、偏光特性により、表示が見えなくなってしまうことがあります。あらかじめご了承ください。
- ・周囲の温度が極端に高温になると表示部が黒くなる場合があります。これは液晶パネルの特性であり故障ではありません。周囲の温度が動作温度範囲内になると、元の状態に戻ります。
- ・ディスプレイユニットを金属などで擦ったり引っ掻いたりしないでください。表示部の故障や破損でケガの原因となります。
- ・液晶パネルは非常に高密度の高い技術で作られており、99.99%以上の有効画素がありますが、0.01%の画素欠けや常時点灯する画素があります。あらかじめご了承ください。
- ・太陽等の高輝度の映像を記録すると、黒点のように映ることがありますが、故障ではありません。

撮影された映像について

- ・本機は広角レンズを使用しているため、映像の一部にゆがみや、影が生じることがあります。これは、広角レンズの特性であり、異常ではありません。

SD カードに関する注意

- SD カードリーダーライターは、使用の SD カード容量に応じたものを使用してください。容量に対応していない SD カードリーダーライターを使用すると、データの破損等により、読み込みや書き込みが、できなくなる可能性があります。
- SD カードの取り出しは、必ず電源が切れている状態で行ってください。
本機の動作中に SD カードの取り出しや挿入を行うと、SD カードの破損やデータの消失など、誤動作を起こす場合があります。
- カメラユニット用 SD カードは NAND 型フラッシュメモリとコントローラから構成されており、不良セクタが発生する場合があります。不良セクタにはデータが書き込まれませんが、データの記録が繰り返されると、不良セクタの位置が判断できなくなり、見かけ上の記録可能領域が減少します。不良セクタを修復し安定してご使用いただくため、1 ～ 2 週間に一度、フォーマットを行うことをお勧めします。
- カメラユニット用 SD カードは消耗品ですので、定期的に新品への交換をお勧めします。長期間ご使用になると、不良セクタの多発などにより正常に記録できなくなる場合や SD カードエラーになり使用できない場合があります。
- カメラユニット用 SD カードの消耗に起因する故障または損傷については、弊社は一切の責任を負いません。
- 重要な記録データは、パソコンに保存や DVD など別媒体での保管をお勧めします。
- 本機をご使用中にデータが消失した場合でも、データ等の保証について、弊社は一切その責任を負いません。

他社製品との組み合わせに関する注意

- 他社製品との組み合わせについては、動作検証等を行っておりませんのでその動作については保障することができません。あらかじめご了承ください。

シガープラグコードに関する注意

- シガープラグコードは、必ず同梱品をご使用ください。
- シガープラグコード内部には、ヒューズとスプリングが入っています。ヒューズが切れた場合は、部品の紛失に注意し、市販品の新しいヒューズ (2A) と交換してください。
なお、交換してもすぐにヒューズが切れる場合は、使用を中止し、シガープラグコードを抜いて、お買い上げの販売店、または、お客様ご相談センターにご相談ください。

電源直結コードで接続した場合

- 電源直結コードには、ヒューズホルダーが接続されています。ヒューズが切れた場合は、部品の紛失に注意し、市販品の新しいヒューズ (2A) と交換してください。なお、交換してもすぐにヒューズが切れる場合は、使用を中止し、本機から電源直結コードを抜いて、お買い上げの販売店、またはお客様ご相談センターにご相談ください。

別売品の OBD II アダプターで接続した場合

- 取り付ける車両によっては表示できない待受画面の項目があります。
- イグニッション OFF してから本機の電源 OFF するまで、数秒から数十秒かかります。
- 車検、点検等の後は、故障診断装置接続の為本機の OBD II アダプターが抜けている場合があります。その際は再度 OBD II コネクターへ本機の OBD II アダプターを挿し込んでください。

本書について

本書内には説明のために、以下の各種アイコンが記載されています。

アイコン	説明	アイコン	説明
	ボイス警報をする場合		サイレント警報をする場合
	OBD II アダプターに関する記述		同梱品を表します。
	ジャンプウィンドウに関する記述		市販品を表します。
	別売品を表します。		アドバイスをあらわします。

※ 説明のために差し支えない部分において、該当以外の機種のイラストを使用している場合があります。
※ 本書で使用している画像は、実際の画面とは見えかたが異なる場合があります。

各部の名称と働き

ディスプレイユニット

正面

照度センサー
周囲の明るさを測定します。

LED バックライト搭載 3.0 インチ液晶
タッチパネルで操作を行います。

レーダー探知機能 SD カード挿入口
SD カードアダプターと本機で使用する各種データが記録された microSD カードがあらかじめ装着されています。
(☛P.20)

△ キー (REC キー)
常時録画中にタッチすると、ワンタッチ記録を行います。
(☛P.91)

⏮ キー (SWITCH キー)
待受画面とドライブレコーダー画面の切り替えを行います。
(☛P.93)

接続コード (約 3 m)
ジャンクションユニットと接続します。(☛P.28)

背面

シリアルナンバー
製造番号が印刷されています。

電源スイッチ [PWR]
[ON] にすると電源が入ります。

※液晶パネルは非常に精密度の高い技術で作られており、99.99%以上の有効画素数がありますが、0.01%の画素欠けや常時点灯する画素があります。あらかじめご了承ください。

■ カメラユニット

正面

レンズ

※ご購入時は保護フィルムが貼ってあります。ご使用時にはがしてください。

ブラケット

ナット

カメラユニットケーブル挿入口
カメラユニットケーブルを挿入します。(☞P.29)

背面

カメラユニット用 microSD カード挿入口
本機で使用するカメラユニット用 microSD カードがあらかじめ装着されています。(☞P.22)

マイク
周囲の音を収集します。

下面

リセットボタン

カメラユニットをリセットし、システムを再起動します。(☞P.187)

シリアルナンバー
製造番号が印刷されています。

■ ジャンクションユニット

カメラユニット接続端子 [Drive Recorder]
カメラユニットに接続するコネクタを接続します。

ディスプレイユニット接続端子 [Display]
ディスプレイユニットに接続するコネクタを接続します。

DC ジャック [DC12V]
(12V 車専用)
電源直結コードなどを接続します。

アンテナ接続端子 [Antenna]
アンテナユニットのコネクタを接続します。

ブレーキ・ウインカー検出端子 [Vehicle Signal]
同梱品のブレーキ・ウインカー検出ケーブルを接続します。

コネクタの向きを確認して接続してください。

- ・シガープラグコード (同梱品)
- ・電源直結コード (同梱品)
- ・OBD II アダプター (別売品: OBD12-M、OBD-HVTM、OBD12-M II、OBD12-M III)
- ・DC プラグ⇒ミニプラグ変換コネクタ (別売品: OP-8U)

⚠ 警告

！ ジャンクションユニットの DC ジャックは USB 端子ではありません。故障の原因となりますので、本機をパソコンなど他の機器の USB 端子と接続しないでください。

■ アンテナユニット

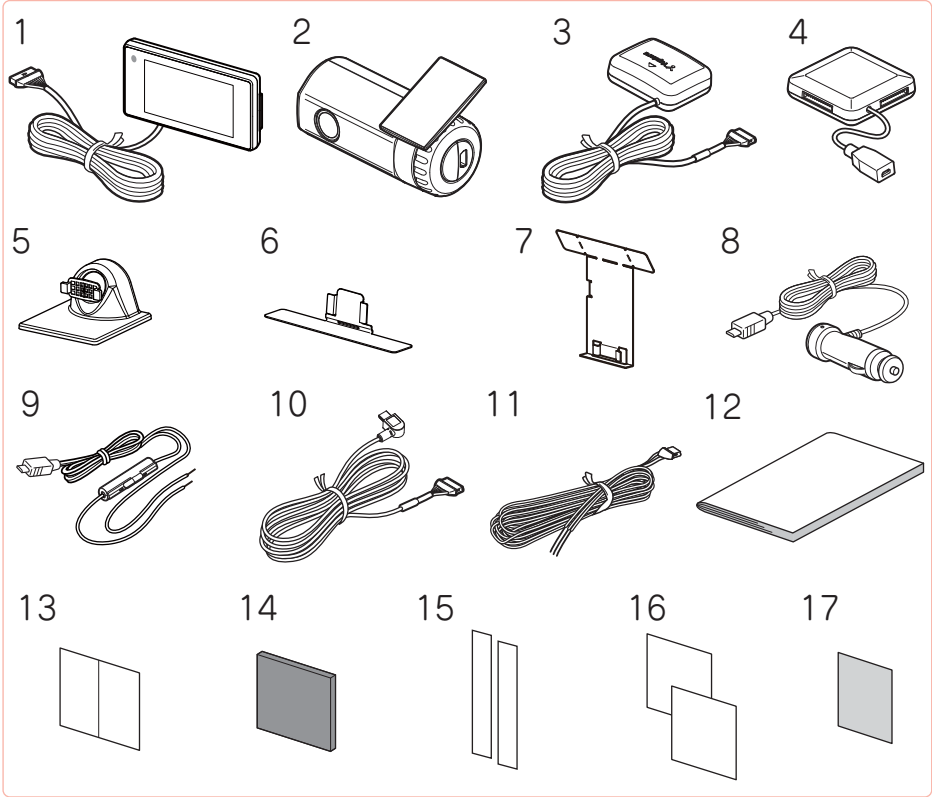
レーダー波アンテナ
取締りレーダー波を受信します。

無線・GPS アンテナ
無線や GPS 衛星からの電波を受信します。

接続コード (約 3m)

1. 同梱品

製品には万全を期しておりますが、欠品等ございましたら、お買い上げの販売店にお申し付けください。



番号	名 称	説 明
1	ディスプレイユニット (接続コード約 3m)(● P.13)	本機の設定やカメラユニットで撮影した映像を確認したりできます。
2	カメラユニット(● P.14)	映像を撮影したり、Active Safety 機能を判定するために使用します。
3	アンテナユニット (接続コード約 3m) (● P.15)	GPS、無線、レーダーを受信するアンテナユニットです。
4	ジャンクションユニット(● P.15)	ディスプレイユニット、アンテナ、カメラユニットと電源を接続します。
5	ダッシュボード取り付け用ブラケット (● P.24)	ディスプレイユニットを車両のダッシュボードに取り付けるためのブラケットで、取付角度を上下左右に調整できます。
6	ダッシュボード取り付けステー (● P.33)	ディスプレイユニットをダッシュボードに直接取り付けるときに使用します。

番号	名 称	説 明
7	宙吊り取り付けステー (ディスプレイ ユニット用)(● P.34)	ディスプレイユニットをフロントウィンドウ上部に取り付ける時使用します。
8	シガープラグコード (約 3m)(ミニプ ラグ DC12V 出力)(● P.41)	車両のシガーライターソケットから本機に電源を供給するためのコードです。
9	電源直結コード (約 3m)(ミニプラグ DC12V 出力)(● P.42)	ヒューズボックスから電源を取ります。(別途市販品が必要)
10	カメラユニットケーブル (約 3m)	カメラユニットとジャンクションユニットを接続するケーブルです。
11	ブレーキ・ウインカー検出ケーブル (約 4m)(● P.28)	ブレーキ、ウインカーの信号を検出するケーブルです。
12	取扱説明書(本書)・保証書	裏表紙が保証書になっています。 お買い上げいただいた販売店の店名・住所が記載されていることをご確認ください。記載されていない場合は、販売店に確認ください。
13	粘着シート (● P.30)	粘着マット使用時にダッシュボードに貼り付きにくい場合に使用します。
14	粘着マット (● P.30)	ダッシュボード取り付け用ブラケットをダッシュボードに固定します。
15	ディスプレイユニット用両面テープ (● P.32)	ディスプレイユニットまたはディスプレイ用ステーを取り付ける時に使用します。
16	アンテナ・ジャンクションユニット用 両面テープ (● P.38、P.39)	アンテナ・ジャンクションユニットをダッシュボード等に貼り付ける時に使用します。
17	カメラユニット用両面テープ (● P.37)	カメラユニットを取り付ける時に使用します。
—	SD カードアダプター (● P.20)	レーダー探知機用 microSD カードを装着するためのアダプターです。(ディスプレイユニットにあらかじめ装着されています。)
—	レーダー探知機用 microSD カード (4GB)(● P.20)	本機で使用する各種データが記録されています。(SD カードアダプターにあらかじめ装着されています。)
—	カメラユニット用 microSD カード (8GB)(● P.22)	ドライブレコーダーで記録される映像を保存するカメラユニット用 microSD カードです。また専用ビューアソフトも収納されています。(カメラユニットにあらかじめ装着されています。)
—	エレクトロタップ (3 個)	ブレーキ・ウインカー検出ケーブルを車両と接続する時に使用します。(● P.44)

・本機には、お買い上げの日から 1 年間の製品保証がついています。
ただし、microSD カード、粘着シートなどの消耗品は保証の対象となりません。
・本機の故障による代替品の貸出は弊社では一切行っておりません。

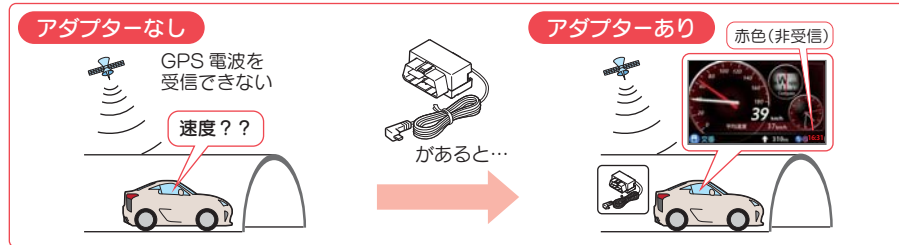
2. 別売品

お使いいただくことでより便利に、また本機の性能を 100%活用できるようになります。

■ OBDⅡアダプター

シガープラグコードのかわりに本機への電源供給を行うと同時に、車両側の OBDⅡに関する情報を取り出して画面に表示させたり、より正確な警告を行うことができるようになるアダプターです。P.65「各待受画面の説明」を参照ください。

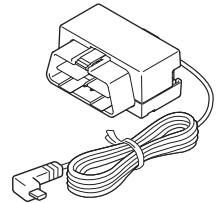
本機は、OBD12-MⅢ、OBD12-MⅡ、OBD12-HVTM、OBD12-Mの OBDⅡアダプターに対応しています。



※ OBDⅡアダプター対応車種であっても取り付けを推奨していない自動車メーカーもあり、お客様のご判断で取り付けを行ってください。

※ ディーラーに入庫する際は、OBDⅡアダプターを取り外してください。ディーラーによっては入庫を断られることがあります。

● OBDⅡアダプター OBD12-MⅢ (約 4m) 本体 6,000 円+税

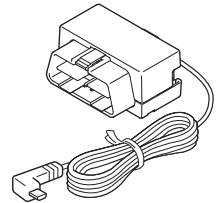


- ・車両側の OBDⅡ情報を表示できます。
- ・国産 8 メーカー対応
- ・対応車種なら、本機で使用する「ウィンカー レーンキープアシスト機能」「ブレーキ 前方衝突防止アラート 警告カット機能」の設定ができます。

※ 対応車種に関しては店頭もしくは、弊社ホームページより、最新のレーダー探知機用 OBDⅡアダプター対応表を確認してください。

※ OBDⅡアダプター (OBD12-MⅢ) 使用時は、同梱品のシガープラグコード、電源直結コードは使用できません。

● トヨタハイブリッド用 OBDⅡアダプター OBD-HVTM (約 4m) 本体 8,000 円+税



- ・トヨタハイブリッド車専用
- ・車両側の OBDⅡ情報を表示できます。
- ・対応車種なら、2つのアクティブ機能 (「車速感応ドアロック」「エマージェンシーシグナル」) やハイブリッド専用情報を表示できます。

※ 対応車種に関しては店頭もしくは、弊社ホームページより、最新のレーダー探知機用 OBDⅡアダプター対応表もしくは、ハイブリッド車専用 OBDⅡアダプター対応表を確認してください。

※ OBDⅡアダプター (OBD-HVTM) 使用時は、同梱品のシガープラグコード、電源直結コードは使用できません。

警告

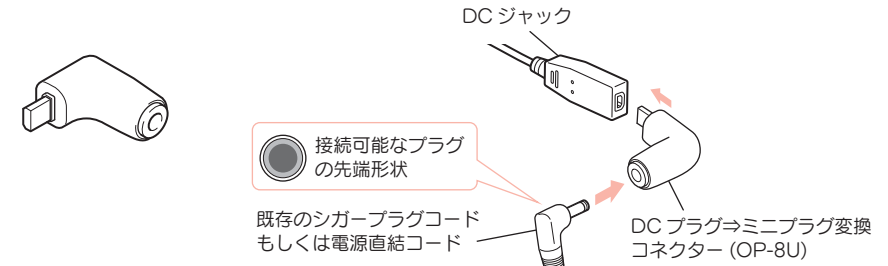
！ ジャンクションユニットの DC ジャックは USB 端子ではありません。故障の原因となりますので、本機をパソコンなど他の機器の USB 端子と接続しないでください。

注意

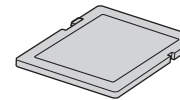
- ！ OBDⅡアダプター使用時、車種によっては画面に表示できない情報があります。詳細については、販売店の店頭や当社ホームページで OBDⅡアダプター対応表をご確認ください。
- ！ OBDⅡアダプターには、対応車種が指定されています。販売店の店頭や当社ホームページで OBDⅡアダプター対応表をご確認いただいてからお求めください。

■ DC プラグ⇒ミニプラグ変換コネクタ OP-8U 本体 800 円+税

DC プラグをミニプラグに変換するコネクタです。弊社レーダー探知機からの買い換えなどの場合に、既存の配線を使用できます。



■ 無線 LAN 機能付 SD カード OP-WLSD16 本体 7,000 円+税



無線 LAN 機能が付いたレーダー探知機用 SD カードです。データ自動更新機能が付いており、無料の公開取締り情報やオービス・取締り系&コンテンツデータ※を更新できます。

※ 更新には **ity.クラブ** へのご入会が必要となります。

3. 同梱品・別売品の購入について

- ・同梱品や別売品などを追加購入される際は、機種名とともに「XX(機種名)用 OO(必要な部品)」で、製品購入店やお近くの弊社取扱店にご注文ください。
- ・当社ホームページでご購入頂けるものもございます。Yupiteru スペアパーツ ダイレクト 詳しくは、下記ホームページをご確認ください。 <https://spareparts.yupiteru.co.jp/>

SD カードアダプター(レーダー探知機用 microSD カード)の取り出し / 装着

本書では、特にことわりのない場合、「microSD カード」を「SD カード」と表記しています。同梱品のレーダー探知機用 SD カードには、本機を起動させるためのデータ、実写警報「REALPHOTO (リアルフォト)」(● P.74) や警報画面 (● P.74) を表示させるためのデータ、音声データが保存されています。

⚠ 重要

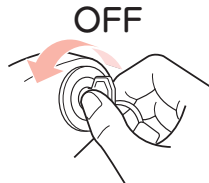
- ・レーダー探知機用 SD カードをパソコン等でフォーマットしないでください。
 - ・レーダー探知機用 SD カードはディスプレイユニット専用でお使いください。カメラユニットには使用しないでください。
- ※誤ってデータを削除した場合は、有償での対応となります。お買い上げの販売店、または弊社相談窓口 (0120-998-036) にご相談ください。

1. SD カードアダプターをディスプレイユニットから取り外す

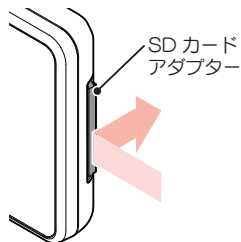
1-1 電源 OFF する

車両のエンジンを OFF する。
画面が消え、電源 OFF します。

※ SD カードアダプターの出し入れは、必ず電源 OFF の状態で行ってください。



1-2 SD カードアダプターを押し込み、アダプターが少し飛び出してから引き抜く



※ レーダー探知機用 microSD カードは、必ず SD カードアダプターと一緒に取り出してください。

※ レーダー探知機用 microSD カードが装着された SD カードアダプターは、SD カードとして使えます。

2. SD カードアダプターをディスプレイユニットへ装着する

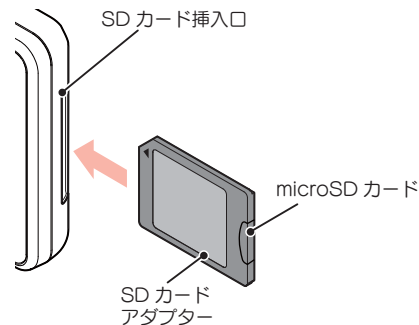
2-1 電源 OFF する

車両のエンジンを OFF する。
画面が消え、電源 OFF します。



2-2 SD カードアダプターをディスプレイユニットに挿入する

SD カード挿入口に「カチッ」と音がするまで押し込んでください。



※ SD カードアダプターを挿入するときは、レーダー探知機用 microSD カードが装着された状態で行ってください。

※ SD カードアダプターは一方方向にしか入りません。図のように挿入してください。無理に押し込むと、ディスプレイユニットや SD カードアダプターが壊れることがあります。

カメラユニット用 SD カードの取り出し / 装着

- 同梱品のカメラユニット用 SD カードには、専用ビューアソフトが収納されています。
- ※ カメラユニットと同梱品以外の SD カードとの相性による動作の不具合については保証いたしかねます。
 - ※ カメラユニット用 SD カードは、8GB 以上、32GB 以下の SDHC カードに対応しています。（SD スピードクラス「Class 10 以上」）

注意

- 電源 OFF (ディスプレイユニット表示 OFF) にしてから行ってください。
- SD カードは一方方向にしか入りません。SD カードを下図のように挿入してください。無理に押し込むと、本体が壊れることがあります。
- 同梱品以外の SD カードを使用する場合は、必ず本機でフォーマットしてから使用してください。

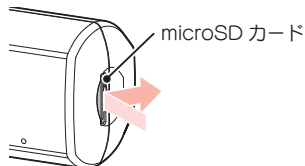
1. SD カードをカメラユニットから取り外す

1-1 電源 OFF する

車両のエンジンを OFF する。
画面が消え、電源 OFF します。

- ※ エンジンキーを OFF にしてからも、しばらくカメラユニット用 SD カードにデータの書き込みが行われています。
- ※ カメラユニット用 SD カードの抜き差しは、エンジン OFF し、画面が消えた後 10 秒以上経ってから行ってください。

1-2 カメラユニット用 SD カードを押し込み、カードが少し飛び出してから引き抜く



- ※ カメラユニット用 SD カードが飛び出した際の紛失にご注意ください。
- ※ 取り出す際に手から落とさないように注意してください。カメラユニット用 SD カードは小さいため、車内で落とすとシートの隙間などに入り込む可能性があります。

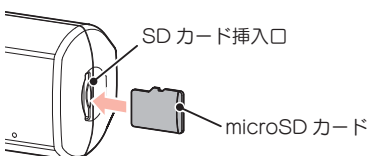
2. SD カードをカメラユニットに装着する

2-1 電源 OFF する

車両のエンジンを OFF する。
画面が消え、電源 OFF します。

2-2 カメラユニット用 SD カードを挿入する

SD カード挿入口に『カチッ』と音がするまで押し込んでください。



もしも事故が起きたら・・・

事故発生時は記録された録画ファイルが上書きされないように、必ずカメラユニット用 SD カードを取り外して安全な場所に保管してください。

SDカードの保管

1 イベント記録アイコンが表示されていないことを確認する

イベント録画アイコン



- ※ イベント記録アイコン表示中に電源 OFF した場合は、見えないファイルや、壊れた状態のファイルとなる場合があります。その場合、再度電源 ON すると修復されます。詳細は P.90 を参照ください。
- ※ 電源 OFF したときに、他の SD カードに入れ替えないでください。修復ができなくなる場合があります。

2 本機を電源 OFF する



エンジンキーを OFF にし、本機を電源 OFF します。
エンジン OFF 後、約 10 秒間待ちます。

3 SD カードを押し込み、少し飛び出してから引き抜く

4 カメラユニット用 SD カードを保管する

・保管場所について・・・

SD カードは精密な電子部品で構成されており、下図のような場所でお取り扱い、保管をすると、録画ファイルが破損する恐れがあります。



※ 事故発生時の参考資料として使用することができません。事故の証拠として、効力を保証するものではありません。

バックアップ機能について

重大事故などで急に電源が断れた場合、バックアップ機能により、現在記録中の映像の破損を防いで保存します。

※ SD カードが飛び出した際の紛失にご注意ください。

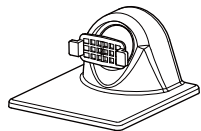
こんなときに録画ファイルが役立ちます

例 赤信号を無視して交差点に入ってきた車両との側面衝突事故で、加害車両のドライバーは進行方向の信号は青で、事故原因は「あなた」が信号無視したからだと主張した場合。



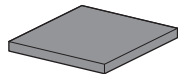
・信号の色などが記録されていれば事故の参考資料になり、早期解決につながります。

ダッシュボード取り付け用ブラケットの調整



ダッシュボード取り付け用ブラケット

自由自在な角度調整が行えるボールジョイント方式のブラケットです。
[特許出願中]

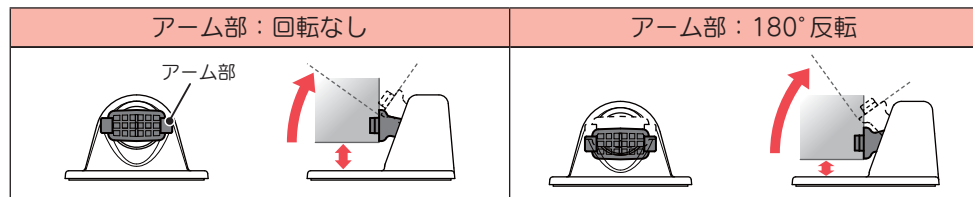


粘着マット

国土交通省の保安基準改正によるフロントガラスの取り付け規制に伴い、新素材の粘着マットを採用し、ダッシュボードへの取り付けをスマートにしました。
強力な粘着力により、ダッシュボードに安定して設置できます。

ダッシュボード取り付け用ブラケットは、アーム部の取り付け向きを 180° 変えることで、ディスプレイユニットの取り付け高さを抑えることができます。

アームの向きを変えると、ディスプレイユニットを起こす角度は広がりますが、左右の調整角度は狭くなります。取り付け面の角度に応じて調整してください。

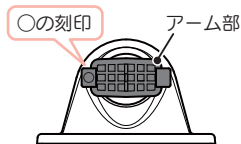


1. アーム部取り外し

警告

❗ 取り付け時のブレ防止のため、取り付けは固くなっています。ケガやブラケットの破損に、十分気をつけて行ってください。アーム部を取り外した際には、紛失に注意してください。

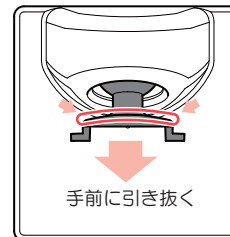
■ 通常時の刻印の位置



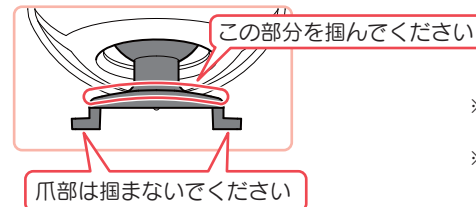
※ アーム部の前面左側の爪に○の刻印があります。

1-1 アーム部のツバの部分を布などで保護する

1-2 ラジオペンチなどを使用し、手前に引き抜く



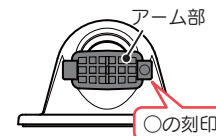
拡大図



※ ラジオペンチなどを使用すると、簡単に抜けます。
※ 爪部を掴むと爪が折れる恐れがあります。必ずツバの部分を掴んでください。破損の原因となります。

2. アーム部取り付け

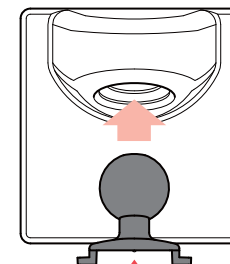
■ 付け替え後の刻印の位置



※ アーム部の前面右側の爪に○の刻印があります。

2-1 アーム部を 180° 反転する

2-2 アーム部の中央をブラケットの穴に真っすぐに押し込む



まっすぐ押しこむ

メンテナンス(ヒューズの交換)

接続状態でエンジンをかけ、ディスプレイユニットの電源スイッチが ON の状態でも電源 ON にならない場合は、ヒューズ (2A) が切れている可能性があります。

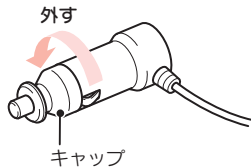
※ 交換時、ヒューズや部品を落下させないようにしてください。

1. シガープラグコード

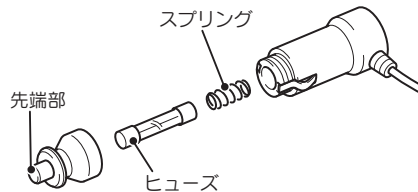
<準備するもの>

管ヒューズ：2A(30 × 6.5mm)

1-1 キャップを外す



1-2 ヒューズを交換する



※ キャップ先端部が外れるので、落下に注意してください。

※ スプリングの紛失に注意してください。

1-3 キャップを閉める

2. 電源直結コード

<準備するもの>

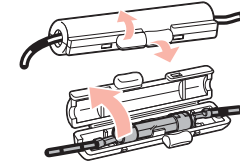
管ヒューズ：2A(30 × 6.5mm)

⚠ 注意



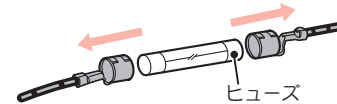
作業中のショート事故防止のため、接続するときは、車のバッテリーのマイナス端子を必ず、外してから接続してください。

2-1 ヒューズホルダーを開け、ヒューズを取り出す

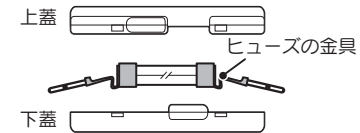


※ ヒューズはコードと一緒に取り出します。

2-1 コードからヒューズを取り外し、交換する



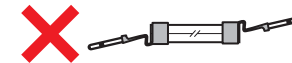
2-2 新しいヒューズをヒューズホルダーに入れる



※ ヒューズの金具は、上蓋に接触しないように、図の向きにしてください。

※ 金具の向きが違えば上蓋の突起に接触し、破損・故障の原因となります。

※ 下蓋の溝に合わせてはめ込みます。



2-3 ヒューズホルダーを閉じる

※ コード等を挟み込まないようにしてください。

3. OBDⅡアダプター(OBD12-MⅢ、OBD-HVTM)

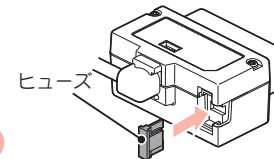
<準備するもの>

低背ヒューズ：2A

3-1 OBDⅡアダプターをコネクタから外す

3-2 ペンチなどでヒューズを取り外す

3-3 新しいヒューズと交換する



取り付け(コードの接続)

⚠ 注意

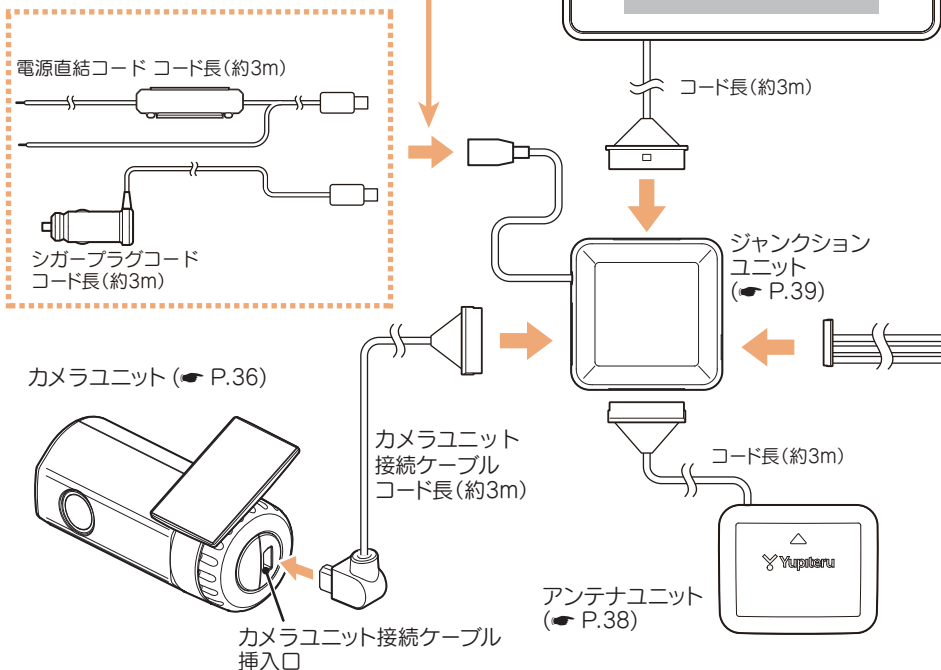


- ・接続は確実に行ってください。外れたコードが運転の妨げとなり、思わぬ事故の原因となります。
- ・コードの接続または取り外しをする場合は、電源直結コードを取り外した状態で行ってください。
- ・別機種のディスプレイユニット、アンテナユニットなどは絶対に使用しないでください。必ず同梱品をお使いください。

1. コードの接続

- ・下図のようにそれぞれ正しく接続してください。
- ・電源直結コードのグランド側は、グランドアースに接続してください。
- ・ブレーキ・ウィンカー検出ケーブルは同梱品のエレクトロタップを使用し、しっかり接続してください。接続後は必ず絶縁処理をしてください。(● P.44「エレクトロタップの使いかた」)

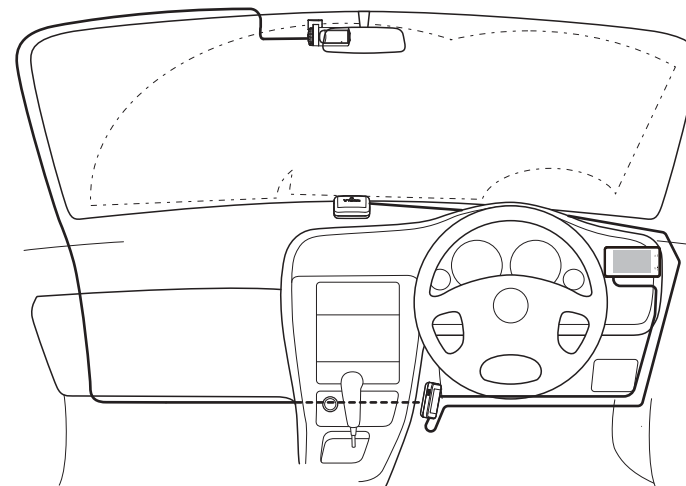
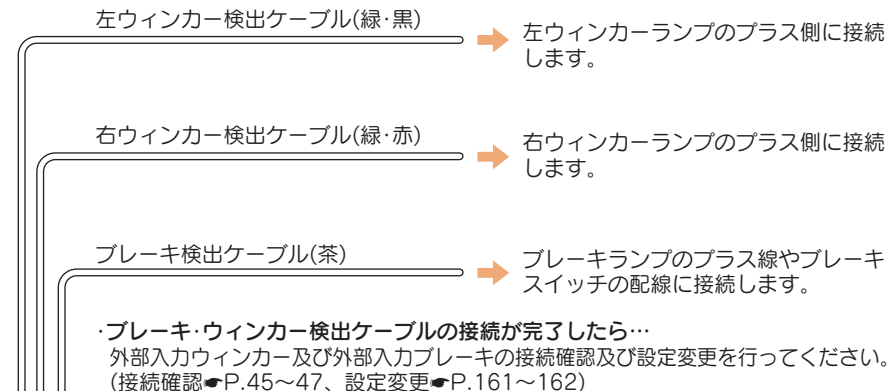
ジャンクションユニットに電源コードや別売品のOBD II アダプターを接続する際は、必ずコネクターの向きを確認して接続してください。上下逆や、斜めに接続したり、奥まで接続できていないと故障したり動作が不安定になることがあります。無理に接続しようとすると、破損や故障の原因となります。



ブレーキ・ウィンカー検出ケーブル(約4m)(● P.44)

※ブレーキ・ウィンカー検出ケーブルの接続先は、各社車両メーカーへの問い合わせ、またはテスターなどを使用して下記の車両のケーブルに正しく接続してください。

※別売品のOBD12-MⅢを接続している場合、OBD12-MⅢより車両側から情報を検出し使用することも可能です。ただし、車種によっては使用できない場合がありますので、ご購入前に弊社ホームページより、最新のレーダー探知機用OBD II アダプター対応表を確認してください。



- ・必要に応じ市販品のコードクリップなどでコードを固定してください。
- ・各ユニット取付方法は●P.30～43を参照ください。

ディスプレイユニット取り付け

本機を使用する手順として「ディスプレイユニットを取り付ける」「カメラユニットを取り付ける」「アンテナユニットを取り付ける」「ジャンクションユニットを取り付ける」「電源コードの配線」の手順に従って説明します。

まずディスプレイユニットを取り付けます。下記の4通りの取り付け方法があります。

『1. ダッシュボード取り付け用ブラケットで取り付ける』

『2. 直付け用両面テープで取り付ける』(● P.32)

『3. ダッシュボード取り付けステーで取り付ける』(● P.33)

『4. 宙吊り用ステーで取り付ける』(● P.34)

いずれかの方法で取り付けてください。

※ あらかじめ、取り付ける箇所の汚れ・脂分をよく落とし、慎重に取り付けてください。

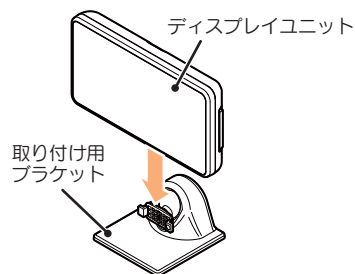
⚠ 注意

- ・ 取り付けにより、車両に跡が残ったり、変色や変形が生じることがあります。ご使用の有無に関わらず、お車への補償はいたしかねますので、あらかじめご了承ください。
- ・ ダッシュボードから外す場合は、ダッシュボード取り付け用ブラケットの下部を持って、ゆっくりと行ってください。ディスプレイユニットやダッシュボード取り付け用ブラケット上部を持つと、破損の原因となります。
- ・ 両面テープの貼り直しは、しないでください。粘着力が弱くなり、ディスプレイユニットをしっかり固定できなくなります。
- ・ 水がかかったり、温度差が激しい場所 (エアコンの吹き出し口付近など) には、取り付けないでください。

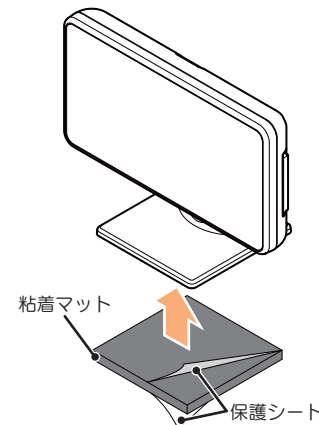
1. ダッシュボード取り付け用ブラケットで取り付ける

通常の状態で取り付けが困難な場合は、ブラケットを調整することができます。
● P.24「ダッシュボード取り付け用ブラケットの調整」を参照ください。

1-1 ディスプレイユニットの溝をブラケットに合わせ取り付ける

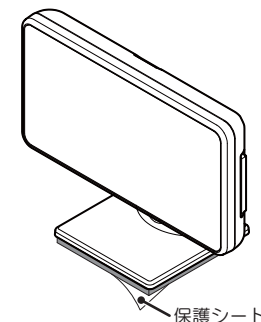


1-2 保護シートを片面だけをはがし、粘着マットをブラケットに貼り付ける

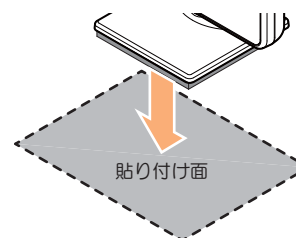


・ 粘着マットは水洗いできます。
ホコリや汚れなどで粘着力が弱くなった場合は、中性洗剤を使い水洗いすると粘着力が復元します。

1-3 残りの保護シートをはがす



1-4 ダッシュボードの取り付け面に取り付ける

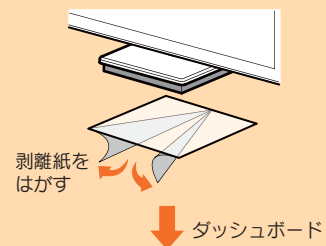


※ ディスプレイユニットを破損しないようブラケットを押さえて貼り付けます。

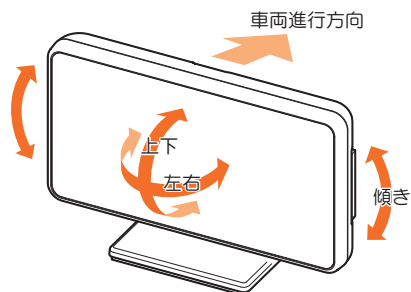
粘着シート [特許出願中]

粘着マットで安定した取り付けができない場合は、同梱品の粘着シートを使用します。ダッシュボードに粘着シートを貼り付けた上に粘着マットを貼り付けます。粘着シートは、はがして再度貼り付けることができます。

それでも安定した取り付けができない場合は市販品の強力型両面テープ（厚さ 2mm 以上）を使用して取り付けてください。



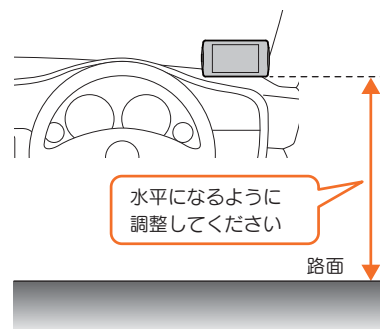
1-5 ディスプレイユニットの背面が車両進行方向を向き、画面が見やすいように調整する



※ ディスプレイユニット背面が車両進行方向に向いていないと、G センサーやジャイロセンサーが正常に作動しません。

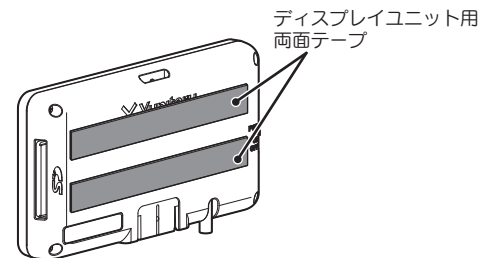
・調整ができない場合は…

➡ P.24「ダッシュボード取り付け用ブラケットの調整」

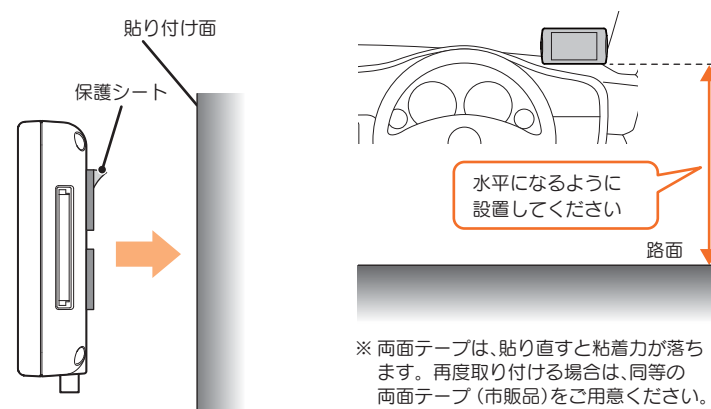


2. 直付け用両面テープでダッシュボードに直接取り付ける

2-1 両面テープの保護シートを片面はがし、ディスプレイユニットの背面にしっかりと貼り付ける



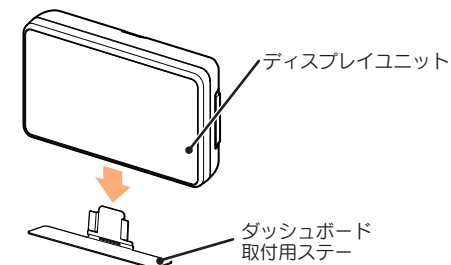
2-2 両面テープの保護シートをはがし、取り付け面に取り付ける



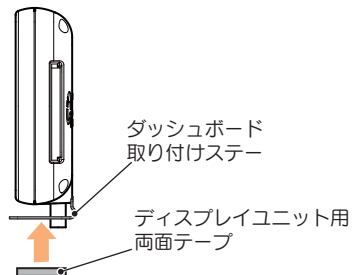
※ 両面テープは、貼り直すと粘着力が落ちます。再度取り付ける場合は、同等の両面テープ（市販品）をご用意ください。

3. ダッシュボード取り付けステーで取り付ける

3-1 ディスプレイユニットの溝を取り付けステーに合わせ取り付ける



- 3-2** 両面テープの保護シートをはがし、
ダッシュボード取り付けステーの
裏面にしっかりと貼り付ける



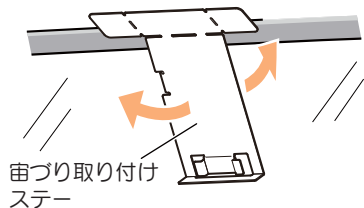
- 3-3** 両面テープの保護シートをはがし、
取り付け面に取り付ける



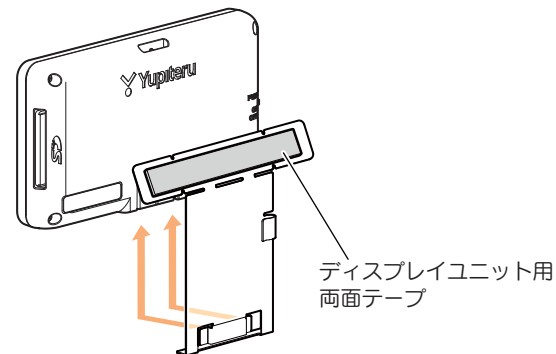
※ 両面テープは、貼り直すと粘着力が落ちます。
再度取り付ける場合は、同等の両面テープ（市
販品）をご用意ください。

4. 宙吊り取り付けステーで取り付ける

- 4-1** 取り付け場所を決め、見やすい角
度になるようにステーを折り曲
げ、角度の調整をする

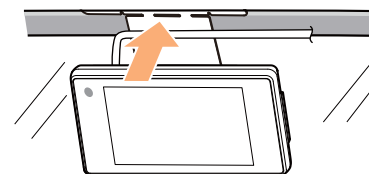


- 4-2** ディスプレイユニットを取り付け、
両面テープの保護シートをはがし、
宙吊り取り付けステーにしっかりと
貼り付ける



- 4-3** 残った保護シートをはがし、宙吊
り取り付けステーを取り付ける

ステーをフロントガラスと天井のす
き間に差し込み、フロントガラスの
黒縁部分に両面テープを押しあてな
がら、取り付けます。



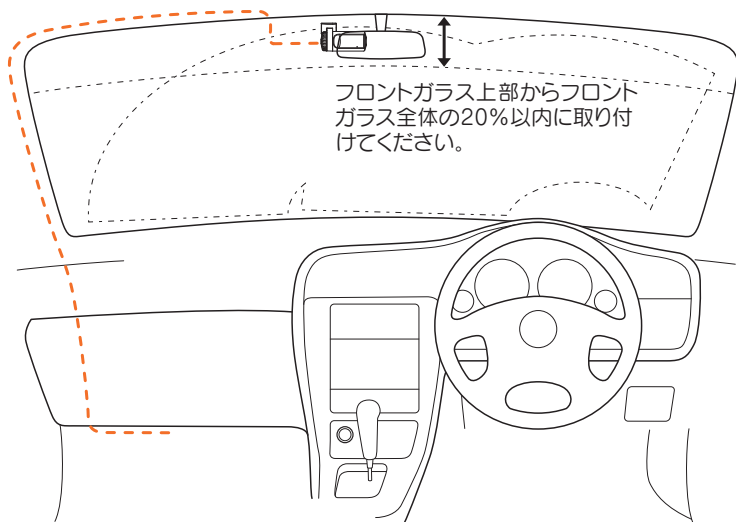
- ※ 両面テープは貼り直すと粘着力が落ちま
す。再度取り付ける場合は、同等の両面
テープ（市販品）をご用意ください。
- ※ ステーを折り曲げるときは、いったんデ
ィスプレイユニットから外して調整してく
ださい。そのまま折り曲げると、ディス
プレイユニットの故障の原因となります。
- ※ 黒縁部分からはみ出さないように貼り付
けてください。黒縁がない車両の場合は、
ダッシュボードなどにディスプレイユ
ニットを取り付けてください。

カメラユニット取り付け

取り付けの注意をご確認いただき、カメラユニットを車両に取り付けてください。

取り付けの注意

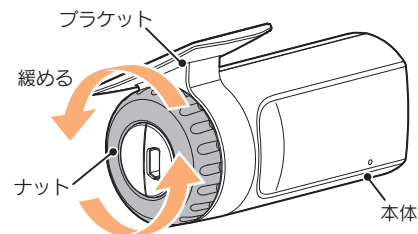
- ・フロントガラスの上部20%の範囲内に取り付けてください。
- ・両面テープは所定の位置に、しっかり取り付けてください。
- ・視界の妨げにならないように取り付けてください。
- ・ワイパーの拭き取り範囲内に取り付けてください。ワイパーの拭き取り範囲外に取り付けると、降雨時等に、鮮明に記録できない可能性があります。
- ・ルームミラーの操作に干渉しない場所へ取り付けてください。
- ・車検証ステッカー等に重ならないように取り付けてください。
- ・フロントウィンドウ縁の着色部や視界の妨げとなる場所を避けて取り付けてください。
- ・エアバッグの動作や運転の妨げにならないように、取り付けてください。
- ・カメラユニットの近くにGPS機能を持つ製品やVICS受信機を設置しないでください。誤動作を起こす可能性があります。



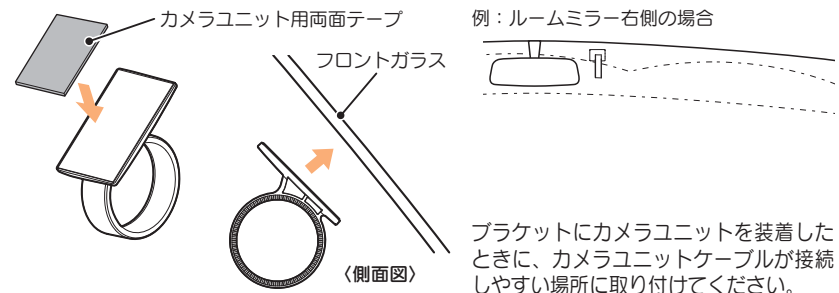
1. カメラユニットの取り付け

フロントガラスの角度に合わせてカメラの角度を自由に調整できます。(特許第 4712858 号) あらかじめフロントガラスの汚れや脂分をよく落とし、しっかりと取り付け、車両外から貼り付け面にムラが無いことを確認してください。

1-1 ナットを外し本体からブラケットを取り外す

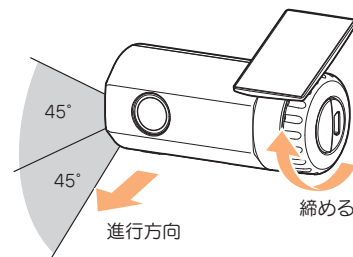


1-2 ブラケットに同梱品の両面テープを貼り付け、フロントガラスに取り付ける



- ※ 固定力を強くするために本体を取り付けず、24 時間以上放置してください。
- ※ 貼り直しはテープの粘着力を弱め脱落する恐れがあります。

1-3 ブラケットに本体を装着し、レンズを進行方向の撮影したい角度に向け、ナットを締めて固定する



- ※ カメラレンズに触れないように取り付けてください。レンズに触れてしまうと、レンズが曇り、鮮明な映像が撮れなくなる恐れがあります。
- ※ 上下 45° の角度まで本体を傾けて取り付けることができます。
- ※ ご購入時は保護フィルムが貼ってあります。ご使用時にはがしてください。

アンテナユニット取り付け

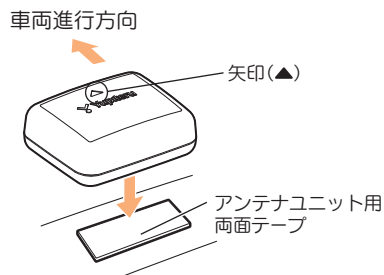
アンテナユニットを車両に取り付けます。

⚠ 注意

- GPS 衛星からの電波を受信しやすくするため、障害物や遮へい物のない視界の良い場所に取り付けてください。
- 両面テープは貼りなおすと粘着力が低下しますので、取り付け位置などを変更する場合は同等の両面テープ（市販品）をご用意ください。
- 両面テープを貼る場所のチリや汚れ、油脂分をよく落としたあと、慎重に貼ってください。貼り直しはテープの接着力を弱め、脱落のおそれがあります
- アンテナあるいはコードが、ドアの開閉部などに当たったり、はさまれないようにしてください。
- 取り付けにより、車両・内装部品に跡が残ったり、変色や変形を生じる場合があります。ご使用の有無に関わらず、お車への補償はいたしかねますので、あらかじめご了承ください。
- 貼り付けた場所から外す場合は、無理にはがさず、慎重に行ってください。アンテナやダッシュボード、ルーフなどの破損の原因となります。

1. ダッシュボードに取り付ける

1-1 アンテナユニット用両面テープを貼り付け車両に取り付ける



※ アンテナが道路に対して水平に、また矢印(▲)が車両進行方向を向くように、アンテナユニット用両面テープで取り付ける。

ジャンクションユニット取り付け

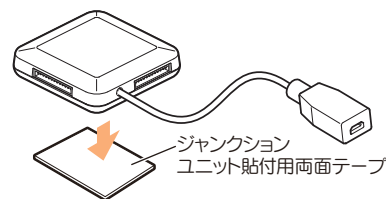
ジャンクションユニットを車両に取り付けます。

⚠ 注意

- 両面テープは貼りなおすと粘着力が低下しますので、取り付け位置などを変更する場合は同等の両面テープ（市販品）をご用意ください。
- 両面テープを貼る場所のチリや汚れ、油脂分をよく落としたあと、慎重に貼ってください。貼り直しはテープの接着力を弱め、脱落のおそれがあります
- ジャンクションユニットおよびコードが、ドアの開閉部などに当たったり、はさまれないようにしてください。
- 取り付けにより、車両・内装部品に跡が残ったり、変色や変形を生じる場合があります。ご使用の有無に関わらず、お車への補償はいたしかねますので、あらかじめご了承ください。
- 貼り付けた場所から外す場合は、無理にはがさず、慎重に行ってください。ジャンクションユニットおよび貼り付け場所などの破損の原因になります。

1. 車両に取り付ける

1-1 ジャンクションユニット用両面テープを貼り付け車両に取り付ける



電源コードの配線

警告



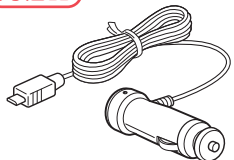
本機の DC ジャックは USB 端子ではありません。故障の原因となりますので、本機をパソコンなど他の機器の USB 端子と接続しないでください。



DC ジャック
USB 端子ではありません。

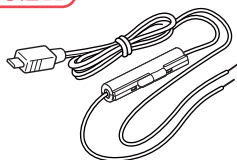
3 種類の配線方法があります。同時に複数の配線を行うことはできません。

同梱品



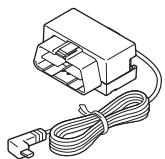
シガープラグコード
による配線(●P.41)

同梱品



電源直結コード
による配線(●P.42)

別売品



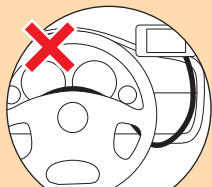
OBD II アダプター
(OBD12-MIII)(OBD-HVTM)
による配線(●P.43)

■ ご注意ください

・特定の配線経路はありませんが、運転中の視界や操作の邪魔になったり、ドアやペダルなどの可動部に本機やコードが挟み込まれたり、当たったりしないようにしてください。



シフトレバー
操作の邪魔



ハンドル
操作の邪魔

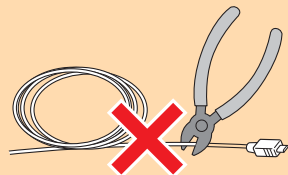


ペダル
操作の邪魔



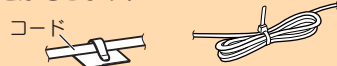
コードの
挟み込み

・コードが長くて、切って短くしないでください。



アドバイス

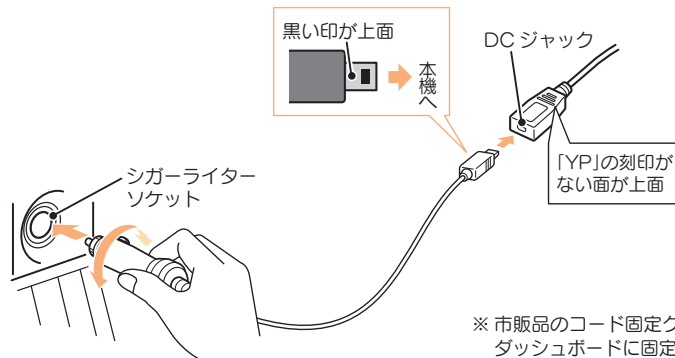
市販品のコード固定クリップでコードを固定したり、タイラップでコードを束ねることができます。



1. シガープラグコードによる配線 同梱品

1-1 シガープラグコードを接続する

同梱品のシガープラグコードを本機の DC ジャックと車両のシガーライターソケットに接続します。



※ 市販品のコード固定クリップでコードをダッシュボードに固定したり、タイラップでコードを束ねることができます。

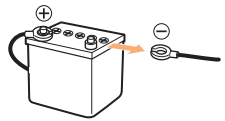
■ ご注意ください

一部の車種において、シガーライターソケットの形状が合わないことがあります。その場合は、同梱品の電源直結コードか、別売品の OBD II アダプター (OBD12-MIII OBD-HVTM) をご使用ください。

2. 電源直結コードによる配線 同梱品

⚠ 警告

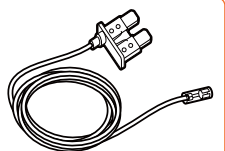
- 作業中のショート事故防止のため、配線前に必ず車のバッテリーのマイナス端子をはずしてください。
- カーナビやラジオ、オーディオなどを搭載した車では、バッテリーの端子を外すと、メモリーの内容が消えてしまうことがあります。端子を外す前に、必ずメモリー内容を控えてください。
- 平型ヒューズタイプ電源取り出しコードの取扱説明書をよくお読みになり、接続手順や注意事項などを守ってください。



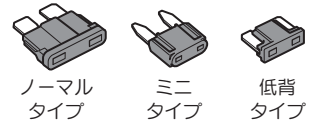
<準備するもの>

市販品

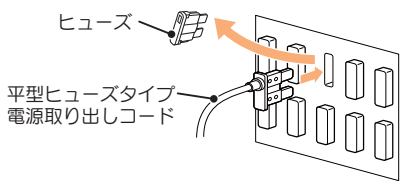
平型ヒューズタイプ
電源取り出しコード



※ ヒューズは、ノーマルタイプ・ミニタイプ・低背タイプがあります。平型ヒューズタイプ電源取り出しコードは、ヒューズの形状に合ったものを準備してください。



2-1 ヒューズを外し、平型ヒューズタイプ電源取り出しコードを差し込む

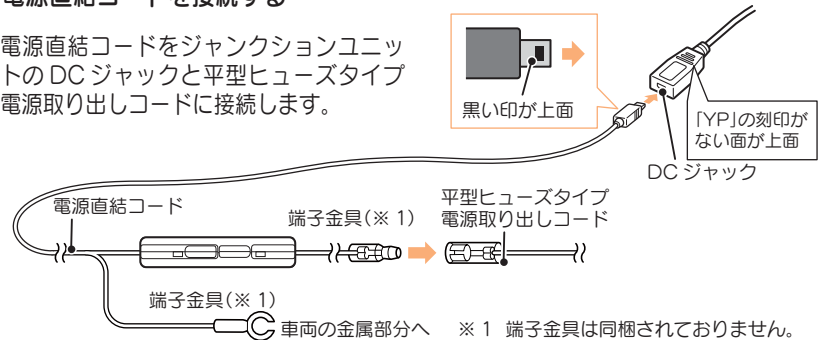


※ ヒューズの交換先は必ず、イグニッションキーをACC位置にした時に電圧が12V、OFFで0Vになるヒューズと交換してください。

イグニッションキー	ACC位置	OFF位置
電圧	12V	0V

2-2 電源直結コードを接続する

電源直結コードをジャンクションユニットのDCジャックと平型ヒューズタイプ電源取り出しコードに接続します。



※ 1 端子金具は同梱されておりません。市販品をご用意ください。

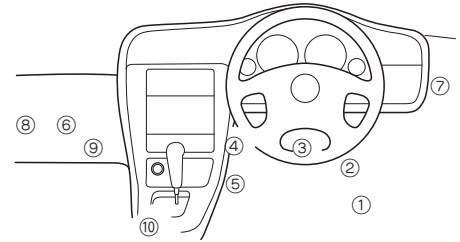
3. OBDⅡアダプターによる配線 OBDⅡアダプター 別売品

OBDⅡアダプターのディップスイッチの設定が必要です。ディップスイッチの設定方法は、OBDⅡアダプターの取扱説明書をご確認ください。対応車種については、店頭もしくは弊社ホームページより最新の適応表を参照ください。

⚠ 警告

- 故障の原因となりますので、必ずエンジンキーがOFFになっていることを確認してから、配線を行ってください。

OBDⅡコネクター設置箇所

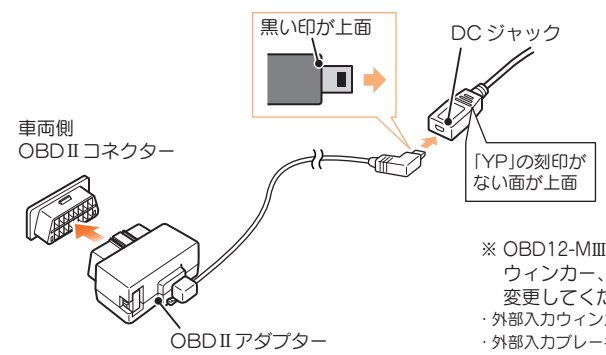


- ① アクセルペダル脇
- ② 運転席足元右側
- ③ 運転席足元中央
- ④ 運転席足元左側
- ⑤ センターコンソール右側
- ⑥ 助手席足元右側
- ⑦ ステアリング右脇パネル裏側
- ⑧ 助手席足元左側
- ⑨ センターコンソール左側
- ⑩ センターコンソール下

※ コネクターがカバーやコンソールなどの内側にある場合があります。

3-1 OBDⅡアダプターを接続する

別売品のOBDⅡアダプターをジャンクションユニットのDCジャックと車両のOBDⅡコネクターに接続する。



※ OBD12-MⅢで接続した場合、外部入力ウィンカー、外部入力ブレーキの設定を変更してください。
 ・外部入力ウィンカー…P.161
 ・外部入力ブレーキ…P.162

ブレーキ・ウィンカー検出ケーブル接続

ブレーキ・ウィンカー検出ケーブルは、以下の手順で接続してください。

※ ブレーキ・ウィンカー検出ケーブルの接続先は、メーカーへの問い合わせ、またはテスターなどを使用して、各ケーブルに正しく接続してください。

1. エレクトロタップの使いかた

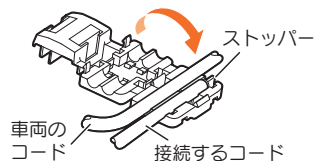
警告

作業中のショート事故防止のため、シガープラグコードで接続の場合、シガーソケットから必ずシガープラグコードを抜いてください。また電源直結ケーブルでの接続の場合、車のバッテリーのマイナス端子をはずしてください。

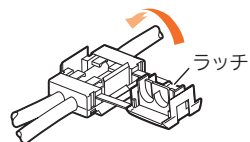


エレクトロタップの接続は、下記の手順で接続してください。

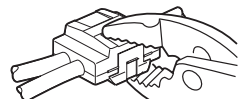
- 1-1** 各検出線を図のストッパーに突き当て、車両のコードを通して矢印のように折り返す



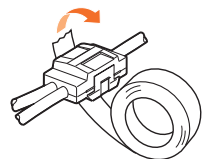
- 1-2** もう一度、矢印のように折り返す



- 1-3** プライヤーなどで、ラッチが噛み込みまで締め付ける



- 1-4** 絶縁テープを巻く

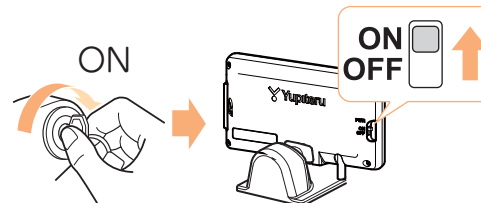


接続された箇所（エレクトロタップ部）はショートや振動などにより車両の故障を起こす原因となることがあります。必ず絶縁テープでテーピングしてください。

2. ブレーキ検出ケーブル接続確認方法

ブレーキ検出線を接続後、接続が正しく行われているか本機で接続を確認してください。

- 2-1** エンジンキーを ON し、ディスプレイユニットの電源を ON する



- 2-2** 待受画面にタッチする

ジャンプウィンドウが表示されます。



<ジャンプウィンドウ>

- 2-3** [設定 TOP] にタッチする



- 2-4** [DR] にタッチする



<設定メニュー>

※ 常時録画中に [DR] にタッチすると下のような表示が出て録画が停止します。



2-5 [外部入力ブレーキ]にタッチする



< DR 設定メニュー >

2-6 車両のブレーキを踏み、接続確認表示が緑に点灯するのを確認する

接続確認表示が点灯したアイコンにタッチし、接続する。



接続確認表示

※ 車両のブレーキを踏んでも接続確認表示が緑に光らない場合、再度ブレーキ検出ケーブルの接続を確認してください。

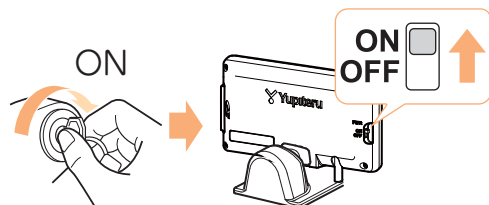
※ OBD12-M IIIで接続をして、接続確認表示が点灯しない場合、適応車種を弊社ホームページより最新のレーダー探知機用 OBD II アダプター適応表にて参照ください。

※ OBD12-M IIIで接続した場合も、同様に確認してください。

3. ウィンカー検出ケーブル接続確認方法

ウィンカー検出線を接続後、接続が正しく行われているか本機で接続を確認してください。

3-1 エンジンキーを ON し、ディスプレイユニットの電源を ON する



3-2 待受画面にタッチする

ジャンプウィンドウが表示されます。



<ジャンプウィンドウ>

3-3 [設定 TOP]にタッチする



3-4 [DR]にタッチする



<設定メニュー>

3-5 [外部入力ウィンカー]にタッチする



< DR 設定メニュー >

3-6 車両のウィンカーをつけ、接続確認表示が緑に点灯するのを確認する

接続確認表示が点灯したアイコンにタッチし、接続する。



接続確認表示

※ 常時録画中に [DR] にタッチすると下のような表示が出て録画が停止します。



※ 車両のウィンカーをつけても接続確認表示が緑に光らない場合、再度ウィンカー検出ケーブルの接続を確認してください。

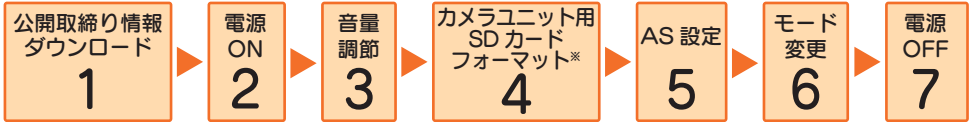
※ OBD12-M IIIで接続をして、接続確認表示が点灯しない場合、適応車種を弊社ホームページより最新のレーダー探知機用 OBD II アダプター適応表にて参照ください。

※ ウィンカーを左右両方とも確認してください。

※ OBD12-M IIIで接続した場合も、同様に確認してください。

準備～電源 ON ～ OFF までの手順

ご購入後、すぐに使う場合、下記の手順に沿って操作を行ってください。



※ 同梱品以外のカメラユニット用 SD カードを使用する場合、初回起動時に必ずフォーマットしてください。フォーマットしない場合録画がうまくできない・録画可能時間が減少するなどの原因になります。

各ユニットの初期値は次のようになっています。

■ レーダー機能 初期値

設定項目	初期値	説明
モード設定	ノーマル	機能同士のバランスを重視した設定です。
待受画面	マップ	マップ画面が表示されます。
マップモード	1 マップ パネル小	画面全体にマップ画面が表示され、警報時には小さな警報パネルによって警報されます。
受信感度モード	AAC / ASS	時速 30km 未満では、取締りレーダーに対する警報を行いません。また時速 30km 以上では速度が上がるにしたがって段階的に受信感度が上がっていきます。
レーダー警報音	メロディ 1	警報の発生時、オリジナルメロディが流れます。
無線警報	ボイス警報	各種無線の電波を受信すると、その無線の種類を音声でお知らせします。
i キャンセル	ON	誤警報を行うと、同じ地点の 2 回目以降の警報を自動でキャンセルします。
道路選択	オート 気圧あり	車両が一般道または高速道路どちらを走っているかを判別し、判別された道路の GPS ターゲットに対してのみ警報が行われます。 ※ 一般道と高速道が並行 / 交差している場所およびその周辺では、両方の警報を行うことがあります。また、渋滞等で高速道を低速走行すると、一般道と判別することがあります。
リラックスチャイム	2 時間	本機の連続電源 ON で、2 時間おきに『長時間運転しています。休憩しませんか?』と音声流れます。
時報	ON	毎時、正時に『午前 (午後) 〇〇時です。』と音声流れます。
明るさ	普通	画面の明るさ。「最小」～「明るい」間の「普通」になっています。

※ 初期値を変更する場合は、● P.109 ～ 157「レーダー部 カスタマイズして使う」を参照ください。

■ カメラユニット 初期値

設定項目	初期値	説明
解像度	1080P HD(HDR) 30FPS	1920 × 1080、30 コマ / 秒、HDR 有効で録画します。
自動録画	ON	エンジンキー連動で録画を開始します。
音声録音	ON	動画と同時に音声を録音します。
G センサー記録	ON	一定以上の衝撃を検知すると、G センサー記録を行います。(● P.90「G センサー記録」)
G センサー感度 (X)	1.5G	X(前後方向)の衝撃感度を 1.5G に設定しています。
G センサー感度 (Y)	1.5G	Y(左右方向)の衝撃感度を 1.5G に設定しています。
G センサー感度 (Z)	1.5G	Z(上下方向)の衝撃感度を 1.5G に設定しています。
イベント地点登録	ON	イベント録画が行われた位置をマップ画面上に表示します。
レーンキープアシスト 一般道	ON	一般道走行中に自車の車線逸脱 (走行車線からのみ出し) を検知すると、表示とブザー音でお知らせします。(● P.88「レーンキープアシスト」)
レーンキープアシスト 高速道	60km/h 以上	高速道路走行中に自車の車線逸脱 (走行車線からのみ出し) を検知する速度を設定します。設定した速度を超えた状態で検知すると、表示とブザー音でお知らせします。(● P.88「レーンキープアシスト」)
前方衝突防止アラート 一般道	ON	一般道走行中に先行車と接近しすぎた場合に、表示とブザー音でお知らせします。(● P.88「前方衝突防止アラート」)
前方衝突防止アラート 高速道	60km/h 以上	高速道路走行中に先行車との接近を検知する速度を設定します。設定した速度を超えると前方衝突防止アラートが作動し、表示とブザー音でお知らせします。(● P.88「前方衝突防止アラート」)
Start information	ON	信号待ちなどで停止している状態で、先行車が発進しても自車が止まったままの場合、表示とブザー音でお知らせします。(● P.87「Start information」)
上書きモード	全て上書き	常時録画・・・ カメラユニット用 SD カード容量の上限に達した場合、古い録画ファイルを上書きします。 (● P.191「録画時間の目安」) イベント記録・・・ 最大記録件数に達した場合、古い録画ファイルを上書きします。 (● P.191「イベント記録の最大記録件数」)

※ 初期値を変更する場合は、● P.158 ～ 162「ドライブレコーダー部 カスタマイズして使う」を参照ください。

1. 公開取締り情報のダウンロード

パソコンでデータをダウンロードしてください。

詳しくは、弊社ホームページ(<http://www.yupiteru.co.jp/>)を参照ください。

公開取締り情報については、P.73 を参照ください。

■ レーダー探知機用 SD カードについて

同梱品のレーダー探知機用 SD カードには、本機を起動させるためのデータ、実写警報「REALPHOTO (リアルフォト)」(P.74) や警報画面 (P.74) を表示させるためのデータ、音声データが保存されています。

⚠ 重要

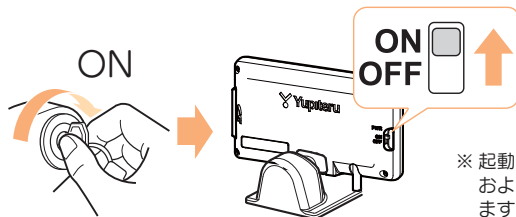
- ・レーダー探知機用 SD カードをパソコン等でフォーマットしないでください。
 - ・レーダー探知機用 SD カードはディスプレイユニット専用でお使いください。カメラユニットには使用しないでください。
- ※誤ってデータを削除した場合は、有償での対応となります。お買い上げの販売店、または弊社相談窓口 (0120-998-036) にご相談ください。

■ レーダー探知機用 SD カードやインターネットを活用する (P.95)

- 公開取締り情報の表示
- 各種情報の表示 (有料情報もあります)
- 走行軌跡の確認 (ログ機能) など

2. 電源 ON する

2-1 エンジンキーを ON し、ディスプレイユニットの電源スイッチを ON する



アンテナユニットが GPS 衛星を探します。GPS 非測位時はジャンプウィンドウの時計が赤くなります。



待受画面表示 (例)

※ 起動時の音 (起動音)、画面 (起動画面)、および測位時の音 (初期測位) は変更できます。(P.137)

- ※ 必ず「測位しました」のボイスを確認してから出発してください。
- ※ 本機の位置によっては、いきなり警報画面が表示される場合があります。
- ※ 初期値の場合、自動録画が「ON」に設定されているため電源 ON と同時に録画が開始されます。

■ OBD II アダプター (OBD12-M Ⅲ、OBD-HVTM) で配線を行った場合 OBD II アダプター

初めて OBD II アダプターを車両に取り付ける場合は、本機の起動に数分かかることがあります。

■ 測位に時間がかかる場合があります

次のような場合、本機の電源を入れてから「測位しました。」と音声が出るまでに、時間がかかる、もしくは測位できない場合があります。

その場合は、障害物や遮蔽物のない視界のよい場所へ移動し、車両を停車してください。



3. 音量を調節する

3-1 待受画面にタッチする

ジャンプウィンドウが表示されます。



<ジャンプウィンドウ>

3-2 [VOL▲] または [VOL▼] にタッチし、音量を調節する



プブッ
[VOL▲]
[VOL▲]
VOL 7 (最大)
ビッ
[VOL▼]
VOL 0 (消音)

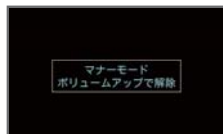
※ [VOL▲]、[VOL▼] にタッチで音量を調整できます。「ビッ」という確認音で音量を確認してください。

※ VOL7 (最大) からさらに [VOL▲] にタッチすると、「プブッ」と鳴ります。

■ マナーモード

音量を VOL0(消音)から、さらに [VOL ▼] にタッチすると、マナーモードになります。

音声および画面によるすべての警報が行われなくなります。



[VOL ▼] マナーモード

[VOL ▲] マナーモード
解除

※ マナーモードに入ると、約 2 秒後に画面表示が消え、音声および画面によるすべての警報が行われなくなります。

※ マナーモードを解除するには、[VOL ▲] にタッチしてください。

4. カメラユニット用 SD カードをフォーマットする

1 ～ 2 週間に一度、フォーマットを行ってください。

※ 同梱品以外の SD カードを使用する場合、初回起動時に必ずフォーマットしてください。

フォーマットを行うと、「保護したファイル」や「専用ビューアソフト」も全て削除されます。必要に応じてパソコンにバックアップなどしてからフォーマットしてください。

・録画ファイルのバックアップ… P.179「録画ファイルの読み出しについて」

・専用ビューアソフトのバックアップ… P.173「専用ビューアソフトをバックアップ(コピー)する」

※ 専用ビューアソフトを削除した場合、弊社ホームページよりダウンロードできます。

4-1 待受画面にタッチする

ジャンプウィンドウが表示されます。



<ジャンプウィンドウ>

4-2 [設定 TOP] にタッチする



4-3 [DR] にタッチする



<設定メニュー>

※ 常時録画中に [DR] にタッチすると下のような表示が出て録画が停止します。



4-4 [SD 初期化] にタッチする



< DR 設定メニュー >

4-5 [はい] にタッチする



※ [いいえ] にタッチすると、初期化を中止します。

4-6 [SD カードを初期化しました] と表示していることを確認し、[OK] にタッチする

DR 設定メニューに戻ります。



※ 初期値の場合、待受画面もしくはドライブレコーダー画面に戻ると、自動的に録画を再開します。

5. レーンキープアシスト機能と前方衝突防止アラートの設定を行う

レーンキープアシストと前方衝突防止アラートは本機にて設定が必要です。

※ 設定を行わずに使用すると、うまく働かない場合があります。

⚠ 注意

！ レーンキープアシストと前方衝突防止アラートの設定は、安全な場所で行ってください。また、なるべく平坦な場所で行ってください。

5-1 待受画面にタッチする

ジャンプウィンドウが表示されます。



<ジャンプウィンドウ>

5-2 [設定 TOP] にタッチする



<ジャンプウィンドウ>

5-3 [DR] にタッチする



<設定メニュー>

5-4 [AS 範囲設定] にタッチする



< DR 設定メニュー>

5-5 ◀、▶ ボタンにタッチし画面内の白線と道路の白線の左右位置を合わせ、下の▶ にタッチする



5-6 △、▽ ボタンにタッチし画面内の白線と道路の白線の上下位置を合わせ、下の▶ にタッチする



※ 常時録画中に [DR] にタッチすると下のような表示が出て録画が停止します。



・ AS 左右設定画面の操作ボタンの機能

操作ボタン	機能
◀	画面内の白線が左へ移動します。
▶	画面内の白線が右へ移動します。

・ AS 上下設定画面の操作ボタンの機能

操作ボタン	機能
△	画面内の白線が上へ移動します。
▽	画面内の白線が下へ移動します。

5-7 ▷◁、◁▷ ボタンにタッチし画面内の白線と道路の白幅を合わせる



・ AS 車幅設定画面の操作ボタンの機能

操作ボタン	機能
▷◁	画面内の白線の幅を狭くします。
◁▷	画面内の白線の幅を広くします。

・ 画面内の白線と道路の白線が合わない場合…
P.54 の「手順 5-5」から「手順 5-7」を何度か繰り返し、白線の位置を調整します。

・ 良い見本
道路上の白線とディスプレイユニット画面内の白線が重なっている



・ 悪い見本
道路上の白線とディスプレイユニット画面内の白線がずれている



5-8 [EXIT] にタッチする

待受画面に戻ります。



6. すべての機能を使う

オールオンモードでお使いいただき、必要に応じて表示や警報内容をカスタマイズしてご使用ください。初期値は、「ノーマル」です。

6-1 待受画面にタッチする

ジャンプウィンドウが表示されます。



<ジャンプウィンドウ>

6-2 [設定 TOP]にタッチする

設定画面が表示されます。



<ジャンプウィンドウ>

6-3 [モード]にタッチする

モード画面が表示されます。



<設定メニュー>

6-4 [オールオン]にタッチする

[オールオン]が青色表示になります。



<モード設定メニュー>

6-5 [EXIT]にタッチする

待受画面に戻ります。



※ 設定は、1 度行えば、次回の電源 ON 以降は必要ありません。

7. 電源を OFF にする

⚠ 注意



本機の電源OFFするときは、必ずエンジンキーをOFFにするか、ディスプレイユニットの電源スイッチOFF（OBD II アダプター接続時は除く）にし、電源OFFしてください。本機の電源OFFするためにコードを抜くと、故障の原因となったり、SDカード内のデータが消失する場合があります。

7-1 車両のエンジンキーを OFF にする

本機の電源が連動してOFFになります。



・エンジンキーを OFF にしても本機が電源 OFF にならない場合…

ディスプレイユニットの電源スイッチを OFF にしてください。

※ 電源 ON の状態で放置すると、バッテリー上がりの原因となります。

※ OBD II アダプター使用時は、車種によって電源 OFF に数十秒かかる場合がありますが、ディスプレイユニットの電源スイッチで OFF しないでください。

GPS 測位機能について

GPS (Global Positioning System) とは、衛星軌道上の人工衛星から発信される電波により、緯度・経度を測定するシステムです。

このシステムを利用して、取締りレーダー波を発射しないループコイル、LH システムのオービス(無人式自動速度取締り装置)にも警報します。

また、交通監視システムやN システム、そして、過去に取締りや検問が行われていた場所など、54 種類のターゲットを識別してお知らせします。[GPS54 識別]

1. マップマッチングシステム

GPS・G センサー・ジャイロセンサーで、自車の進行状態を検知。全国地図と照合し、ルートのはずれを補正します。

※トンネル内のマップマッチングシステムは、全国の高速道路ならびに国道のトンネルで、はたらかず。

※新しい道路などではマップマッチングしない場合もあります。

※状況によってはマップマッチングがはたらかない場合があります。



2. ジャイロセンサー & G センサー & 気圧センサー & 照度センサー

ジャイロセンサーで、自車の進行方向の変化を計測します。

G センサーで、自車の加減速の変化を計測します。

気圧センサーで、気圧の変化による高度変化を計測します。

また、照度センサーで周囲の明るさを計測します。



3. クイック測位対応

前回電源 OFF にした時刻と自車位置情報を基に、GPS 衛星位置を予測し、現在の自車位置をすばやく測位できます。



4. OBD II 車速検知 ※別売品の OBD II アダプターで接続時

GPS 電波を受信できないトンネル内でも、正確な車速情報を得ることができます。

< マップマッチングシステム >、< 気圧センサー & G センサー & ジャイロセンサー >、別売品の OBD II アダプター (OBD12-M Ⅲ、OBD-HVTM) を接続することによる < OBD II 車速度検知 > により、GPS 電波の受信状態が良くない場所でも、高精度な警報を行うことが可能です。

※次の場合、クイック測位は機能しません。

- ・最後に本機の電源 OFF してから 6 日間以上経過した場合。
- ・最後に本機の電源 OFF した時と、次に電源 ON した時の GPS 衛星の状況が異なる場合。
- ・GPS 波の受信を妨げる遮蔽物や妨害波がある (存在する) 場所で本機の電源 ON した場合。

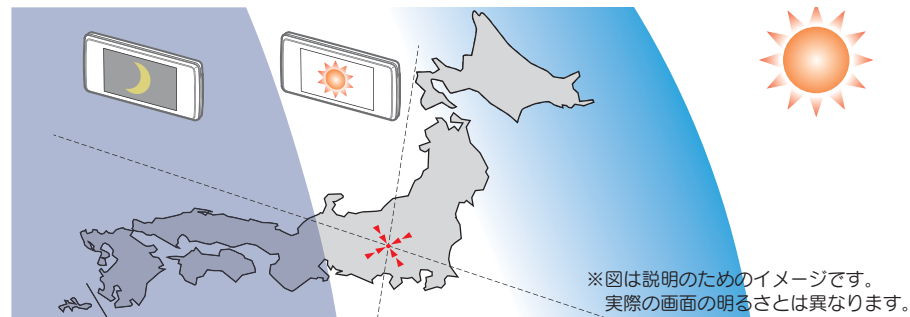
受信可能な電波

取締りレーダー波の X・K ツインバンドと GPS の 3 バンドの他に、無線 14 バンド受信をプラスし、17 バンド受信ができます。

$$\text{衛星} + \frac{\text{Xバンド}}{\text{Kバンド}} + \text{無線14バンド} = \text{17 BAND}$$

画面の明るさ調節(フレックスディマー)

夜間やトンネルなど周囲が暗いときは、画面表示の明るさを抑え、眩しさを防ぎます。GPS 情報等により、それぞれの地域および季節などに応じ自動的に画面表示の明るさを調整します。また、照度センサーにより、トンネルなどの急激な照度の変化にも対応しています。



トンネル内の警報・警告について

G センサー、ジャイロセンサーおよびマップマッチングシステムにより、GPS の電波を受信できないトンネル内のオービスや取締りエリアをお知らせします。さらに別売品の OBD II アダプター (OBD12-M III、OBD-HVTM) で接続した場合は、OBD II 車速検知により高精度な警報を行います。



取締りのミニ知識

本書では取締り方法について、以下を想定して説明しています。

1. スピード違反の取締り方法

大きく分けて 3 つの方法があります。

■ レーダー波を使って算出する方法 (レーダー方式)

取締りレーダー波を対象の車両に向けて発射し、その反射波の周波数変化 (ドップラー効果) で速度を算出します。

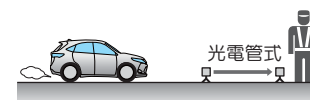
※ 対象の車両が近くに来るまで、取締りレーダー波を発射しないステルス型の場合、事前に探知できません。



■ 距離と時間で算出する方法 (光電管・ループコイル式オービス)

一定区間を通過するのにかかる時間から速度を算出します。測定区間の始めと終わりに設置するセンサーには、赤外線や磁気スイッチなどが使われています。

※ この方式は取締りレーダー波を発射しません。GPS ターゲットとして登録した場合のみ、警報できます。



■ 追走して測定する方法 (追尾方式)

指針を固定できるスピードメーターを搭載している白バイやパトカーで、対象の車両を追走して速度を測ります。

※ 追尾方式等で取締りレーダー波を発射しない機械式の計測方法の場合は、探知できません。



2. 取締りレーダー波について

大きく分けて 3 つの方法があります。

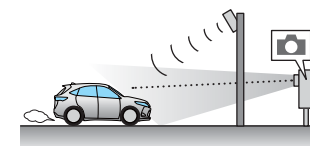
■ 定置式

人が測定装置を道路際に設置して行います。取締りレーダー波は、直進性が強いので、発射角度が浅いほど、探知しやすくなります。



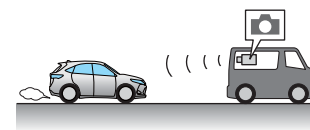
■ 自動速度取締り機 (新 H システム、レーダー式オービス)

速度の測定と証拠写真の撮影を自動的に行います。



■ 移動式

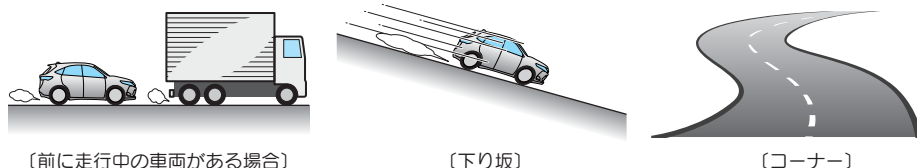
測定装置を車両に搭載して、移動しながら測定を行います。



3. 取締りレーダー波を受信しにくい場合

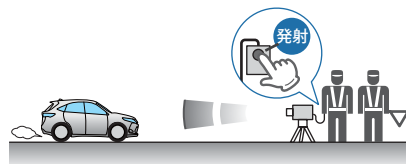
取締りレーダー波の発射方法や周囲の環境、条件などにより、取締りレーダー波を受信しにくいことがあります。

- ・対象の車両が近くに来るまで、取締りレーダー波を発射しない狙い撃ち的な取締りができるステルス型のスピード測定装置があります。
- ・前に走行している車両（特に大型車）がある場合や、コーナー、坂道では、電波が遮断され、探知距離が短くなることがあります。スピードの出やすい下り坂では、特にご注意ください。



4. ステルス型取締りについて

事前に探知（受信）されないようにするため、待機中は電波を発射せず、必要なときに短時間強い電波を発射して速度の測定ができる狙い撃ち方式の取締り機です。



- ・ステルス型取締り機は、計測する瞬間だけ電波を発射するため、受信できなかったり、警報が間に合わない場合があります。また、取締りには電波を使用しない光電管式などもありますので、先頭を走行する際はご注意ください。
- ・通常の電波を受信した場合でも、周囲の状況などにより、ステルス波を識別警報することがあります。
- ・ステルス型取締り機の電波を受信するとボイスでステルス波を識別警報します。

画面表示について

1. 待受画面

警報やお知らせがない時に、運転に役立ついろいろな情報を表示するのが待受画面です。待受画面は、23 種類および「AUTO」と「OFF」が用意されています。

別売品の OBD II アダプター（P.43）で接続した場合に、より多くの情報が表示できるようになります。



★：別売品の OBD II アダプター（OBD12-M Ⅲ※、OBD-HVTM）装着時のみ表示されます。

※：ハイブリッド車に装着した場合のみ表示されます。

- ・初期値は、「警報画面（マップ）」です。
- ・日付および時刻は、GPS 測位機能により自動的に設定され、日付や時刻合わせの操作は不要です。
- ・GPS 非測位時は右下の時計色が赤色になります。（測位状況により日付や時刻が合わないことがあります。）
- ・時刻の表示は、24 時間表示です。
- ・走行速度は GPS の情報に基づき表示します。別売品の OBD II アダプターで接続した場合は、OBD II 車速情報に基づき表示します。また、車両の速度計は、数値が高く表示される（プラス誤差）傾向があります。
- ※ OBD II 接続の場合でも車両の速度計とは一致しません。
- ※ 補正機能はありません。

2. 待受画面の変更方法

例として「警報画面」から「加速度」画面に変更します。

※ 初期値は [警報 / 500 m 接近切替] です。警報時には警報画面に切り替わります。

2-1 警報画面にタッチする

ジャンプウィンドウが表示されます。



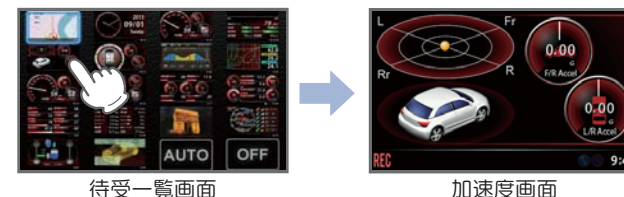
2-2 [VIEW]にタッチする

待受画面一覧が表示されます。



3-1 加速度サムネイルにタッチする

加速度画面が表示されます。



■ 待受一覧画面内表示位置



警報画面	時計	速度	エコドライブ
加速度	傾斜	潮汐情報	グラフ
プリセット A	プリセット B	プリセット C	プリセット D
プリセット E	プリセット F	フォトフレーム	衛星情報
ハイブリッド 1	ハイブリッド 2	AUTO	OFF

※「警報画面」および「プリセット A～F」の表示は、選択している配置の種類によってサムネイルが変わりますが、配置内の項目は変わりません。配置イメージになります。

3. 各待受画面の説明

メッセージウィンドウについて

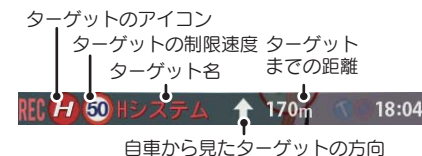
画面下に各種警報、録画状態やドライブレコーダーのエラーを表示し、必要な情報を確認できます。

警報が無い時は時刻のみ表示し、警報時、お知らせ時に情報表示されます。

※「フォトフレーム」、「OFF」では常時表示しません。

※ドライブレコーダーの録画状態のメッセージウィンドウについては P.94「AS 作動時画面」を確認してください。

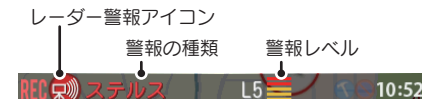
GPSターゲット警報時



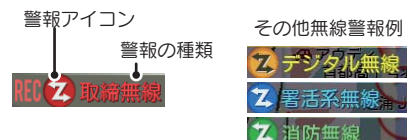
カーロケ受信時



レーダー波受信時



無線受信時



■ 画面表示例



駐禁・車上狙いアイコンについて

メッセージウィンドウ内に駐禁エリアアイコン、車上狙い多発エリアアイコンが表示されます。駐禁エリア、車上狙い多発エリアでは濃く表示・点滅し、エリア外では薄く表示または消去されます。

※ モードやマニュアルモードの設定により、駐禁エリアや車上狙い多発エリア OFF の場合は、表示されません。

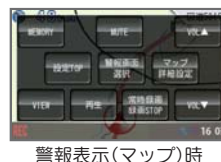


ジャンプウィンドウについて ジャンプウィンドウ

待受画面の種類によって、画面の設定変更などがしやすいように、ジャンプウィンドウが設定されています。画面タッチで表示中の待受画面の設定を簡単に呼び出せます。

ジャンプウィンドウは操作をしないと、約 30 秒で消えます。

※ ジャンプウィンドウとディスプレイユニットの各キー以外の部分にタッチするとジャンプウィンドウは消えます。



警報表示 ジャンプウィンドウ

■ マップ

全国版の地図上を自車アイコンが移動します。警報時には設定により、マップ画面に自動的に切り替わります。(P.109)

<マップ配色について>

地図表示には、昼配色と夜配色があり、衛星情報により夜と判断された場合や、照度センサーにより、暗いと判断された場合に夜配色に切り替わります。設定により、配色を固定することも可能です。(P.110)

・ 全国版地図を表示します。



■ クラシック

警告するターゲットとの位置関係を、シンプルに表示します。ターゲットとの距離や種類により、画面色が変わります。スコープサブ表示の項目は、配置 2 のメーターを 1 つ選択できます。

■ シンプル

警告する対象がない場合は、自車速度のみを表示します。警告時には、警告パネル、mini レーダー、ターゲットとの距離カウントダウンでシンプルに警告します。

<道路名および地図表示について>

現在走行している道路名を表示します。

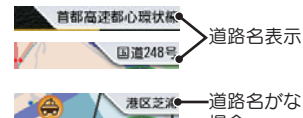
(高速道路、有料道路、国道、県道など)

道路名がない場合は、現在地の地名を表示します。

時 計

時刻合わせは自動でおこなわれますので、時刻合わせは必要ありません。

※ GPS の受信状況により合わない場合があります。



・ 時刻とカレンダーを表示します。



速 度

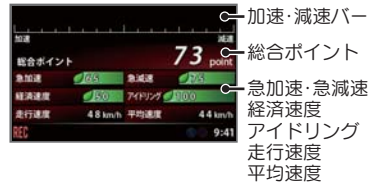
大メーターで速度を表示します。赤い針は最高速度を示します。大メーター下に平均速度・最高速度を交互に表示します。

メーターの項目は変更できません。



エコドライブ ジャンプウィンドウ

GPSの電波を受信して得られる速度データをもとに、以下の4項目から運転を評価します。また、現在の走行速度と、今回の平均速度も表示します。



評価項目	評価基準
急加速	急加速と判断するとポイント(pt)を減点します。(初期値：70pt)
急減速	急ブレーキなどによる急減速と判断するとポイント(pt)を減点します。(初期値：70pt)
アイドリング	エンジン始動後、停車している時間が長いとポイント(pt)を減点します。(初期値：70pt)
経済速度	時速 60km 前後での走行と判断するとポイント (pt) が加点され、高速、低速での走行と判断するとポイント(pt)を減点します。(初期値：70pt) ※ 実際の交通規制に従って走行してください。
総合ポイント	「急加速」「急減速」「アイドリング」「経済速度」の各ポイント(pt)の平均を算出します。

- GPS 測位できない場合は、各項目の採点はいりません。
- GPS 電波を受信できない場合でも、各項目の採点を行います。 **OBD II アダプター**
- 速度データをもとに評価するものです。目安としてお考えください。
- エコドライブのデータ消去を行うと、各ポイントが初期値の 70pt になります。(P.136)
 - ※ データ消去を行うと、元には戻せませんので、ご注意ください。
 - ※ 各ポイントを個別にリセットすることはできません。

加速度

加速度の方向と強さをボールの位置で表します。

Fr：前、Rr：後、R：右、L：左

下の車両は、加速に応じて動きます。

※ 加速度の情報は、しばらく使用すると自動的に補正されます。



傾斜

大メーターの内側でピッチとロールの状態を表示し、外側のリングでコンパスを表します。

※ 傾斜の情報は、しばらく使用すると自動的に補正されます。



潮汐情報 ジャンプウィンドウ



速度・月齢・潮名
表の地点名および月の満ち欠け

潮位グラフ
棒グラフの高さで潮位を表し、黄色と青色の切り替わるときが日の出、日の入を示します。
上部に日の出（黄文字）、日の入（青文字）時刻を表示します。
赤ラインが現在時刻です。

満潮・干潮
満潮・干潮の潮位と時刻を交互に表示します。

< 潮汐情報について >

待受機能に表示される潮汐情報は、レジャー向けに考えられたもので、航海用途には適しません。

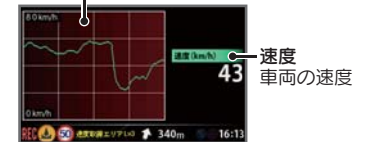
< 潮汐推算に関わるデータ提供元 >

・ 日本海洋データセンター ・ 気象庁

グラフ ジャンプウィンドウ

グラフの種類は、「速度」、「高度」、「気圧」、「加速度」、「ジャイロ」および「マニュアル」から選択します。画面にタッチし、種類を選択します。OBD II アダプターで接続すると最大 13 種類（マニュアルでは最大 21 種類）から選択できます。グラフの上下に単位を表示し、複数表示するグラフの場合はラベル色（グラフ色）の単位が表示されます。

グラフ表示エリア（例：速度表示）
数値の変化をグラフ上にリアルタイムに表示します。



プリセットA/B/C/D/E/F ジャンプウィンドウ

プリセットは、それぞれ配置、項目、背景を自由に選択でき、好みの画面を作ることができます。(P.106「プリセット画面の変更」)

6 種類 (A / B / C / D / E / F) プリセットし、画面選択で呼び出すことができます。



プリセット A ※配置 1	プリセット B ※配置 3	プリセット C ※配置 4	プリセット D ※配置 5
プリセット E ※配置 6	プリセット F ※配置 7	※初期値	

■ 配置選択

配置は 7 種類から選択します。

	初期配置画面	初期値
配置 1 ・大メーター：1 ・小メーター：2		大メーター：速度 小メーター：コンパス、時計
配置 2 ・中メーター：3		中メーター：時計、速度、エコドライブ
配置 3 ・小メーター：6		小メーター：時計、速度 0-180km/h、コンパス、前後加速度、左右加速度、ヨーレート
配置 4 ・小メーター：3 ・1/8 表示：4		小メーター：速度 0-180km/h、エコドライブ、気圧 1/8 表示：前後加速度、左右加速度、平均速度、最高速度
配置 5 ・小メーター：4 ・1/8 表示：4		小メーター：時計、コンパス、速度 0-180km/h、気圧 1/8 表示：前後加速度、左右加速度、平均速度、最高速度
配置 6 ・1/8 表示：8		1/8 表示：速度、平均速度、最高速度、前後加速度、左右加速度、ピッチレート、ロールレート、ヨーレート
配置 7 ・1/14 表示：14		1/14 表示：OBD II アダプターを必要としない項目をすべて表示

フォトフレーム

所定のフォルダに画像データを入れて写真を表示できます。画像データの保存方法は、 P.117 を参照ください。



● フォトフレーム画像
写真の切替時間、
切替時の表示方法、
写真の表示範囲、
特殊効果の設定が
できます。

衛星情報

画面左に、進行方向を上とした衛星位置、番号を表示します。

緑色：みちびき、ひまわり
オレンジ色：グロナス
青色：GPS

画面右には、仰角の高い順に、6 基の衛星情報を表示します。

衛星位置・方位

衛星の仰角と方位角を位置として表示。
外周に方位を示します。



● 衛星種類・受信レベル
電波を受信している
衛星の種類と受信
電波のレベルを示
します。

ハイブリッド 1

ハイブリッド情報を表示します。

エンジンの色は状態により変化します。

白色：停止
緑色：アイドリング
赤色：駆動
水色：エンジンブレーキ

走行中はタイヤが回転します。
また、エンジンやモーターが振動する場合があります。



	表示内容
①	エンジン水温
②	回転数
③	緑色 (→) の場合…エンジンブレーキ 黄色 (←) の場合…エンジン駆動
④	赤色 (↓) ジェネレータ発電
⑤	青色 (↓) の場合…HV バッテリー充電 黄色 (↑) の場合…HV バッテリー放電
⑥	強制充電中、暖気中の表示
⑦	HV バッテリー電流

	表示内容
⑧*	緑色 (←) の場合…リアモーター回生 黄色 (→) の場合…リアモーター駆動
⑨	HV エアコン消費電力
⑩	瞬間燃費
⑪	バッテリー残量
⑫	今回エンジン走行比率
⑬	緑色 (→) の場合…フロントモーター回生 黄色 (←) の場合…フロントモーター駆動

※ リアモーターが無い場合は表示しません。

■ バッテリー残量

青色のレベルでバッテリー残量を表示します。

状態	100 ~ 80%	79 ~ 60%	59 ~ 40%	39 ~ 20%	19 ~ 0%
アイコン					

ハイブリッド 2

ハイブリッド情報を表示します。

■ 表示項目一覧

以下の項目を表示します。

HV システムパワー	エンジン水温	HV Rr モータパワー*
HV Fr モータパワー	HV 全電池容量	HV Rr トルク配分比*
HV エンジンパワー	HV バッテリー電流	
回転数	HV 昇圧後電圧	

※ リアモーターが無い場合は表示しません。

ハイブリッド情報



一定時間ごとに背景が回転します。

4. プリセット画面内のメーター類の説明

大メーター

配置 1 の左側に表示される大メーターの種類は付録の大メーターの項目で設定可能です。

現在設定されているカテゴリ、種類の項目が青く選択されています。

OBD II アダプターで接続していない場合、および対応していない項目は、選択できません。

カテゴリ内の項目がすべて非対応の場合は、カテゴリが選択できません。

※ 項目の説明は、「付録」(P.195) を参照ください。



中メーター

配置 2 で表示される中メーターの種類は付録の中メーターの項目で設定可能です。

現在設定されているカテゴリ、種類の項目が青く選択されています。

OBD II アダプターで接続していない場合、および対応していない項目は、選択できません。カテゴリ内の項目がすべて非対応の場合は、カテゴリが選択できません。

バックライトの「ON / AUTO / OFF」、バックライト色、半透過モード「ON / OFF」、付加情報表示「ON / OFF」が選択できます。

付加情報は停車時、しばらくすると表示されます。

※ 項目の説明は、「付録」(P.197) を参照ください。



小メーター

例として配置 1 の右側に表示される種類は付録の小メーターの項目で種類が設定可能です。

現在設定されているカテゴリ、種類の項目が青く選択されています。

OBD II アダプターで接続していない場合、および対応していない項目は、選択できません。

カテゴリ内の項目がすべて非対応の場合は、カテゴリが選択できません。

※ 項目の説明は、「付録」(P.200) を参照ください。



配置 1

■小メーター表示可能画面



配置 3

配置 4

配置 5

1/8 表示、1/14 表示

1/8 表示は配置 4、配置 5 および配置 6 で表示されます。1/14 表示は配置 7 で表示されます。

※ OBD II アダプターで接続していない場合、および対応していない項目は、選択できません。カテゴリ内の項目がすべて非対応の場合は、カテゴリが選択できません。

※ 項目の説明は、「付録」(P.202) を参照ください。



配置 6

配置 7

公開取締り情報について

走行中の市区町村に沿った、各都道府県警察署発表の公開取締り情報を、画面下にテロップで流すことができます。全国地図と連動させた独自の分かりやすい案内機能です。場所、時期によっては表示されない場合もあります。ご購入時はレーダー探知機用 SD カードに公開取締り情報のデータが入っていません。表示させる場合は、パソコンでデータをダウンロードしてください。

詳しくは、弊社ホームページ(<http://www.yupiteru.co.jp/>)を参照ください。

公開取締り情報を表示している時でも、レーダー警報や無線警報など優先度の高い警報が優先されます。

※ GPS の日時情報により、日付の過ぎたものは表示されません。

※ 公開取締り情報が発表されていない地域では表示されません。

※ 公開取締り以外でも各都道府県にて取締りを実施しております。

※ 収録した公開取締り情報の公開日を確認する時はバージョン情報 (P.137) をご確認ください。

※ 待受画面が「フォトフレーム」OFF の時は表示されません。

公開取締り情報を表示する手順は、 P.95 を参照ください。

■ 速度管理指針について

交通事故発生状況等の交通実態や速度抑制の必要性などを基に各都道府県内における速度制限や交通取締りの方針を示したものです。警察本部でまとめられた指針になります。

■ 速度取締り指針について

速度管理指針に示す方針のもと、各警察署管内の一般道路及び高速道路について、交通事故発生状況の分析や地域住民からの要望等を基に、速度取締りを重点的に行う路線、時間帯等を明らかに示したものです。警察署単位でまとめられた指針になります。

参考HP http://www.keishicho.metro.tokyo.jp/kotu/sokudo_sisin/sokudo_sisin.htm

1. 警報画面

取締りレーダー波を探知したり、注意度の高いオービスや取締りエリアなどのGPSターゲットから1km(高速道では2km)に近づく、待受画面から「フルマップレーダースコープ」や「実写警報(REAL PHOTO リアルフォト)」が表示される警報画面(マップ・クラシック・シンプル)に切り替わります。

※「待受→警報画面切替 2/3」(P.109)で、「待受固定」を選択の場合は、画面が切り替わりません。



警報画面 警告ムービー 4色識別アラーム

レベル高

赤 警告「**嚴重注意ターゲット**」

黄 警告「**要注意ターゲット**」

青 告知「**少し注意ターゲット**」

緑 情報「**安全運転のための情報**」

レベル低

赤 ループコイルなど「嚴重注意」ターゲットを赤色の背景で警告。ターゲット名はもちろん、ステルス波やレーダー波は電波受信をレベル表示します。

黄 取締りエリアなど「要注意」ターゲットを黄色の背景で警告。ターゲット名とターゲットまでの距離をカウントダウン表示します。

青 連続カーブなど「少し注意」ターゲットを青色の背景で告知。

緑 ETC レーンなど「安全運転のための情報」を緑色の背景でお知らせ。

実写警報「REAL PHOTO (リアルフォト)」

オービス実写例



- 高速道のみ約2km手前でも表示されます。(制限速度を超えている場合のみ)
- 実写内にオービスの位置を矢印で表示します。
- 実写データが登録されていないポイントでは、実写は表示されません。

取締りエリア実写例



- 実写データがない取締りエリアでは、イメージ写真で表示します。
- 一時停止取締りエリアはエリア内でのみ表示します。

マップ画面の警報パネル表示について

警報パネルは数秒表示したのち、登録されている地点では実写警報に切り替わります。

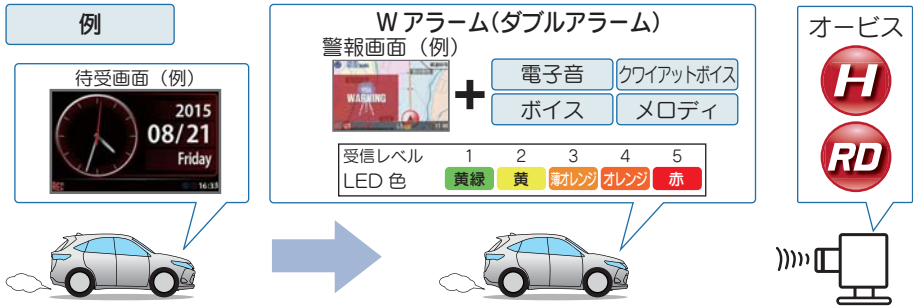
※ 警報画面(マップ)での警報時に表示される警報パネルの表示を切り替えることができます。(P.110「マップモード 2/7」)

※ 実写警報は ON/OFF の設定ができます。(P.126「警報パネル写真 4/6」)

1 マップ パネルなし		マップ画面のみで、警報パネルを表示しません。
1 マップ パネル自動		画面に小さな警報パネルが表示され、距離によりパネルが大きくなります。
1 マップ パネル小		画面に小さな警報パネルが表示されます。
1 マップ 2 パネル小		画面の左右に小さな警報パネルが表示されます。警報距離内にある最大2件の警報を行います。mini レーダー上のアイコンと警報パネルは線でつながっていて、自車との位置関係がわかるようになっています。
2 マップ パネルなし		画面が2画面に分割され、左側に通常の地図、右側に広範囲を表示する地図を表示します。右側の地図画面はヘディングアップ固定です。警報パネルは表示しません。
2 マップ パネル小		画面が2画面に分割され、左側に通常の地図と小さな警報パネル、右側に広範囲を表示する地図を表示します。右側の地図画面はヘディングアップ固定です。

取締りレーダー波を受信すると…

警報・告知を行うマップ画面に切り替わります。
※「待受⇄警報画面切替 2/3」(P.109)で、「待受固定」を選択の場合は、画面が切り替わりません。
※ 電子音 / ボイス / クワイアットボイス / メロディは変更できます。(P.128)



1. W アラーム(ダブルアラーム)

音(電子音 / ボイス / クワイアットボイス / メロディ)と画面表示のダブルで警報します。

2. 後方受信

iDSP による超高精度識別およびスーパーエクストラの超高感度受信により、後方からの取締りレーダー波もシッカリ受信します。

3. オートクワイアット

レーダー波の受信が約 30 秒以上続くと、自動的に警報音の音量が小さくなります。

4. ミュート機能

警報中にジャンプウィンドウの [MUTE] にタッチすると、受信中の電波が受信できなくなるまで警報音を一時的に消すことができます。

5. 接近テンポアップ(電子音選択時のみ)

取締りレーダー波発信源への接近に伴う電波強度の変化に合わせて電子音のテンポが上がっていきます。

取締りレーダー波 発信源との距離	
電子音	「ピロ・ピロ」 → 「ピー-----」 断続音から連続音に変化します。
受信レベル表示	L1 → L5 レーダー波の受信レベルが変化します。

6. ステルス波を受信すると

警報を行うマップ画面と専用の警報ボイスで警告します。
※「待受⇄警報画面切替 2/3」(P.109)で、「待受固定」を選択の場合は、画面が切り替わりません。



『ステルスです。ステルスです。』と警報したあと、通常の警報音 (メロディ、ボイス、クワイアットボイス、電子音)の警報になります。

7. レーダー波 3 識別(iDSP)について

レーダー探知機機能は、iDSP/ 統合的デジタル信号処理技術 (integrated Digital Signal ProcessingTechnology) により、ステルス型取締り機の「一瞬で強い電波」に対しては、ただ単に警報するだけでなく、通常波と区別して警報画面とボイスでお知らせします。さらに、アイキャンセル (P.121) により取締り波かどうかを識別し、誤警報を抑えます。

【ステルス識別】
【アイキャンセル：特許 第 3902553 号、第 4163158 号】

・ iDSP はステルス型の取締り機に対して完全対応という訳ではありません。先頭を走行する際はくれぐれもご注意ください。



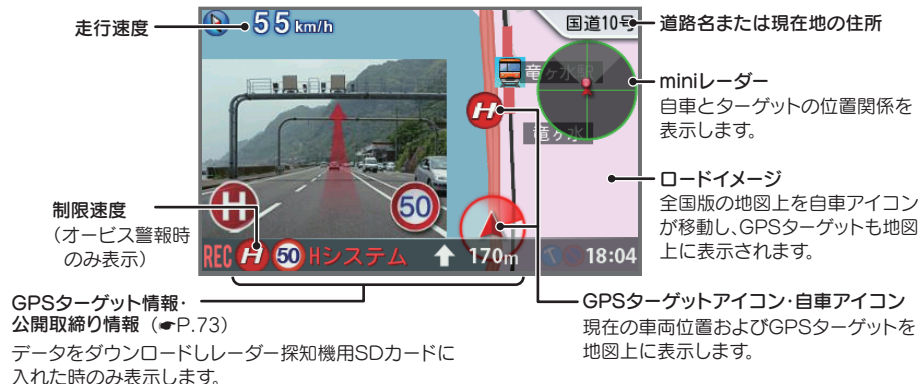
・ フルマップレーダースコープ画面におけるターゲット表示とレーダー波の発信元とは無関係です。
・ 新 H システムの断続的なレーダー波を受信した際も、通常のレーダー波と同じ警報となります。

GPS ターゲットに接近すると…

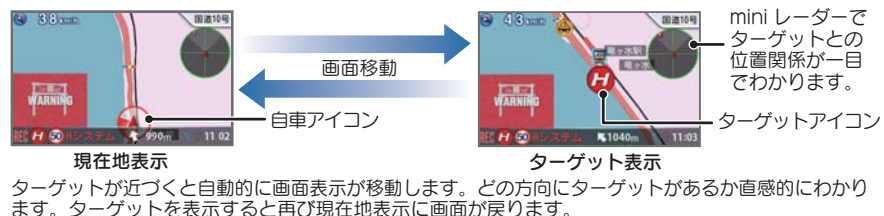
1. ターゲットフォーカス機能・フルマップレーダースコープ

レーダー探知機能に登録された GPS ターゲットに近づく、待受画面から全国版フルマップ上でターゲットの存在をお知らせするマップ画面に切り替わります。走行している道路の先にある GPS ターゲットを前もって知ることができます。

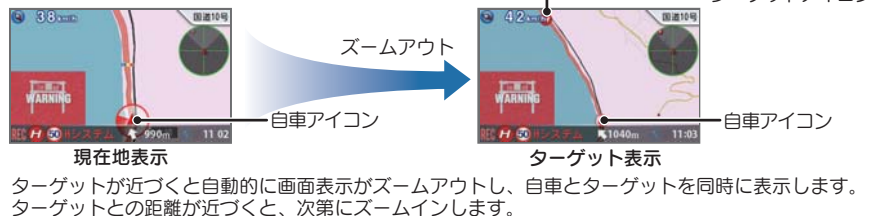
※「待受画面切替 2/3」(P.109)で、「待受固定」を選択の場合は、画面が切り替わりません。



フォーカス移動を ON にすると



ズーム表示を ON にすると



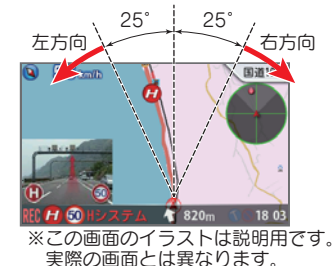
- ・制限速度表示は、オービス (ループコイル / LH システム / 新 H システム / レーダー式オービス) と一部の取締りエリア警報時に表示します。
- ・表示される時刻・速度・距離は、GPS の受信状況により、誤差を生じることがあります。
- ・走行速度や GPS ターゲットまでの距離、自車アイコンは、GPS や G センサー、ジャイロセンサー、気圧センサー、マップマッチングシステムにより計測し表示させています。状況によっては実際と異なる場合もあります。
- ・GPS 非測位時、走行速度は表示しません。
- ・OBD II アダプターを接続すると GPS 非測位時でも走行速度が表示されます。 **OBD II アダプター**

警報ボイスについて

1. 左右方向識別ボイス

GPS 警報は、ターゲットが進行方向に対して、右手または左手方向に約 25° 以上のとき、「左方向」または「右方向」のボイスを付加して、その方向をお知らせします。

- ・『右方向』、『左方向』のボイスは、告知時点でのターゲット方向であり、右車線、左車線を示す訳ではありません。
- ・ターゲットまでの距離が非常に近い場合は、左右方向識別ボイスをお知らせしないこともあります。



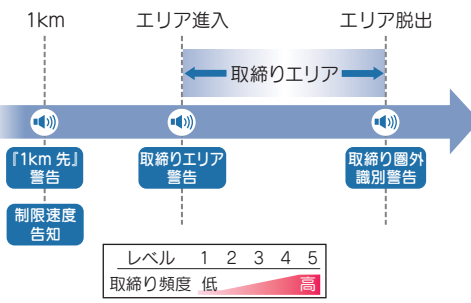
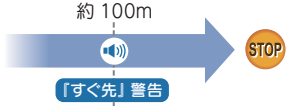
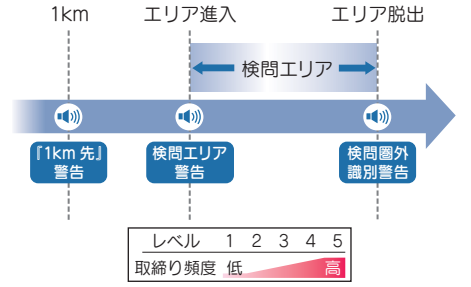
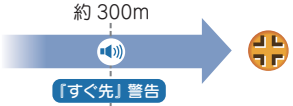
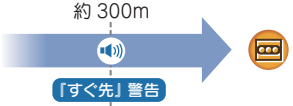
ターゲットの種類		お知らせするタイミング (距離)				
		※ GPS の受信状況やセンサーの状況によって、お知らせする距離が異なる場合があります。				
オービス 5 段階警報		2km (高速道のみ)	1km	500m	直前	通過
LC (ループコイル)		「2km 先」 警報	「1km 先」 警報	「500m 先」 警報		
LH (新 H システム)			制限速度 告知	カメラ位置 告知	直前走行 速度告知	通過告知
H (LH システム)			速度超過 告知		速度超過 告知	
RD (レーダー式)						
LED 色 赤	※ オービス警報時の音 (オービスジングル) は変更できます。(P.137)					制限速度 切替告知
※ トンネル出口ターゲットとトンネル内オービスは直前走行速度告知を行いません。						
※ トンネル出口ターゲットと制限速度が登録されていない場合は制限速度告知を行いません。						
※ トンネル出口ターゲットはカメラ位置告知を行いません。						
		※ 1km 手前では制限速度もお知らせします。 普通自動車の制限速度をお知らせします。事故や天候、時間帯などによって変更される制限速度には対応しておりません。				
		※ 500m 手前ではカメラ位置もお知らせします。				
		※ 直前では走行速度告知も行います。				
		※ 制限速度切替告知は、高速道路の制限速度切替ポイントでお知らせします。LED 色は黄色になります。				

※ 1km 手前では制限速度もお知らせします。普通自動車の制限速度をお知らせします。事故や天候、時間帯などによって変更される制限速度には対応しておりません。

※ 500m 手前ではカメラ位置もお知らせします。

※ 直前では走行速度告知も行います。

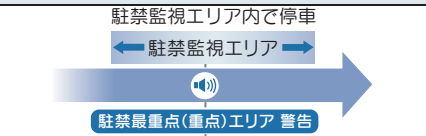
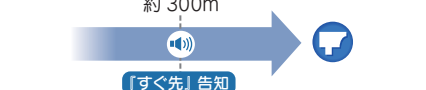
※ 制限速度切替告知は、高速道路の制限速度切替ポイントでお知らせします。LED 色は黄色になります。

ターゲットの種類	 お知らせするタイミング（距離） ※ GPS の受信状況やセンサーの状況によって、お知らせする距離が異なる場合があります。 ※ GPS 警告音の音（警報ジングル）は変更できます。（☛ P.137）	
取締りエリア  （移動オービス）  （速度取締り）  （追尾式取締り）  （交差点取締り）  （その他取締り） LED 色 黄	※ GPS 警告時の音（オービスジングル）は変更できます。（☛ P.128） 	
 （一時停止取締り） LED 色 黄		
検問エリア  （シートベルト検問）  （携帯電話検問）  （飲酒検問）  （その他の検問） LED 色 黄		
 （交差点監視ポイント） LED 色 黄		
 （信号無視抑止システム） LED 色 黄		
 （高速交通警察隊） LED 色 黄		

※ 1km 手前では左右方向もお知らせします。
 ※ レーダー探知機機能に登録されている取締りエリアは過去のデータに基づいています。頻度などは目安としてお考えください。
 ※ トンネル内追尾式取締りエリア、「トンネル出口直後速度取締りエリア」から脱出した場合は、取締り圏外識別警告は行いません。
 ※ トンネル出口ターゲットと制限速度が登録されていない取締りエリアは、制限速度告知を行いません。

※ レーダー探知機機能に登録されている取締りエリアは過去のデータに基づいています。頻度などは目安としてお考えください。

※ 1km 手前では左右方向もお知らせします。
 ※ 本機に登録されている取締りエリアは過去のデータに基づいています。頻度などは目安としてお考えください。

ターゲットの種類	 お知らせするタイミング（距離） ※ GPS の受信状況やセンサーの状況によって、お知らせする距離が異なる場合があります。 ※ GPS 警告音の音（警報ジングル）は変更できます。（☛ P.137） ※ GPS 告知時の音（告知ジングル）は変更できます。（☛ P.137）	
 （駐禁監視エリア） LED 色 黄 ※ アイコンは「マップ」画面上には表示されません。		
 （一時停止注意ポイント）	サイレント警報 MAP 上のアイコンで表示します。	
 （マイエリア） LED 色 黄		
 （ゾーン 30 エリア） LED 色 黄 ※ アイコンは「マップ」画面上には表示されません。		
 （ラウンドアバウト）	サイレント警報 MAP 上のアイコンで表示します。	
 （N システム） LED 色 青		
 （交通監視システム） LED 色 青		
 （警察署） LED 色 青		
 （交番） LED 色 青		

※ レーダー探知機機能に登録されている違法駐車取締りガイドラインの最重点地域・重点地域内で停車するとお知らせします。

※ 東京都 23 区 / 名古屋市内 / 大阪市内の一時停止ポイントが登録されています。

※ 移動オービスがよく出没する地点や、新たに設置されたオービスポイントなどをマイエリアとして自由に登録できます。

※ ゾーン 30 エリアに入るとお知らせします。

※ N システム：自動車ナンバー読み取り装置

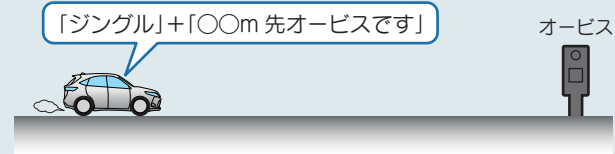
※ 交通監視システム：画像処理式交通流計測システムなど

ターゲットの種類	🚗 お知らせするタイミング (距離)	
	※ GPS の受信状況やセンサーの状況によって、お知らせする距離が異なる場合があります。 ※ GPS 告知時の音 (告知ジングル) は変更できます。(🔊 P.137)	
❗ (事故多発エリア) LED 色 青	約 300m 「すぐ先」告知	
🔨 (車上狙い多発エリア) LED 色 青 ※ アイコンは「マップ」画面上には表示されません。	車上狙い多発エリア内で停車 「車上狙い多発エリア」告知	
✳️ (踏切) サイレント警報 MAP 上のアイコンで表示します。	※ レーダー探知機能にに登録されている踏切ポイントのアイコンを表示します。	
🌀 (急(連続)カーブ) (高速道路のみ) LED 色 青	カーブにさしかかったら 「この先」告知	
📍 (分岐(合流)ポイント) (高速道路のみ) LED 色 青 ※ アイコンは「マップ」画面上には表示されません。	分岐にさしかかったら 合流にさしかかったら 「この先」分岐告知 「この先」合流告知	
ETC (ETC レーン) LED 色 緑 ※ アイコンは「マップ」画面上には表示されません。	ETC レーンにさしかかったら ETC レーン お知らせ	
※ 実際の料金所のブースの配置と説明イメージが異なる場合があります。その場合は実際の標識にしたがって進入してください。		
SA (サービスエリア) PA (パーキングエリア) ⚙️ (ハイウェイアシス) LED 色 緑	1km 「1km 先」お知らせ 「スマートインターチェンジ」お知らせ 「ガステーション」お知らせ	
	※ サービスエリア、パーキングエリアおよびハイウェイアシスのお知らせを OFF に設定すると、スマートインターチェンジ、ガステーションのお知らせも行いません。	

ターゲットの種類	🚗 お知らせするタイミング (距離)	
	※ GPS の受信状況やセンサーの状況によって、お知らせする距離が異なる場合があります。 ※ GPS 告知時の音 (告知ジングル) は変更できます。(🔊 P.137)	
🔄 (長い(連続)トンネル) (高速道路のみ) LED 色 緑	1km 500m 「1km 先」お知らせ 「500m 先」お知らせ	
📶 (ハイウェイラジオ) (高速道路のみ) LED 色 緑	受信エリアお知らせ 受信エリア	
🗺️ (県境) (高速道路および主要一般道路のみ) LED 色 緑 ※ アイコンは「マップ」画面上には表示されません。	県境お知らせ 〇〇県 Y □□県	
🚉 (道の駅) LED 色 緑	1km 500m 「1km 先」お知らせ 「500m 先」お知らせ	
📷 (ビューポイントパーキング) LED 色 緑	1km 500m 「1km 先」お知らせ 「500m 先」お知らせ	
P (駐禁エリア付近駐車場) サイレント警報 MAP 上のアイコンで表示します。	※ レーダー探知機能にに登録されている駐車場のアイコンを表示します。	
🚒 (消防署) サイレント警報 MAP 上のアイコンで表示します。	※ レーダー探知機能にに登録されている消防署のアイコンを表示します。	
WC (公衆トイレ) サイレント警報 MAP 上のアイコンで表示します。	※ レーダー探知機能にに登録されている駐公衆トイレのアイコンを表示します。	

■ カスタム音声 (🔊 P.139) のジングルとは

本機が警報やお知らせをする際に、お知らせする項目の前に鳴る注意喚起音のことです。



各種無線電波を受信すると…

アンテナユニットは、取締りレーダー波のX・KツインバンドとGPSの3バンドの他に、無線14バンド受信をプラスし、17バンド受信ができます。

$$\boxed{\text{衛星}} + \frac{\boxed{\text{Xバンド}}}{\boxed{\text{Kバンド}}} + \boxed{\text{無線14バンド}} = \boxed{17 \text{ BAND}}$$

■ 無線発信源の位置を表示することはできません

無線の受信を警報する画面は、無線を受信したことを表示しています。発信源の位置や距離については表示されません。本機の近くで取締りに関係する無線が発信されていることを警報します。

1. 無線 14 バンド受信機能

※ 無線受信時の音（無線ジングル）は変更できます。（🔊 P.137）

無線の種類	LED	説明
カーロケ無線 (カーロケーターシステム) 🔊『カーロケ近接受信です』 🔊『カーロケ遠方受信です』 🔊『カーロケ圏外です』※ ※ カーロケ無線の発信源が遠ざかった可能性が高いとき	ピンク 黄 水色	「無線自動車動態表示システム」のことで、警察の通信司令本部がパトカーなどの移動局の現在位置をリアルタイムで地図上に表示し、把握するためのシステムです。カーロケーターシステムを搭載した移動局は、GPSによる緯度・経度情報をデジタル化し、それを407.7MHz帯の周波数でデータ伝送しています。本機は、それを受信することにより、移動局が近くにいることを警報します。 ※ カーロケーターシステム搭載車であっても、カーロケ無線が使用されていない場合は、受信できないことがあります。 ※ カーロケーターシステムは全国的に新システムへと移行しています。現在は受信できる地域でも、新システム移行後は受信できなくなる場合がありますので、あらかじめご了承ください。新システムに移行した地域では、カーロケ無線の警報ができません。 ※ 受信のタイミングによっては、実際の移動局の接近と警報にズレが生じる場合があります。
取締り無線 🔊『取締り無線です』	ピンク	スピード違反やシートベルト着用義務違反の取締り現場では、350.1MHzの電波で無線連絡が行われることがあります。本機は、それを受信することにより、近くで取締りが行われていることを警報します。 ※ 無線を使わず、有線で通信が行われる場合があります。この場合は警報されません。
デジタル無線 🔊『デジタル無線です』	黄	各都道府県警察本部と移動端末間で交信するためのもので、移動端末から送信する際に、159～160MHz帯の周波数が使われます。その電波を受信して、移動局が近くにいる可能性を察知できます。事前に察知することにより、緊急車両の通行の妨げにならないようにするなど、安全走行に役立ちます。
取締り特小無線 🔊『デジタル無線です』	水色	取締り現場では、取締り無線（350.1MHz）の他に、特定小電力無線が用いられる場合があります。 ※ 取締りをしていても、この無線を使用していない場合があります。この場合は警報されません。

無線の種類	LED	説明
署活系無線 🔊『署活系無線です』	水色	パトロール中の警察官が警察本部や他の警察官との連絡用として使う無線が署活系無線です。
警察電話 🔊『警察電話です』	水色	移動警察電話（移動警電）ともいい、警察専用の自動車携帯電話システムのことです。
警察活動無線 🔊『警察活動無線です』	水色	主に機動隊の連絡用無線で、行事などの警備用として、限られた範囲で使用する無線です。
レッカー無線 🔊『レッカー無線です』	水色	主に関東/東海/阪神の一部地域で、レッカー業者が駐車違反や事故処理のときに、連絡用として簡易業務用無線を使用します。 ※ 他の簡易業務用無線を受信しても、レッカー無線警報をすることがあります。
ヘリテレ無線 🔊『ヘリテレ無線です』	黄緑	ヘリコプターを使って事件や事故処理、または取締りを行うときなどに地上との連絡用として使用します。 ※ 一部地域や一部ヘリコプターで、ヘリテレ無線が装備されていない場合や、使用していない場合は受信できないことがあります。
消防ヘリテレ無線 🔊『消防ヘリテレ無線です』	黄緑	ヘリコプターを使った火事の事故処理、または火事現場との連絡用として使われます。 ※ 一部地域や一部ヘリコプターで、消防ヘリテレ無線が装備されていない場合や、使用していない場合は受信できないことがあります。
消防無線 🔊『消防無線です』	黄緑	災害・救助活動で使用する消防用署活系無線（携帯用400MHz帯）です。 ※ 消防本部等で広域に使用されているVHF帯（150MHz帯）の通信は受信できませんので、ご了承ください。
新救急無線 🔊『救急無線です』	黄緑	救急車と消防本部の連絡用として使われる無線のうち、首都圏の特定の地域で使われているのが新救急無線です。
高速道路無線 🔊『高速道路無線です』	黄緑	NEXCO 東日本、NEXCO 中日本、NEXCO 西日本の業務連絡用無線で、主に渋滞や工事・事故情報などでパトロール車両と本部との連絡に使用します。
警備無線 🔊『警備無線です』	黄緑	主に警備会社が使用する無線です。

2. ベストパートナー 6 識別

各無線の受信状態からシミュレーションし、快適ドライブのベストパートナーとして、安全走行のためのタイムリーな情報をお知らせします。

カーロケ無線(407.7MHz 帯の電波)を受信したとき、その発信元の遠近を自動識別し、さらに発信元が圏外になったと思われる場合もお知らせします。

※ カーロケ無線やベストパートナーは、カーロケ無線が受信可能な一部地域のみはたらきます。

[検問注意：特許 第 4119855 号]

[並走追尾注意 / すれ違い / 圏外識別：特許 第 3780262 号]

■ ベストパートナー機能を使用するには…

「カーロケ無線」「取締り無線」「デジタル無線」の設定 (● P.118) をすべて「ON」にする。

※ いずれかの無線が OFF の状態では、一部のベストパートナー機能がはたらきません。

無線の種類	LED	説明
並走追尾注意 		緊急車両が近くにいる可能性が高いとき
すれ違い注意 		近くにいたと思われる緊急車両などが、遠ざかった可能性が高いとき
取締り注意 		比較的近くで取締りなどが行われている可能性が高いとき
検問注意 		比較的近くで検問などが行われている可能性が高いとき
カーロケ遠近識別 	 	緊急車両などが近接している時や、遠方にいる可能性が高いとき
カーロケ圏外識別 		カーロケ受信の発信元が遠ざかった可能性が高いとき

Active Safety(アクティブ セーフティ)機能について

Active Safety 機能は、運転者の判断を補助し、運転負荷の軽減を目的としています。

- ※ 解像度が「1080P HD(HDR) 30FPS」(初期値)または「1080P HD 30FPS」設定時のみ有効になります。(● P.158)
- ※ Active Safety 機能の警告音と画面表示は、録画時 (待受画面 OFF 時も含めた録画中と録画停止中) に、Active Safety 機能作動時から数秒間お知らせします。
- ※ Active Safety 機能の警告音と画面表示は、再生モード時、設定メニュー時やマナーモード時は、お知らせを行いません。
- ※ Active Safety 機能の画面表示は、録画ファイルには録画されません。
警告音は、「音声録音：ON」設定時に音声として録画ファイルに録音されます。

**注意**

- Active Safety 機能を過信しないでください。あらゆる走行状況を判断してお知らせすることはできません。運転者の前方不注意や視界不良での運転動作を補助することはできません。
- 運転時は、先行車との距離や周囲の状況、運転環境に注意し、常に安全運転を心がけてください。

1. Start information(スタート インフォメーション)

信号待ちなどで停止している状態で、先行車が発進しても自車が止まったままの場合、表示と警告音でお知らせします。

※ 設定で Start information の ON/OFF を変更できます。(初期値：ON) ● P.160「[AS 設定] 設定」

・信号待ちなどで、先行車のうしろで自車が停止した状態



先行車 自車



先行車が発進し、自車が停止した状態

パネル表示、メッセージウィンドウと警告音でお知らせ

『ピンポン』という警告音が三回鳴り、下記のパネルを表示します。

※マップ表示の場合のみ。それ以外の待受けの場合メッセージウィンドウのみでお知らせします。



※音量 OFF の場合は、警告音は鳴りません。表示のみのお知らせとなります。

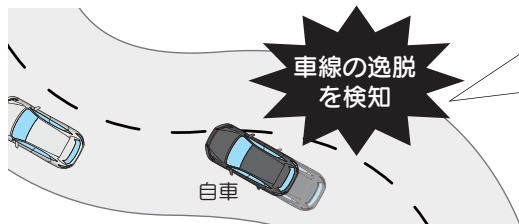
・先行車との距離や周囲の状況、気象条件等によって、うまく働かない場合があります。あらかじめご了承ください。

※ 前方の車両を認識してお知らせを行います。先行車を認識できない位置にカメラユニットを取り付けると、うまく働かない場合があります。

2. レーンキープアシスト

走行中に自車の車線逸脱（走行車線からはみ出し）を検知すると、表示と警告音でお知らせします。

- ※ レーンキープアシストを使用する場合、設定が必要です。（● P.53「レーンキープアシスト機能と前方衝突防止アラートの設定を行う」）
- ※ 設定でレーンキープアシストの ON/OFF を変更できます。（初期値：ON）● P.160「[AS 設定] 設定」



パネル表示、メッセージウィンドウと警告音でお知らせ

『ピンポン』という警告音が三回鳴り、下記のパネルを表示します。
※マップ表示の場合のみ。それ以外の待受けの場合メッセージウィンドウのみでお知らせします。



※音量 OFF の場合は、警告音は鳴りません。表示のみのお知らせとなります。

- ・作動する車両速度を設定できます。（● P.160「[AS 設定] 設定」）
- ・GPS を測位した状態で機能します。GPS 測位ができない場合は機能しません。
- ・車線幅や周囲の状況、気象条件等によって、うまく働かない場合があります。あらかじめご了承ください。
- ・ブレーキ・ウィンカー検出ケーブルまたは、別売品の OBD12-M III を接続すると、車線変更時の警告を行いません。（● P.160「[AS 設定] 設定」）
- ※ 車種によっては OBD12-M III を接続しても外部入力ウィンカーを設定できない場合がありますので弊社ホームページより、最新のレーダー探知機用 OBD II アダプター対応表を確認してください。

3. 前方衝突防止アラート

走行中に先行車と接近しすぎた場合に、表示とブザーでお知らせします。

- ※ レーンキープアシストを使用する場合、設定が必要です。（● P.53「レーンキープアシスト機能と前方衝突防止アラートの設定を行う」）
- ※ 設定で前方衝突防止アラートの ON/OFF を変更できます。（初期値：ON）● P.160「[AS 設定] 設定」

・先行車と自車が接近



パネル表示、メッセージウィンドウと警告音でお知らせ

『ピロリロリン』という警告音が三回鳴り、下記のパネルを表示します。
※マップ表示の場合のみ。それ以外の待受けの場合メッセージウィンドウのみでお知らせします。

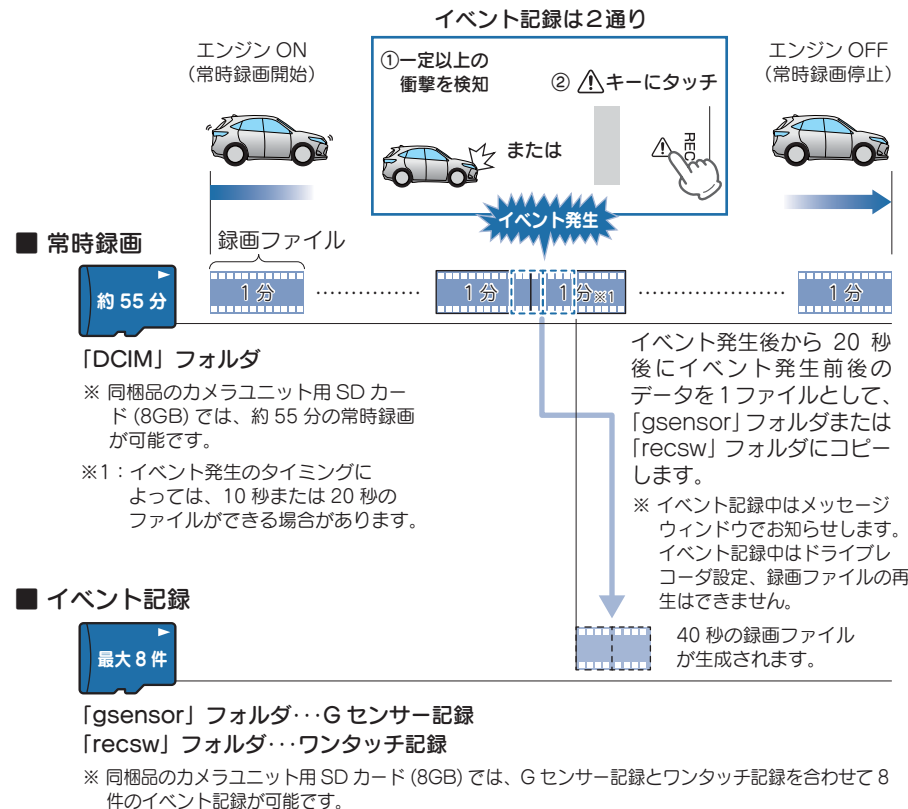


※音量 OFF の場合は、警告音は鳴りません。表示のみのお知らせとなります。

- ・作動する車両速度を設定できます。（● P.160「[AS 設定] 設定」）
- ・GPS を測位した状態で機能します。GPS 測位ができない場合は機能しません。
- ・車線幅や周囲の状況、気象条件等によって、うまく働かない場合があります。あらかじめご了承ください。
- ・車線変更時は、先行車を検知しないため、先行車と接近しすぎた場合でも、前方衝突アラートは動きません。
- ・ブレーキ・ウィンカー検出ケーブルまたは、別売品の OBD アダプターを接続すると、ブレーキの踏込を認識し、警告を行いません。（● P.160「[AS 設定] 設定」）
- ※ 車種によっては OBD12-M III を接続しても外部入力ブレーキを設定できない場合がありますので弊社ホームページより、最新のレーダー探知機用 OBD II アダプター対応表を確認してください。

録画について

記録方法は、常時録画とイベント記録があります。



1. 常時録画

エンジン始動 (ACC ON) からエンジン停止 (ACC OFF) までの映像をカメラユニット用 SD カードに常時録画します。

※「自動録画」の設定で、ON/OFF が可能です。（● P.159「[自動録画] 設定」）

・録画ファイル構成

1 ファイルあたり約 1 分で生成します。

・録画可能時間

初期値 (1080P HD(HDR) 30FPS) で、同梱品のカメラユニット用 SD カード (8GB) に約 55 分の常時録画が可能です。SD カードの容量によって録画可能時間は異なります。（● P.191「録画時間の目安」）

・上書きモード

初期値では「上書きモード」が「全て上書き」のため、55 分以降も上書きして録画します。上書き動作は設定によって異なります。（● P.91「上書きモードについて」）

2. イベント記録(G センサー記録とワンタッチ記録)

イベント記録には、G センサー記録とワンタッチ記録があります。イベント記録中は、メッセージウィンドウにイベント記録アイコンを表示します。

また、マップ画面上に G センサー記録が行われた場所をマップ上とメッセージウィンドウに表示します。

※ マップ画面上の表示は ON/OFF 切替が可能です。(● P.160[「イベント地点登録」設定])

※ イベント記録アイコン表示中に電源 OFF した場合は、見えないファイルや壊れた状態のファイルとなる場合が、再度電源 ON すると修復されます。

※ 電源 OFF したときに、他の SD カードに入れ替えないでください。修復ができなくなる可能性があります。

・録画ファイル構成

1 ファイルあたり約 40 秒(イベント発生前 20 秒とイベント発生後 20 秒)で生成します。

・最大記録件数

同梱品のカメラユニット用 SD カード (8GB) に、G センサー記録とワンタッチ記録を合わせて 8 件のイベント記録が可能です。SD カードの容量によって最大記録件数は異なります。(● P.191「イベント記録の最大記録件数」)

・上書きモード

初期値では「上書きモード」が「全て上書き」のため、記録件数が 8 件を超えると、古いイベント記録を上書きします。上書き動作は設定によって異なります。(● P.91「上書きモードについて」)

アイコンの種類	説 明
 (イベント録画)	待受け画面 (マップ表示) 時にイベント録画が記録された場所を表示します。

G センサー記録

G センサーが一定以上の衝撃を検知すると、1 ファイル単位の映像をカメラユニット用 SD カードの「gsensor」フォルダにコピーします。

※ 初期値では「G センサー記録 : ON」となります。設定で「OFF」にすることもできます。(● P.159[「G センサー記録」設定])

・G センサー感度

G センサーの感度を設定することができます。初期値では、X (前後方向)、Y (左右方向)、Z (上下方向) の数値は全て「1.5G」となります。(● P.159[「G センサー感度」設定])

一定以上の衝撃を検知



イベント記録が行われた場所にアイコンを表示します。

イベント記録アイコン

ワンタッチ記録 (手動記録)

常時録画中に  キーにタッチすると、1 ファイル単位の映像をカメラユニット用 SD カードの「recsw」フォルダにコピーします。



⚠ 注意

 ワンタッチ記録をするときは、周囲の安全を十分に確認したうえで素早く操作を行ってください。

3. 上書きモードについて

上限に達した場合の動作を下記から選択できます。(● P.161「[上書きモード] 設定」)

上書きモード		上限に達した場合の動作	
		常時録画	イベント記録
上書き禁止	全ての録画ファイルは上書きされません。	録画の停止	録画の停止
常時録画上書き※1	保護していない常時録画ファイルのみ上書きします。	上書きして録画を継続	録画の停止
全て上書き※1 (初期値)	保護していない録画ファイルを上書きします。	上書きして録画を継続	上書きして録画を継続

※ 1 : 保護したファイル (● P.165「録画ファイルの保護について」) は、上書きされません。
保護したファイルを削除する場合は、「設定メニュー」→「保護解除」にてファイルの保護を解除してから削除するか、カメラユニット用 SD カードをフォーマットしてください。(● P.52「カメラユニット用 SD カードをフォーマットする」)

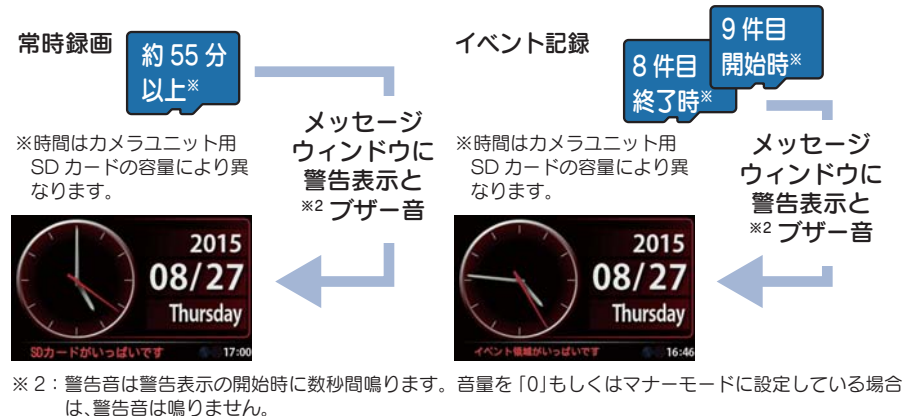
上書き禁止

常時録画とイベント記録がそれぞれ上限に達すると、その記録方法での録画を停止します。

例① : イベント記録が最大記録件数に達すると、イベント記録は停止しますが、常時録画が上限に達していなければ、常時録画を続けます。

例② : 常時録画がカメラユニット用 SD カード容量の上限に達すると、常時録画が停止します。さらにイベント記録も記録件数にかかわらず記録を停止します。

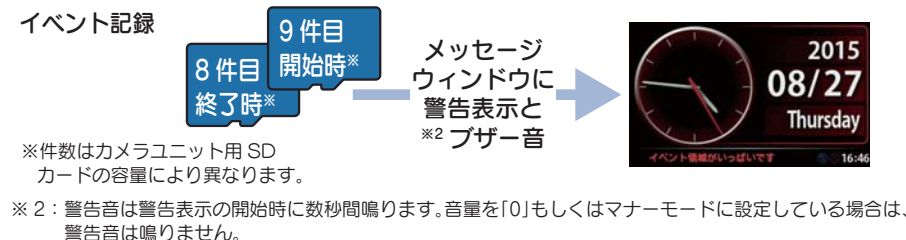
※ イベント記録は、常時録画をコピーした録画ファイルです。



常時録画上書き※1

常時録画は、カメラユニット用 SD カード容量の上限に達すると、保護していない古い常時録画ファイルを上書きし録画を続けます。
イベント記録は、最大記録件数に達した時点で、記録を停止します。

イベント記録



全て上書き(初期値)※1

常時録画とイベント記録がそれぞれ上限に達した場合、各記録方法の保護していない古い録画ファイルを上書きし、録画を続けます。

※ 1 : 保護したファイル (P.165「録画ファイルの保護について」) は、上書きされません。
保護したファイルを削除する場合は、「設定メニュー」→「保護解除」にてファイルの保護を解除してから削除するか、カメラユニット用 SD カードをフォーマットしてください。(P.52「カメラユニット用 SD カードをフォーマットする」)

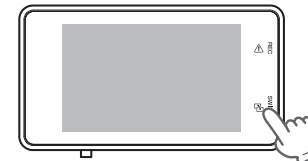
ドライブレコーダー画面について

1. ドライブレコーダー画面切り替え方法

1-1 ディスプレイユニットの キー

にタッチする

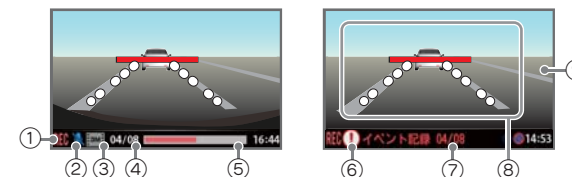
ドライブレコーダー画面と待受画面が切り替わります。



・ GPS ターゲットに近づいたり、取締りレーダー波を感知した場合は、警報画面 (P.74「警報画面」) に切り替わります。

※ 警報画面設定を待受固定にしている場合を除く。

2. ドライブレコーダー画面



No.	表示名	説明
①	録画アイコン	録画中に表示します。
②	音声録音アイコン	音声録音設定の ON / OFF を表示します。
③	解像度アイコン	録画解像度を表示します。
④	イベント記録件数	現在のイベント記録件数 / 最大記録件数を表示します。
⑤	録画可能容量	常時録画の録画可能容量を表示します。 ※ 上書き禁止設定時のみ表示します。
⑥	イベント記録アイコン	イベント記録中に表示します。
⑦	イベント記録件数	イベント記録件数を記録件数 / 最大記録件数で表示します。
⑧	AS 設定ライン	AS ラインを表示します。 ※ 「レーンキープアシスト」と「前方衝突アラート」がどちらも OFF の場合は表示しません。 ※ AS 設定ラインは、録画ファイルには録画されません。
⑨	ファインダー	カメラのファインダーです。

3. AS 作動時画面

AS(Active Safety) が作動すると待ち受け画面（マップ表示）にパネルとメッセージウィンドウにアイコンと AS の種類を表示し、お知らせします。

※ 設定を行わずに使用すると、うまく働かない場合があります。

※ パネル表示は、マップ表示時のみ画面表示されます。

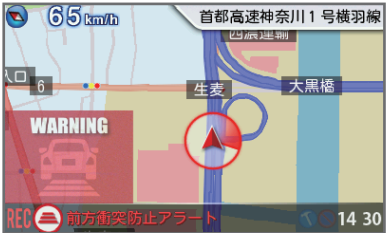
※ AS 機能は録画時（待受画面 OFF 時も含めた録画中と録画停止中）にお知らせを行います。再生モード時、設定メニュー時やマナーモード時は、お知らせを行いません。



<レーンキープアシスト>



<スタートインフォメーション>



<前方衝突防止アラート>

アイコンの種類	説明
 (レーンキープアシスト)	レーンキープアシストが作動したとき表示されます。 (メッセージウィンドウ上のみ)
 (スタートインフォメーション)	スタートインフォメーションが作動したとき表示されます。 (メッセージウィンドウ上のみ)
 (前方衝突防止アラート)	前方衝突アラートが作動したとき表示されます。 (メッセージウィンドウ上のみ)

レーダー探知機用 SD カード・インターネットを活用する

1. 公開取締り情報の表示
2. 各種情報の表示 (P.96)
3. ログ機能 (P.97)
4. 携帯電話などで地図を表示する (P.99)

※ 情報を表示するためには、同梱品のレーダー探知機用 SD カードに各データが保存されてないと表示できません。
または、別売品の無線 LAN 機能付 SD カード (OP-WLSD16) を利用するとデータ (一部有料) を自動更新することができます。

1. 公開取締り情報を表示する

公開取締り情報を画面下にテロップで表示します。

※ あらかじめ、レーダー探知機用 SD カードに公開取締り情報のデータを保存してください。(P.50)

1-1 待受画面にタッチし、ジャンプウィンドウの [設定 TOP] にタッチする

設定画面が表示されます。



1-2 [警報] にタッチする

モード画面が表示されます。



1-3 [▶] に 4 回タッチする

公開取締り情報画面が表示されます。



[OFF]

公開取締り情報を表示しません。公開取締り情報がある時のお知らせ音も鳴りません。

[1 周表示]

公開取締り情報を 1 周のみ表示します。1 周表示が終了した後も、待受画面にタッチしてジャンプウィンドウを表示させ、[MUTE] にタッチで再び 1 周表示します。

[ループ表示]

エリア内であれば、公開取締り情報の表示を継続します。

1-4 [▶]にタッチする

公開取締り情報併記画面が表示されます。



[ON]

公開取締り情報を 2 行で表示します。

[OFF]

公開取締り情報を 1 行で表示します。

2. 各種情報を表示する

弊社ホームページより、オービス&コンテンツデータをダウンロードして SD カードに保存するか、別売品の無線 LAN 機能付 SD カード (OP-WLSD16) を利用すると、レーダー探知機機能が最新の情報に更新されます。

■ オービス・取締り系&コンテンツデータ更新

パソコンでのダウンロード、SD カードをお送りするお届けプラン、本体お預かり更新サービスで本機のオービス・取締り系&コンテンツデータの更新を行っていただけます。

各種更新サービスについての詳細は下記ホームページを参照ください。

<https://ity.yupiteru.co.jp/>

パソコンでのダウンロード、SD カードをお送りするお届けプランをご利用の際には、下記ホームページよりご利用の機種を選択のうえ、お申込み手続きを行ってください。

ity.クラブ/ POWERED BY Yupiteru
<https://ity.yupiteru.co.jp/>

電話でのお問い合わせは下記フリーコールをお願いします。

◆ ユピテル ity.クラブ 窓口

受付時間 9:00~17:00 月曜日~金曜日(祝祭日、年末年始等、当社指定期間を除く)

 0120-958-955

本機お預かり更新サービスをご要望される場合は、お買い上げの販売店、または、お客様ご相談センターにご依頼ください。

■ 別売品の無線 LAN 機能付 SD カード(OP-WLSD16)を利用すると

以下の項目が手動または自動で更新できます。 P.146 を参照ください。

ダウンロード項目	ダウンロード制限	手動	自動
公開取締り情報	制限なし	○	○
オービス / コンテンツデータ	My Yupiteru 有料会員のみ (要機種登録)	○	○
写真データ	My Yupiteru 有料会員のみ (要機種登録)	○	—
リアルタイム配信データ	制限なし	○	○
WLAN 経由の投稿	My Yupiteru 会員	○	—

3. ログ機能[特許出願中]

ログ機能を ON に設定すると、走行データ (約 20.5 時間分) をレーダー探知機用 SD カードに記録します。

記録したデータは、同梱品のレーダー探知機用 SD カードに保存し、パソコンで走行軌跡を確認できます。

パソコンで走行軌跡を確認するには以下の環境や条件が必要になります。

※ 下記以外のパソコン環境や地図ソフト、市販品のデータロガーでの動作確認は行っておりません。

※ 走行軌跡はパソコン上の地図や地形とずれることがあります。

※ 測位状況および走行の状況によりログ記録時間は異なります。

● 下記の条件を満たしたインターネットに接続可能なパソコン。

・ OS

Microsoft Windows 7 (32bit 版 /64bit 版)、Vista (32bit 版 /64bit 版)、XP (32bit 版) ※ 64bit 版は未対応、2000。

・ .NET Framework2.0 以上がインストールされていること。 .NET Framework2.0 以上がインストールされていない場合は、Microsoft 社のホームページよりダウンロードしてください。

- ご用意いただくもの。
 - ・ SD カードリーダー（4GB 対応のもの）
 - ・ Google より Google Earth をダウンロードしてください。
 - ・ 弊社ホームページ（<http://www.yupiteru.co.jp>）をご参照の上、オリジナルログデータ変換ソフト（YP_LogDataConvert.exe）をダウンロードしてください。

1. ログ機能を ON にする

システム設定のログ機能(P.136)を ON にすると走行データが記録されます。

- ・ 非測位時、時速 10km 未満の場合は記録されません。
- ・ ログの残量表示は「設定」→[システム]→[ログ機能]の画面下にパーセント表示されます。
- ・ 記録容量が 100%になった場合は、自動的にログ機能を OFF にし、100%の表示を残します。
- ・ 記録容量が 100%になっている場合は、ログ機能を ON にすることはできません。
- ・ ログ機能 ON 中は常に走行データを記録します。
日時別の保存や管理は行っておりません。
- ・ 記録容量が 100%になり、ログ機能が OFF になっても、データ消去(P.136)を行うまで、100%の表示は残ります。
- ・ 走行記録を消去する場合は、データ消去(P.136)を行ってください。また必要に応じ、事前に走行データをレーダー探知機用 SD カードにコピーしてください。

2. 走行データをレーダー探知機用 SD カードにコピーする

ディスプレイユニットで操作を行ってください。

- ① 待受画面にタッチし、ジャンプウィンドウを表示する。
- ② [設定 TOP] にタッチし、「設定」画面の [システム] にタッチします。
- ③ [▶] にタッチし、「SD 出力」画面にします。
- ④ [ログ] にタッチします。

- ・ レーダー探知機用 SD カードへコピーを行ったあとも、走行データを記憶しています。走行データを消去する場合は、「データ消去」を行ってください。(P.136)

3. パソコンで走行軌跡を確認する

- ① 走行データをコピーしたレーダー探知機用 SD カードをパソコンに接続する。
- ② YP_LogDataConvert.exe(ユピテル ログデータコンバート) を起動する。
パソコン画面上の「開く」ボタンをクリックし、レーダー探知機用 SD カードの走行データ(*.Log)を選択する。
- ③ 「変換」ボタンをクリックし、お好みのファイル名と保存先を指定し、保存する。
- ④ 保存したファイルを開くと、Google Earth の画面上に走行軌跡が表示されます。
※ 走行軌跡はパソコン上の地図や地形と必ずしも一致しません。ずれて表示されることがありますのでご了承ください。

・ 走行軌跡の確認後は、レーダー探知機用 SD カードをディスプレイユニットに装着してご使用ください。(P.20)

- ・ 必要に応じ、レーダー探知機用 SD カード内にコピーした走行データ(*.Log)を削除する場合は、他のデータを削除しないようご注意ください。

4. 携帯電話などで地図を表示する

■ 今すぐ地図表示サービス(無料)

レーダー探知機に表示させた QR コードをバーコードリーダー機能付携帯電話で読み取ると、携帯電話に周辺の地図を表示します。

- ・ 通信料は有料ですので、お客様のご負担となります。
- ・ バーコードリーダー機能付携帯電話で、インターネットを利用できる環境であることが条件となります。
- ・ 一部の携帯電話では、QR コードの読み取りや地図データを表示できない場合があります。

<手順>

- ① 待受画面にタッチし、ジャンプウィンドウを表示させ [MEMORY] にタッチ、[ity.MAP] にタッチし QR コードを表示させます。
- ② バーコードリーダー機能付携帯電話で QR コードを読み取り送信する。



携帯電話に周辺の地図や情報が表示されます。

■ 地図閲覧サービス(無料)

携帯電話やパソコンで専用サイトにアクセスし、緯度・経度や郵便番号、住所を入力すると、周辺の地図を表示します。

- ・ 通信料は有料ですので、お客様のご負担となります。
- ・ インターネットが利用できるパソコンが条件となります。
- ・ 一部の携帯電話では、地図データを表示できない場合があります。

<手順>

- ① 携帯電話専用サイトにアクセスする。
<http://www.yupiteru-itymap.com/>
- ② 待受画面にタッチし、ジャンプウィンドウを表示させ [MEMORY] にタッチ、[ity.MAP] にタッチして緯度 (N) ・ 経度 (E) を表示させる。
- ③ 携帯電話に緯度 (N) ・ 経度 (E) を入力する。



携帯電話に周辺の地図や情報が表示されます。

● PC 専用サイト
<http://www.yupiteru-itymap.com/pc/>

詳しくは、弊社ホームページ「ity. MAP サービス」(<http://www.yupiteru.co.jp/map/itymap.html>)を参照ください。

レーダー探知機
カスタマイズして使う

レーダー探知機
カスタマイズして使う

投稿ピンについて

取締りの情報を投稿ピンで登録できます。携帯電話で、オービスや取締りの新しい情報をお寄せください。

※ 登録数は、最大 4 箇所ピンを登録できます。

1. 投稿ピンを登録する

1-1 登録したい地点で待受画面にタッチし、ジャンプウィンドウの [MEMORY] にタッチする



1-2 [ピン設定] にタッチする

「ピン〇に設定」と画面でお知らせし登録されます。



※ 〇にはピンの番号 (1 ~ 4) が入ります。ピンの数は最大 4 箇所、少ない番号から登録されます。
※ すでに 4 箇所のピンが登録されている場合は「ピン一杯です」と画面表示されて登録できません。

・GPS を受信できなかったとき…

『GPS をサーチ中です』とお知らせします。GPS を測位するとピンが設定されます。

・方位未確定のとき…

下側項目が『方位未確定です』と表示されて、選択できません。GPS を測位して少し走行すると方位が確定し、下側項目が『ピン設定』に変わり選択できます。

2. 登録した投稿ピンを削除する

2-1 待受画面にタッチし、ジャンプウィンドウの [設定 TOP] にタッチする



2-2 設定メニューで、[投稿] にタッチする



2-3 投稿ピンメニューで、消去したいピンにタッチする

「ピン〇を削除しますか？」と表示されます。



2-4 [このピンを削除] にタッチする

「ピン〇を削除しました」と画面でお知らせします。



※ 削除しない場合は [戻る] にタッチします。
※ 〇にはピンの番号 (1 ~ 4) が入ります。

※ すべての投稿ピンを解除 (消去) したい場合…
▶ P.136「データ消去」

マイエリアを登録する

新たなポイントをマイエリアとして登録し、2 回目以降通過時に警告させることができます。[マイエリア]

※ 登録数は、マイエリア、アイキャンセル (P.121)、マイキャンセルエリア (P.104) の合計で 10,000 箇所まで可能です。10,000 箇所を超えて登録しようとしたときは、通過履歴の古いエリアを削除し、新しいエリアを登録します。

1. マイエリアを登録する

1-1 登録したい地点で待受画面にタッチし、ジャンプウィンドウの [MEMORY] にタッチする



1-2 [マイエリア] にタッチする

「マイエリアをセットしました」とお知らせし、登録されます。



・GPS を受信できず、マイエリア登録できなかったとき…
「GPS をサーチ中です」とお知らせしたあとに、「GPS を受信できません」とお知らせします。

・マイエリア登録したエリアに近づくとき…

手前約 1km / 500m と通過時の 3 段階で警告します。

〈手前約 1km(500m)のとき…〉

『右(左)方向 1km(500m)先 マイエリアです』とお知らせします。

・GPS 測位状況や走行ルートによって、距離の告知 (『1km 先』、『500m 先』) を『この先』や『300m 先 / 200m 先 / 100m 先 / すぐ先』とお知らせすることがあります。

2. 登録したマイエリアを解除する

2-1 マイエリア登録されている地点で待受画面にタッチし、ジャンプウィンドウの [MEMORY] にタッチする



2-2 [マイエリア] にタッチする

「マイエリアを解除しました」とお知らせし、解除します。



・すべてのマイエリアを解除 (消去) したい場合…
P.136「データ消去」

・経度・緯度について

緯度・経度を表示させ、ity. MAP サービス (P.139) をご活用いただけます。

※ 必ず、車両を止めてから操作してください。

＜表示方法＞

- ①待受画面にタッチ
- ②[MEMORY]にタッチ
- ③[ity.MAP]にタッチ



- ・ディスプレイユニットに QR コードと緯度 (N) ・経度 (E) を約 1 分間表示します。
- ・表示中は、移動しても緯度・経度は変わりません。
- ・GPS 非測位のときは、緯度・経度は表示できません。
- ・戻るときは、ディスプレイユニットの液晶にタッチしてください。
- ・表示させたまま 1 分間経過すると、自動的に直前の画面に戻ります。

マイキャンセルエリアを登録する

自動ドアなど、取締り機がないエリアでレーダー波の受信警報がよく鳴る地点を登録し、通過時にレーダー波の受信警報をキャンセルします。[マイキャンセルエリア]

※ 登録数は、マイキャンセルエリア、マイエリア (P.102)、アイキャンセル (P.121) の合計で 10,000 箇所まで可能です。10,000 箇所を超えて登録しようとしたときは、通過履歴の古いエリアを削除し、新しいエリアを登録します。

※ マイキャンセルエリアは、レーダー波の受信警報をキャンセルするもので、GPS54 識別 (P.79) や無線 14 バンド識別 (P.84) ・ベストパートナー 6 識別 (P.86) の警報はキャンセルできません。

1. マイキャンセルエリアを登録する

1-1 登録したい地点で待受画面にタッチし、ジャンプウィンドウの [MEMORY] にタッチする



1-2 [キャンセルエリア] にタッチする

「マイキャンセルエリアにセットしました」とお知らせし登録されます。



・マイキャンセルエリアに入ると…

登録したキャンセルエリアのポイントから半径約 200m のエリアに入ると、レーダー波を受信するとレーダー警報音をキャンセルします。

・キャンセルサウンド (P.122) の設定が ON の場合は、『キャンセル中です』とお知らせします。

2. 登録したマイキャンセルエリアを解除する

2-1 マイキャンセル登録されている地点で待受画面にタッチし、ジャンプウィンドウの [MEMORY] にタッチする



2-2 [キャンセルエリア] にタッチする

「マイキャンセルエリアを解除しました」とお知らせし解除されます。



・すべてのマイキャンセルエリアを解除(消去)したい場合…
P.136「データ消去」

プリセット画面の変更

1. 待受一覧画面の配置変更

※ 例としてプリセット A を配置 1 に変更する手順を説明します。

1-1 配置を変更したいプリセット画面を表示する

- ・プリセット画面の表示方法
 - ①待受画面にタッチ→ジャンプウィンドウ表示
 - ②[VIEW]にタッチ→待受一覧画面表示
 - ③表示したいプリセット画面のサムネイルにタッチする

1-2 プリセット画面にタッチし、ジャンプウィンドウを表示する

1-3 [プリセット A 配置選択]にタッチする

配置選択画面が表示されます。



ジャンプウィンドウ

プリセット A 配置選択画面

※ 現在選択中の配置を青色で表示します。

1-4 表示させたい[配置 1]にタッチ後、[EXIT]にタッチする

表示が変更されます。

2. プリセット画面の項目変更

表示したい項目を選択します。

※ 表示できない項目は文字がグレーになり選択できません。



配置 1

配置 2

配置 3

配置 4



配置 5

配置 6

配置 7

※ 配置 7 では、表示したい項目を選択可能な項目から選択します。(選択項目は緑色が点灯)すべて選択、すべて解除も可能です。15 項目以上選択時は、スクロールして表示します。それぞれの項目の表示位置は選択できません。

■ 項目選択手順

※ 例としてプリセット A の配置 1 の変更手順を説明します。

2-1 項目を変更したいプリセット画面を表示する

- ・プリセット画面の表示方法
 - ①待受画面にタッチ→ジャンプウィンドウ表示
 - ②[VIEW]にタッチ→待受一覧画面表示
 - ③表示したいプリセット画面のサムネイルにタッチする

2-2 プリセット画面にタッチし、ジャンプウィンドウを表示する

2-3 [プリセット A 項目選択]にタッチする

項目選択画面が表示されます。



ジャンプウィンドウ

プリセット A 配置 1 項目選択画面

※ 現在選択中の配置を青色で表示します。

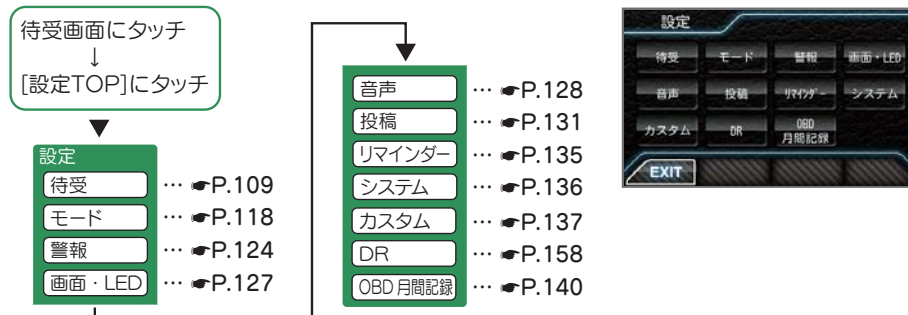
2-4 変更したい項目にタッチする

変更可能なカテゴリが表示されます。



設定

待受画面にタッチし、ジャンプウィンドウを表示させ [設定 TOP] にタッチします。変更したい項目を選択すると各種設定が細かく変更できます。



待受設定

待受 — 警報画面 ★: 初期値

警報画面選択 1/3

- マップ (P.106)
- クラシック (P.109)
- シンプル (設定項目はありません)

待受⇄警報画面切替 2/3

- ※ 警報 / 1000m 接近切替
- ★ 警報 / 500m 接近切替
- 待受固定

ターゲットサーチ範囲 3/3

- ★ 最適範囲
- 広範囲

※ 待受画面が警報画面の場合は、選択できません。
警報画面以外の待受画面の時に選択できます。

1. [警報画面] 設定

■ 警報画面選択 1/3

マップ	全国版の地図が表示され、その上を自車アイコンが移動します。
クラシック	自車とターゲットの位置をシンプルな画面で表示します。
シンプル	最小限の情報と大きな警報パネルで表示します。

■ 待受⇄警報画面切替 2/3

警報 1000 m (500 m) 接近切替	警報音声発生時、またはターゲットが約 1000 m (500 m) まで接近すると、待受け画面が警報画面以外の場合は警報画面に自動的に切り替わります。
待受固定	ターゲットが近づいても設定した待受画面で固定され、メッセージウィンドウによる警告を行います。 ※ 「フォトフレーム」[OFF] ではメッセージウィンドウは常時表示されません。

2-5 表示したいカテゴリにタッチする

変更可能な項目が表示されます。



2-6 表示したい項目にタッチ後、[EXIT]にタッチする

項目が変更されます。



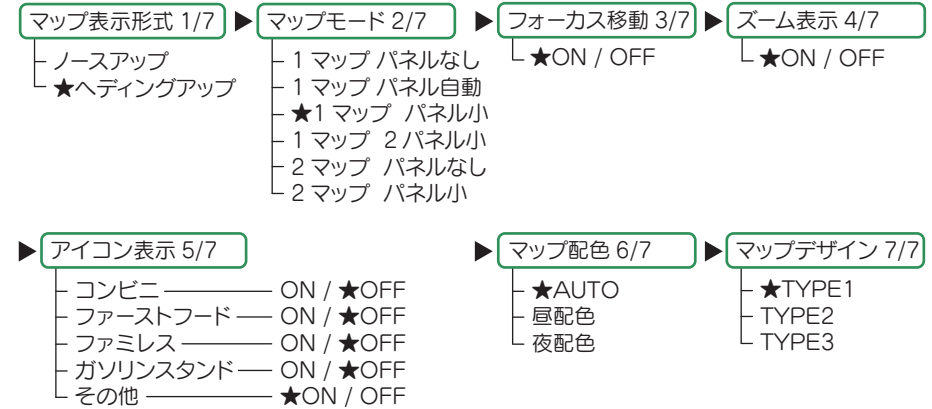
■ ターゲットサーチ範囲 3/3

最適範囲	ターゲットに応じて、最適な距離になってから表示を行います。
広範囲	赤、黄ターゲットに対して広範囲な警告を行います。

2. マップ詳細設定

待受 — 警報画面 — 警報画面選択 1/3 — マップ — マップ詳細設定

★:初期値



■ マップ表示形式 1/7 ※ 2 マップの場合は左側のマップ画面に適用されます。

ノースアップ	常に北が上の状態で地図が表示されます。
ヘディングアップ	常に進行方向が上の状態で地図が表示されます。

■ マップモード 2/7 (P.75)

1 マップ パネルなし	マップ画面のみを表示し、警報パネルを表示しません。
1 マップ パネル自動	画面の左側に警報パネルが表示され、距離によりパネルが大きくなります。
1 マップ パネル小	画面の左側に小さな警報パネルが表示されます。
1 マップ 2 パネル小	画面の左右に小さな警報パネルが表示されます。mini レーダー上のアイコンと警報パネルは線でつながっていて、自車との位置関係がわかるようになっています。
2 マップ パネルなし	画面が 2 画面に分割され、左側に通常の地図、右側に縮尺が小さな地図を表示します。右側の地図画面は、ヘディングアップ固定です。警報パネルは表示しません。
2 マップ パネル小	画面が 2 画面に分割され、左側に通常の地図と小さな警報パネル、右側に縮尺が小さな地図を表示します。右側の地図画面は、ヘディングアップ固定です。

■ フォーカス移動 3/7

ON	GPS ターゲットに近づくと、自動的に地図が移動し、目標ターゲットを表示します。目標ターゲットを表示すると、再び自車位置表示まで自動的に地図が戻ります。
OFF	自車位置は移動せずに、地図の移動とともに、GPS ターゲットが接近します。

■ ズーム表示 4/7

ON / OFF	ON にすると、GPS ターゲットが、自車位置から離れた位置にある場合に、自車位置と GPS ターゲットアイコンが同時に見られる縮尺まで、自動で縮尺を小さくします。GPS ターゲットが近づくに従い、縮尺が大きくなります。
----------	--

■ アイコン表示 5/7

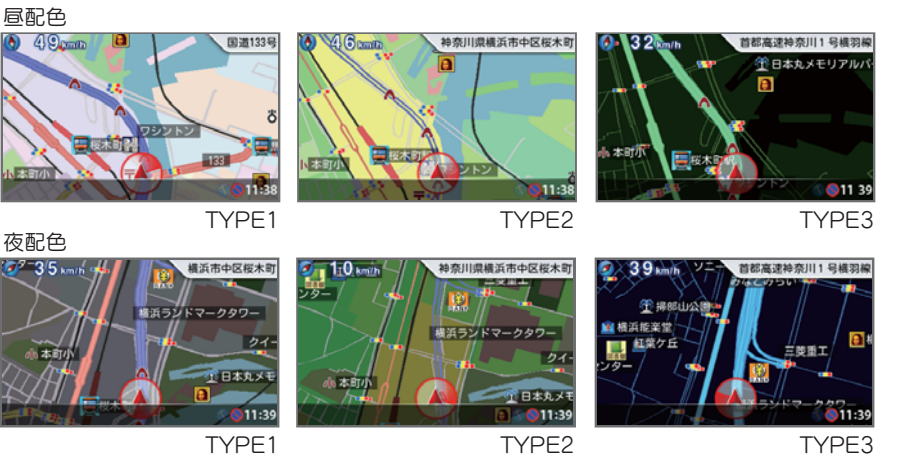
ON / OFF	画面の地図上に表示される「コンビニ」、「ファーストフード」、「ファミレス」、「ガソリンスタンド」、「その他」のアイコンの ON / OFF を設定できます。
----------	--

■ マップ配色 6/7

AUTO / 昼配色 / 夜配色	AUTO を選択すると、日の出～日没は昼配色、日没～日の出と照度センサーで暗いと判断された場合は夜配色になります。それぞれ配色を固定することもできます。
------------------	--

■ マップデザイン 7/7

TYPE1	初期値の画面です。
TYPE2	住所重視の画面です。右上の表示欄には常に住所が表示されます。
TYPE3	道路重視の画面です。主要幹線道路の表示が強調されます。



3. クラシック詳細設定

待受 — 警報画面 — 警報画面選択 1/3 — クラシック — **クラシック詳細設定**

スコープサブ表示 1/5

★: 初期値
※1: OBD-HVTM、OBD12-MIII

・時計 ・速度 ・エコドライブ ・加速度 ・傾斜 ・潮汐情報 ・衛星情報 ・★警報パネル ・コンパス ・気圧 ・リマインダー残日数 ・OFF	OBD II アダプター ・リマインダー残距離 ・瞬間燃費 ・平均燃費 ・一般道平均燃費 ・高速道平均燃費 ・今回燃費 ・生涯燃費 ・移動平均燃費 ・燃料流量 ・エンジン水温 ・吸気温 ・外気温 ・エンジン油温 ・スロットル開度 ・エンジン負荷 ・インマニ圧 ・ブースト圧 ・回転数 ・HV システムパワー※1 ・HV Fr モーターパワー※1 ・HV Rr モーターパワー※1 ・HV Rr トルク配分※1 ・HV バッテリー電圧※1 ・HV バッテリー電流※1 ・HV 捕機バッテリー電圧※1 ・HV 電池容量※1
--	--

▶ スコープサブバックライト 2/5

- OFF
- ★AUTO
- ON

▶ スコープサブバックライト色 3/5

- Aqua Blue
- Yellow Green
- ★Dark Red
- Deep Blue
- Green
- Yellow
- Orange
- Pueple

▶ スコープサブ半透過モード 4/5

- ★ON / OFF

OBD II アダプター

▶ スコープサブ付加情報表示 5/5

- ★ON / OFF

■ スコープサブ表示 1/5

スコープサブ表示を選択するとクラシック画面の左上にサブ表示がひとつ表示されます。表示するサブ表示は「配置 2」で表示される中メーターの項目と同様です。(P.197)

警報パネルを選択して、警報が必要な距離に無い場合はスコープサブ表示は表示されません。また、画面下にも警報情報が表示されます。

■ スコープサブバックライト 2/5、スコープサブバックライト色 3/5

スコープサブ表示の背景色が、フレックスディマーにより夜間と判定された時や、トンネルなどで周囲が暗くなった時(画面・LED の設定でフレックスディマーを「照度センサ + 衛星情報」に設定が必要)、および OBD II アダプターによる接続時に GPS が受信できなかった場合(トンネル内など)にスコープサブ表示の背景色が変わります。また、背景色を 8 種類から選択できます。

■ スコープサブ半透過モード 4/5

スコープサブ半透過モードを ON にすると、スコープサブ表示の背景が半透明になります。

■ スコープサブ付加情報表示 5/5 **OBD II アダプター**

スコープサブ付加情報表示を ON にすると、車両が停車してしばらくすると今回の走行情報を表示します。車両が動き出すと、通常の表示に戻ります。OBD II アダプターで接続すると有効になります。

4. [潮汐情報]設定

待受 — **潮汐情報** — ★: 初期値

- ★オート
 - マニュアル
- (検潮所選択)

■ 検潮所自動選択

検潮所自動選択をオートにすると、GPS 測位によって得られた現在地近辺の情報を表示します。マニュアルにすると、全国の登録された 102 地点から選択できます。

※ 初期値は「オート」です。

全国登録地点 (以下より選択可能)

・稚内	・釜石	・佐渡	・下田	・赤羽根	・串本	・舞鶴	・松山	・三角	・南大東島
・網走	・大船渡	・大洗	・石廊崎	・豊橋港	・白浜	・宇野	・境	・大分	・石垣島
・花咲	・鮎川	・銚子漁港	・内浦	・形原	・御坊	・呉	・西郷	・油津	・与那国島
・釧路	・仙台新港	・勝浦	・清水港	・名古屋	・和歌山	・広島	・浜田	・大泊	
・小樽	・相馬	・布良	・御前崎	・鬼崎	・淡輪	・高松	・徳山	・鹿児島	
・苫小牧西	・小名浜	・千葉	・神津島	・衣浦	・大阪	・小松島	・下関	・枕崎	
・函館	・深浦	・晴海	・三宅島	・師崎	・神戸	・阿波由岐	・博多	・対馬	
・下北	・秋田	・芝浦	・八丈島	・鳥羽	・洲本	・室戸岬	・佐世保	・福江	
・竜飛	・酒田	・横須賀	・父島	・尾鷲	・富山	・高知	・大浦	・種子島	
・八戸	・粟島	・大島(岡田)	・南鳥島	・熊野	・能登	・土佐清水	・長崎	・奄美大島	
・宮古	・新潟西港	・江ノ島	・舞阪	・浦神	・三国	・宇和島	・口之津	・那覇	

5. [グラフ]設定

待受 — **グラフ** — ★: 初期値
※1: OBD-HVTM、OBD12-MIII

グラフの種類 (1/2)

- ★速度
- 高度
- 気圧
- 加速度
- ジャイロ
- マニュアル

< マニュアル設定 >

- ・★加速度前後
- ・加速度左右
- ・加速度上下
- ・ピッチレート
- ・ロールレート
- ・★ヨーレート
- ・★速度
- ・高度
- ・気圧
- ・グラフなし

OBD II アダプター

- ・瞬間燃費
- ・今回燃費
- ・エンジン水温
- ・吸気温
- ・回転数
- ・エンジン負荷
- ・スロットル開度
- ・MAF
- ・INJ
- ・インマニ圧
- ・残燃料
- ・HV システムパワー※1
- ・HV Fr モーターパワー※1
- ・HV エンジンパワー※1

・ 500 ms ・ ★1s ・ 2s ・ 5s ・ 10s

▶ グラフの種類 2/2

- 燃費
- 温度
- 回転数
- エンジン 1
- エンジン 2
- 燃料
- ハイブリットパワー
- ※1

■ **グラフの種類 (1/2)** ※ OBDⅡアダプターで接続すると「1/2」になります。
車両の変化をグラフ表示します。マニュアルに設定すると最大 3 項目を同時に表示できます。

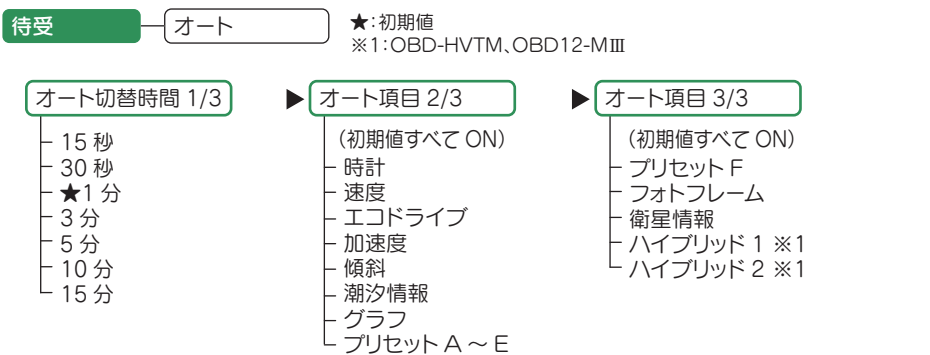
速度	速度の変化を表示します。
高度	高度の変化を表示します。
気圧	気圧の変化を表示します。
加速度	車両の前後、左右、上下方向の加速度変化を表示します。
ジャイロ	「ピッチレート」「ロールレート」「ヨーレート」の変化を表示します。
マニュアル	[マニュアル] にタッチすると、マニュアル設定が有効になります。 最大 3 項目のグラフが表示でき、それぞれのグラフの更新時間を設定できます。

■ **グラフの種類 2/2** **OBDⅡアダプター**
本機を OBDⅡアダプターで接続すると、さまざまなエンジン情報をグラフで表示できます。

燃費	車両の燃費の変化を表示します。
温度	各種温度の変化を表示します。
回転数	エンジン回転数の変化を表示します。
エンジン 1	「エンジン負荷」「スロットル開度」の変化を表示します。
エンジン 2	「MAF」「INJ」「インマニ圧」の変化を表示します。
燃料	「残燃料」「燃料レベル」の変化を表示します。
ハイブリッドパワー	「HV システムパワー」「HVFr モーターパワー」「HV エンジンパワー」の変化を表示します。

※ OBDⅡアダプターで接続しないと表示できません。
※ 車両により、表示できない項目があります。

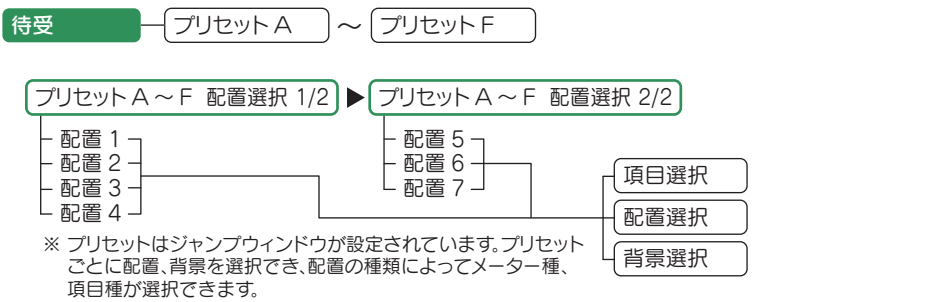
6. [オート]設定



■ **オート切替時間 1/3**
待受設定で「オート」を選択した場合に、待受画面の切り替わる時間を設定できます。

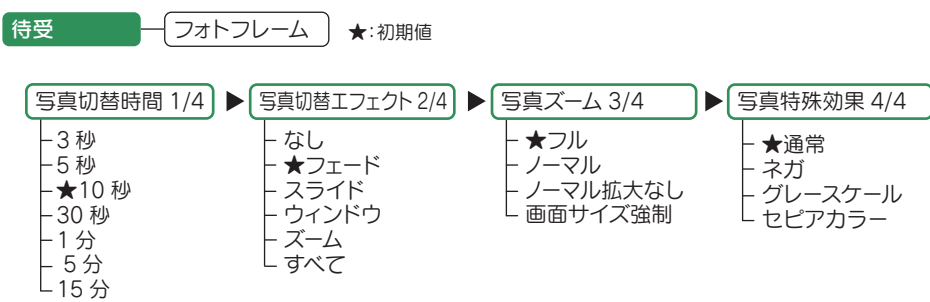
■ **オート項目 2/3 , 3/3**
待受設定で「オート」を選択すると、選択した待受画面を順にスライド表示します。
※ 初期値は、すべて「ON」です。

7. [プリセット]設定



■ **プリセット A ~ F**
プリセット A ~ F に表示する配置をプリセットごとに設定できます。配置を選択し、表示された位置のメーター、項目をダイレクトに選択、変更できます。また、プリセットごとに背景を設定することもできます。
・配置は 7 種類から選択できます。項目は OBDⅡアダプターで接続すると最大 210 項目以上から選択できます。
※ 車両により、表示できない項目は選択できません。
※ 背景画像を設定するには、あらかじめ同梱品のレーダー探知機用 SD カードに写真データを保存する必要があります。写真データの保存方法は、「フォトフレーム」の項目を参照ください。

8. [フォトフレーム]設定



フォトフレームを使用するには、あらかじめディスプレイユニットに装着されているレーダー探知機用 SD カードの所定のフォルダに、パソコンなどで画像データを保存しておく必要があります。(P.117)
画面に 100% で表示される画像サイズは 400 × 240 ピクセルです。
再生される写真の順番は、ほぼレーダー探知機用 SD カードに書き込まれた写真の順になります。写真の削除・追加を繰り返すと再生する順序が入れ替わる場合があります。

■ **写真切替時間 1/4**
レーダー探知機用 SD カードに保持された写真データの表示を切り替える時間を設定できます。
3 秒、5 秒、10 秒、30 秒、1 分、5 分、15 分の中から選択します。初期値は「10 秒」です。

■ 写真切替エフェクト 2/4

写真データの表示を切り替える際の表示方法を選択できます。

なし	現在の写真が瞬時に、次の写真に切り替わります。
フェード	現在の写真が徐々に消えて、次の写真に切り替わります。
スライド	横から次の写真がスライドして、次の写真に切り替わります。
ウィンドウ	現在の写真が画面中央に表示範囲が小さくなって、次の写真に切り替わります。
ズーム	現在の写真がズームアップするとともに徐々に消えて、次の写真に切り替わります。
すべて	「なし」以外のエフェクトを順番に切り替えて写真が切り替わります。

■ 写真ズーム 3/4

写真データを表示する時の表示サイズを選択できます。

フル	写真の縦横比を保ったまま、画面が写真で埋まるように拡大・縮小します。写真の縦横比が画面の縦横比と異なる場合、写真の上下もしくは左右がカットされます。
ノーマル	写真の縦横比を保ったまま、縦もしくは横が画面サイズになるように拡大・縮小します。写真の縦横比が画面の縦横比と異なる場合は、写真をすべて表示し、余白は黒い帯になります。
ノーマル拡大なし	写真データのサイズが画面より小さい場合は、写真の拡大を行わずに、画面に表示し、余白は黒くなります。写真データのサイズが画面より大きい場合は、縦もしくは横が画面サイズになるように縮小します。
画面サイズ強制	写真データの縦横比が画面サイズと異なる場合でも、強制的に画面サイズに拡大・縮小します。そのため、画面の縦横比に合わせて、写真が縦長や横長になります。

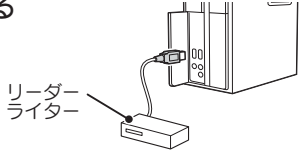
■ 写真特殊効果 4/4

写真データの表示の見え方を変更できます。

通常	写真データをそのまま表示します。
ネガ	ネガボジ反転して表示します。
グレースケール	白黒写真にして表示します。
セピアカラー	セピア色にして表示します。

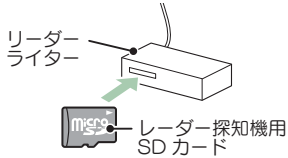
9. 画像データの保存方法

9-1 リーダーライターをパソコンに接続する

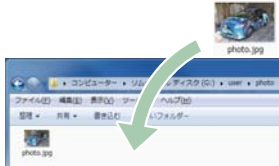


※ 接続方法はリーダーライターの取扱説明書を参照ください。
※ SD カードを直接接続できるパソコンの場合は、リーダーライターを接続する必要はありません。

9-2 レーダー探知機用 SD カードをリーダーライターに挿入する



9-3 レーダー探知機用 SD カードの「user」フォルダの中の「photo」フォルダに画像ファイルを入れる



「photo」以下 4 階層までフォルダ対応可能。

- ・ 画像データ対応形式（拡張子）：JPEG（.jpg）
- ・ 最大画像サイズ：幅または高さ 8,000 ピクセル
- ・ 最大保存ファイル数：最大 100 ファイル（レーダー探知機用 SD カードの容量を超えない範囲）
- ・ 最大ファイル容量：約 3MB（1 ファイル）

※ ディスプレイユニットに同梱品（装着）のレーダー探知機用 SD カードにはレーダー探知機の機能に必要なデータが入っています。
ファイルの保存時などに、誤ってレーダー探知機用 SD カード内のデータを消去しないようにご注意ください。

モード設定

オールオンモードは、すべての機能を使って警報や各種画面を表示させることができます。この章では特定の機能を OFF にし、機能のカスタマイズを行う手順をご説明します。カスタマイズを行うためのプリセットが 4 種類(「ノーマルモード」、「ミニмумモード」、「スペシャルモード」、「オールオンモード」)と、お好みによりすべての機能を個別に設定できる「マニュアルモード」があります。初期値は「ノーマルモード」です。

- ノーマルモード

機能同士のバランスを重視したモードです。
- ミニмумモード

レーダー、無線、GPS すべてにおいて、最低限の項目だけを ON に設定します。
- スペシャルモード

取締りに関する項目を重視した内容に設定されています。
- オールオンモード

すべての機能を ON に設定します。
- マニュアルモード

すべての機能を個別に ON / OFF が設定できます。

※ 各モードの項目設定は、📖 P.119 を参照ください。

1. モードの変更方法

1-1 モード画面を表示する



1-2 選択したいモードにタッチし、[EXIT]にタッチする

選択したモードに変更されます。



※ 選択したモードは、青色になります。

■ レーダーの設定

	画面表示	ノーマル モード	ミニマム モード	スペシャル モード	オールオン モード	マニュアル モード	詳細説明 ページ
		以下の内容で設定されており変更はできません。					
i キャンセル		ON	ON	OFF	ON	ON	121
キャンセルサウンド		OFF	OFF	OFF	ON	OFF	122
反対キャンセル		ON	ON	OFF	ON	ON	122

■ GPS の設定

	アイコン	ノーマル モード	ミニマム モード	スペシャル モード	オールオン モード	マニュアル モード	詳細説明 ページ
		以下の内容で設定されており変更はできません。					
オービス		ON	ON	ON	ON	ON	79
直前速度告知		ON	ON	ON	ON	ON	79
制限速度告知		ON	ON	OFF	ON	ON	79
カメラ位置告知		ON	ON	ON	ON	ON	79
通過告知		ON	ON	ON	ON	ON	79
制限速度切替告知		ON	ON	ON	ON	ON	79
速度超過告知		ON	ON	ON	ON	ON	79
取締エリア		レベル 3 以上	OFF	全て	全て	レベル 3 以上	80
検問エリア		レベル 3 以上	OFF	全て	全て	レベル 3 以上	80
交差点監視ポイント		OFF	OFF	ON	ON	OFF	80
信号無視抑止システム		OFF	OFF	ON	ON	OFF	80
高速交通警察隊		ON	OFF	ON	ON	ON	80
駐禁監視エリア※		ON	OFF	ON	ON	ON	81
一時停止注意ポイント		OFF	OFF	OFF	ON	OFF	81
N システム		OFF	OFF	ON	ON	ON	81
交通監視システム		OFF	OFF	ON	ON	ON	81
警察署		OFF	OFF	ON	ON	OFF	81
交番		OFF	OFF	OFF	ON	OFF	81
事故多発エリア		OFF	OFF	ON	ON	OFF	82
車上狙い多発エリア		OFF	OFF	ON	ON	OFF	82
踏切		OFF	OFF	OFF	ON	OFF	82
急（連続）カーブ※		OFF	OFF	ON	ON	OFF	82
分岐合流ポイント※		OFF	OFF	ON	ON	OFF	82
ETC レーン※		OFF	OFF	OFF	ON	OFF	82

※ 「マップ」画面上に表示されません。

レーダー探知機
カスタマイズして使う

	アイコン	ノーマル モード	ミニマム モード	スペシャル モード	オールオン モード	マニュアル モード	詳細説明 ページ
		以下の内容で設定されており変更はできません。					
SA(サービスエリア)		OFF	OFF	OFF	ON	OFF	82
PA(パーキングエリア)		OFF	OFF	OFF	ON	OFF	82
ハイウェイオアシス		OFF	OFF	OFF	ON	OFF	82
スマートIC	  	OFF	OFF	OFF	ON	OFF	82
ガスステーション	 	OFF	OFF	OFF	ON	OFF	82
トンネル		OFF	OFF	OFF	ON	OFF	82
ハイウェイラジオ		OFF	OFF	OFF	ON	OFF	82
県境※		OFF	OFF	OFF	ON	OFF	82
道の駅		OFF	OFF	OFF	ON	OFF	82
ビューポイントパーキング		OFF	OFF	OFF	ON	OFF	82
駐車場		OFF	OFF	OFF	ON	OFF	82
消防署		OFF	OFF	OFF	ON	OFF	82
公衆トイレ		OFF	OFF	OFF	ON	OFF	82
ゾーン 30 ※		ON	OFF	OFF	ON	ON	81
ラウンドアバウト		OFF	OFF	ON	ON	ON	81

※「マップ」画面上に表示されません。

■ 無線の設定

	画像表示	ノーマル モード	ミニマム モード	スペシャル モード	オールオン モード	マニュアル モード	詳細説明 ページ
		以下の内容で設定されており変更はできません。					
受信感度		LO	LO	HI	HI	LO	-
カーロケ無線	 カーロケ近接	ON	ON	ON	ON	ON	84
取締無線	 取締無線	ON	ON	ON	ON	ON	84
デジタル無線	 デジタル無線	ON	OFF	ON	ON	ON	84
取締特小無線	 特小無線	OFF	OFF	ON	ON	OFF	85
警活系無線	 署活系無線	OFF	OFF	ON	ON	OFF	85
警察電話	 警察電話	OFF	OFF	ON	ON	OFF	85
警察活動無線	 警察活動無線	OFF	OFF	ON	ON	OFF	85
レッカー無線	 レッカー無線	OFF	OFF	ON	ON	OFF	85
ヘリテレ無線	 ヘリテレ無線	OFF	OFF	OFF	ON	OFF	85
消防ヘリテレ無線	 消防ヘリテレ無線	OFF	OFF	OFF	ON	OFF	85
消防無線	 消防無線	OFF	OFF	OFF	ON	OFF	85
新救急無線	 新救急無線	OFF	OFF	OFF	ON	OFF	85
JH(高速道路) 無線	 高速道路無線	OFF	OFF	OFF	ON	OFF	85
警備無線	 警備無線	OFF	OFF	OFF	ON	OFF	85

2. マニュアルモードでのレーダー設定

設定メニューにそって、レーダーの各種設定変更ができます。

・「お好みモード選択機能の設定」でマニュアルモードを選択した場合に設定内容が適応されます。

モード — マニュアル ▶ レーダー



※マニュアルにタッチすると「モード 1/2」になります。

★：初期値

レーダー設定

- Iキャンセル ★ON / OFF
- キャンセルサウンド ON / ★OFF
- 反対キャンセル ★ON / OFF

■ アイキャンセル(iキャンセル) [特許 第 3902553 号、第 4163158 号]

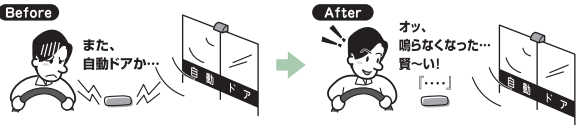
自動ドアなどで誤警報する場所を通過した際、GPS の位置情報を自動で登録し、2 回目以降通過時に電波を受信した場合、レーダー警報をキャンセルします。

※ 登録数は、アイキャンセル、マイエリア (P.102)、マイキャンセルエリア (P.104) の合計で 10,000 箇所まで可能です。

※ 10,000 箇所を超えて登録しようとしたときは、通過履歴の古いエリアを削除し、新しいエリアを登録します。

■ アイキャンセルのしくみ

- ① 取締りレーダー波と同じ電波を受信すると警報。[1 回目]
- ② 取締りレーダー波かどうかを識別。
- ③ 誤警報と思われる場合、「誤警報エリア」として自動登録。
- ④ 同じ地点で電波を受信しても警報をキャンセル。[2 回目]



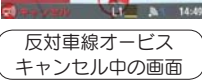
- ・ GPS 測位していないときや誤警報エリアの状況によっては、誤警報がキャンセルされない場合があります。
- ・ キャンセルされないエリアでは、マイキャンセルを合わせてご利用ください。
- ・ 「アイキャンセル」を「OFF」に設定すると、アイキャンセル機能を停止させることができます。
- ・ 自動登録したエリアは、「アイキャンセル」の設定や電源を OFF にしても記憶されています。
- ・ 登録されたエリアをすべて消去したい場合は、「データ消去」 (P.136) をご覧ください。

■ キャンセルサウンド（アイキャンセルサウンド）

アイキャンセル中、マイキャンセル中に、『キャンセル中です』と 10 秒に 1 回音声を発する機能です。

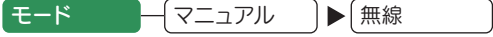
■ 反対キャンセル（反対車線オービスキャンセル機能）

GPS データに登録されている新 H システムとレーダー式オービスポイントの反対車線で、レーダー波の受信警報をキャンセルする機能です。



3. マニュアルモードでの無線設定

設定メニューにそって、無線の各種設定変更ができます。
・「お好みモード選択機能の設定でマニュアルモードを選択した場合に設定内容が適応されます。



※マニュアルにタッチすると「モード 1/2」になります。

★: 初期値

無線設定 1/2		
受信感度	HI / ★LO	
カーロケ	★ON / OFF	
取締	★ON / OFF	
デジタル	★ON / OFF	
特小	ON / ★OFF	
署活系	ON / ★OFF	
警察電話	ON / ★OFF	
警察活動	ON / ★OFF	

無線設定 2/2		
レッカー	ON / ★OFF	
ヘリテレ	ON / ★OFF	
消防ヘリテレ	ON / ★OFF	
消防	ON / ★OFF	
新救急	ON / ★OFF	
高速道路	ON / ★OFF	
警備	ON / ★OFF	

☛ P.84「無線 14 バンド受信機能」

4. マニュアルモードでの GPS 設定

設定メニューにそって、GPS の各種設定変更ができます。
・「お好みモード選択機能の設定でマニュアルモードを選択した場合に設定内容が適応されます。



※マニュアルにタッチすると「モード 1/2」になります。

★: 初期値

GPS 設定 1/5		
オービス	★ON / OFF	
直前速度告知	★ON / OFF	
カメラ位置告知	★ON / OFF	
通過告知	★ON / OFF	
制限速度告知	★ON / OFF	
速度超過告知	★ON / OFF	
取締エリア(ALL / LVL2 ~ 5 以上 / OFF)	★LVL3 以上	
検問エリア(ALL / LVL2 ~ 5 以上 / OFF)	★LVL3 以上	

GPS 設定 2/5		
制限速度切替告知	★ON / OFF	
交差点監視ポイント	ON / ★OFF	
信号無視抑止	ON / ★OFF	
高速交通警察隊	★ON / OFF	
駐禁監視エリア	★ON / OFF	
一時停止注意	ON / ★OFF	
N システム	★ON / OFF	
交通監視システム	★ON / OFF	

GPS 設定 3/5		
警察署	ON / ★OFF	
交番	ON / ★OFF	
事故多発エリア	ON / ★OFF	
車上狙いエリア	ON / ★OFF	
急カーブ	ON / ★OFF	
分岐合流ポイント	ON / ★OFF	
踏切	ON / ★OFF	
ETC レーン	ON / ★OFF	

GPS 設定 4/5		
SA(サービスエリア)	ON / ★OFF	
PA(パーキングエリア)	ON / ★OFF	
ハイウェイオアシス	ON / ★OFF	
スマート IC	ON / ★OFF	
ガソリンスタンド	ON / ★OFF	
トンネル	ON / ★OFF	
ハイウェイラジオ	ON / ★OFF	
県境	ON / ★OFF	

GPS 設定 5/5		
道の駅	ON / ★OFF	
ビューポイントパーキング	ON / ★OFF	
駐車場	ON / ★OFF	
消防署	ON / ★OFF	
公衆トイレ	ON / ★OFF	
ゾーン 30	★ON / OFF	
ラウンドアバウト	★ON / OFF	

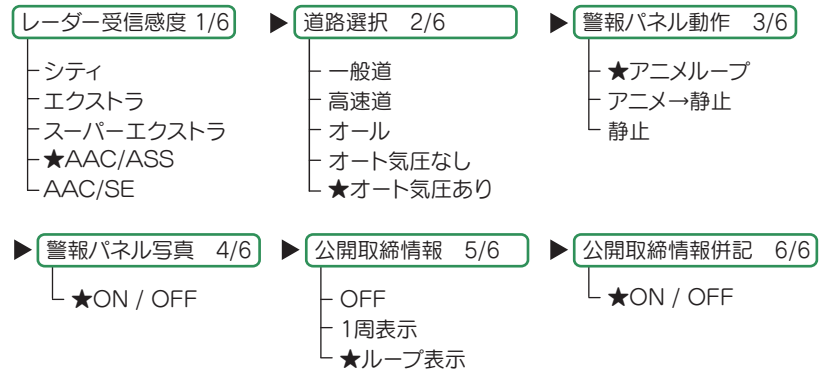
☛ P.79「警報ボイスについて」

レーダー探知機
カスタマイズして使う

警報設定

設定メニューにそって、警報設定の各種設定変更ができます。

警報 ★: 初期値



■ レーダー受信感度 1/6

レーダー受信感度を選択できます。
・受信感度が高いほど速くの電波を受信できますが、取締りレーダー波と同じ他の電波も受信してしまいます。走行環境や条件に合わせて受信感度をお選びください。
「シティ」・「エクストラ」・「スーパーエクストラ」

受信感度		走行環境や条件
高い ↑ 低い	スーパーエクストラ	高速道路
	エクストラ	郊外や高速道路
	シティ	市街地

「AAC/ASS」

GPS 測位機能（別売品の OBDⅡ アダプター（ P.18）により AAC（不要警報カット）や ASS（最適感度選択）がはたります。

AAC(不要警報カット)	走行速度が時速 30km 未満はレーダー波の受信警報をカットします。停車中や低速走行中に自動ドアなどの電波を受信しても誤警報することはありません。
ASS(最適感度選択)	走行速度に合わせて最適な受信感度を自動的に選択します。

「AAC/ASS の動作」

- ・電源 ON 後、GPS 測位するまでの間はスーパーエクストラになります。
- ・走行中に GPS 測位ができなくなると、常に「警報する」状態になり、時間経過でスーパーエクストラに変化します。（本機が別売品の OBDⅡ アダプター（ P.18）で接続されている場合を除く。）

走行速度	受信感度	警報状態
0km ～ 29km		警報しない
30km ～ 39km	シティ	警報する
40km ～ 79km	エクストラ	
80km ～	スーパーエクストラ	

「AAC/SE」

- ・走行速度が時速 30km 未満はレーダー波の受信警報をカット（AAC）し、時速 30km 以上は受信感度がスーパーエクストラに固定されます。

「AAC/SE の動作」

- ・GPS 測位できない状態では、走行速度に関係なくスーパーエクストラに固定されます。（本機が別売品の OBDⅡ アダプター（ P.18）で接続されている場合を除く。）

走行速度	受信感度	警報状態
0km ～ 29km		警報しない
30km ～	スーパーエクストラ	警報する

■ 道路選択 2/6

GPS 警報する道路を「一般道」「高速道」「オール」「オート気圧なし」「オート気圧あり」から選択できます。
・GPS54 識別警報のハイウェイオアシスは「一般道」に設定された場合も GPS 告知されます。

一般道	一般道のターゲットのみ警報します。
高速道	高速道のターゲットのみ警報します。
オール	一般道および高速道のすべてのターゲットを警報します。
オート気圧なし オート気圧あり	走行道路（一般道か高速道）を GPS の位置情報と気圧の変化で自動的に識別します。 一般道と識別できたときは一般道のターゲットのみ警報し、高速道と識別できたときは高速道のターゲットのみ警報します。 ・一般道と高速道が並行していたり交差している場所およびその周辺などで走行道路の識別が困難な状況では、一般道／高速道の両方のターゲットを表示・警報することがあります。 ・GPS 測位が困難な状況では、正しく識別できないことがあります。 ・高速道を走行している時間が短い場合は、高速道に識別されないことがあります。 ・渋滞等により高速道で低速走行もしくは停車している場合は、高速道に識別されません。

レーダー探知機
カスタマイズして使う

レーダー探知機
カスタマイズして使う

■ 警報パネル動作 3/6

警報時に表示される警報パネルの動作を設定できます。

アニメループ	警報パネルのアニメーションを警報終了まで繰り返します。
アニメ→静止	警報パネルのアニメーションを行った後は、警報パネルの静止画を表示します。
静止	警報パネルのアニメーションを行わず、警報パネルの静止画を表示します。

■ 警報パネル写真 4/6

警報時に表示される警報パネルを表示した後に、「実写警報 REAL PHOTO」の表示を行うかの設定ができます。「ON」に設定すると、警報パネルを表示した後に実写警報パネルに切り替わります。「OFF」に設定すると、警報パネルを警報終了まで表示し、実写警報パネルに切り替わりません。

■ 公開取締情報 5/6

公開取締り情報の表示方法を設定できます。レーダー・無線警報があるときは、警報が優先されます。[ループ表示]に設定時は、1周目はGPS警報よりも優先して表示します。2周目以降はGPS警報が優先されますが、ジャンプウィンドウの[MUTE]にタッチするとGPS警報と公開取締り情報の優先度が切り替わります。

OFF	情報表示エリアでも公開取締り情報を表示しません。音によるお知らせも行いません。
1周表示	情報表示エリアであれば公開取締り情報を1周表示します。
ループ表示	エリア内であれば、公開取締り情報を表示し続けます。

■ 公開取締情報併記 6/6

警報と公開取締り情報を併記できます。

ON	警報と公開取締り情報を2行で表示します。
OFF	警報と公開取締り情報を1行で表示します。



ON



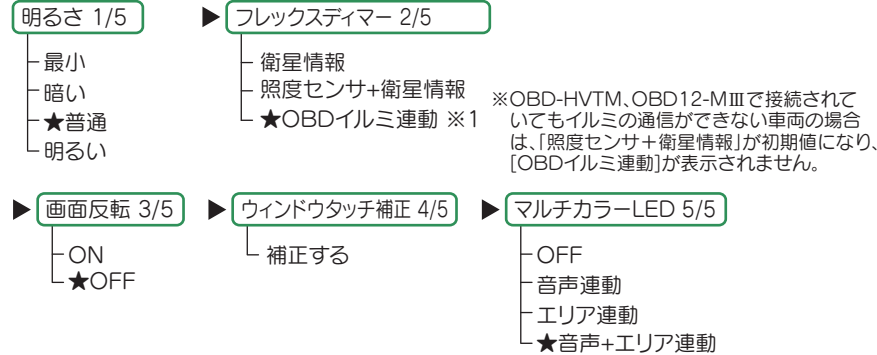
OFF

画面・LED 設定

設定メニューにそって、画面・LEDの各種設定変更ができます。

画面・LED

★:初期値
※1:OBD-HVTM、OBD12-MⅢ



■ 明るさ 1/5

画面表示の明るさを「最小」「暗い」「普通」「明るい」の4段階で切り替えることができます。

■ フレックスディマー 2/5

画面明るさの「昼照度」「夜照度」を切り替えるために衛星による時間・位置で切り替えるか、周囲の明るさ[照度センサ]と衛星による時間・位置で切り替えるかを選択します。初めてOBDⅡアダプター(OBD-HVTM、OBD12-MⅢ)で接続し、本機を取り付けた場合などに[OBDイルミ連動]が表示されませんが、イルミ信号を受信すると表示されます。

※ 取付位置によっては、設定を「照度センサ+衛星情報」にした場合にフレックスディマーが常時作動することがあります。その場合は、取付位置を変更するか、設定を「衛星情報」にしてご使用ください。

■ 画面反転 3/5

「ON」に設定すると、画面表示の上下を反転できます。

■ ウィンドウタッチ補正 4/5

画面にタッチしたときの反応が悪い場合やズレがある場合、次の手順でタッチパネルを補正してください。

1. [補正する]にタッチすると「ウィンドウタッチ補正」の画面が表示されます。画面に表示される[+]に爪先などでタッチしてください。
2. [+]位置が移動して表示されますので、それぞれの[+]位置にタッチしてください。
3. 補正が完了すると「ウィンドウタッチ補正終了」が表示され、[OK]にタッチすると設定画面に戻ります。

レーダー探知機
カスタマイズして使う

■ マルチカラー LED 5/5

警報の種類により LED の色、明るさで警報をお知らせします。

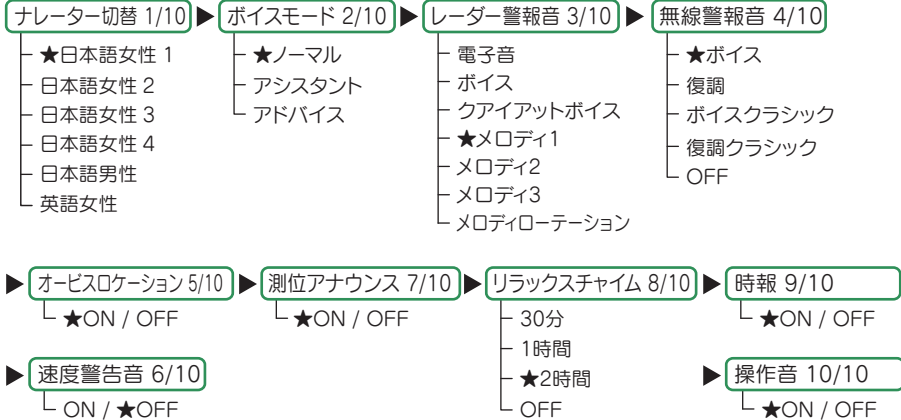
OFF	警報時に一切点灯しません。
音声連動	警報の種類によって決まった色の LED が点灯し、音の大きさに応じて明るさが変化します。
エリア連動	警報するターゲットからの距離、状況によって、各警報色の LED を点灯します。優先度の高い警告が優先されます。ターゲットとの距離により点滅し、接近するにつれて点滅が速くなります。
音声 + エリア連動	音声連動の光り方が優先され、音声連動の警告条件が成立しない場合は、エリア連動で光ります。音声連動、エリア連動両方の警告条件が成立しなかった場合は点灯しません。

音声設定

設定メニューにそって、音声の各種設定変更ができます。

音量

★: 初期値



■ ナレーター切替 1/10

警告時やお知らせ時の口調を 6 種類から選べます。お好みに応じて選択してください。

日本語女性 1 ~ 4	お好みに応じて選択してください。
日本語男性	
英語女性	

■ ボイスモード 2/10

ボイスモードを切り替えると本機のお知らせ内容を切り替えることができます。

ノーマル	従来のレーダー探知機と同様の警報を行います。
アシスタント	ノーマルに加え、「あいさつ」「ベストパートナー+ (プラス)」「日没告知」「リマインダー告知」「オービスカウントダウン (残り距離 400 m から)」を追加します。
アドバイス	アシスタントに加え、「オービスカウントダウン (残り距離 900m から)」「その他」を追加します。

※追加ボイスについて

あいさつ	電源を ON にし、GPS を測位したときに、時間や日付によりあいさつします。
ベストパートナー+ (プラス)	従来の電波受信での警報に加え、レーダー波・無線・GPS の複合で判断します。
日没告知	GPS によって計算された日没時間になるとお知らせします。
リマインダー告知	リマインダーを設定し、設定に到達したときに、画面とともに音声でもお知らせします。
オービスカウントダウン	オービスに接近したときに、100m ごとに残り距離をお知らせします。カウントダウン中に他の警報が発生した場合は、警報が優先されカウントダウンはスキップされます。
その他	安全やエコに関するお知らせをします。「照度低下告知 (周辺が暗くなったとき)」「エコドライブ告知 (エコドライブのポイントが満点になったときや減点になったとき)」

■ レーダー警報音 3/10

レーダー波受信時の警報音を選択できます。

選択項目	警報のしかた
電子音	『ピッピッピッ...』という電子音で警報します。
ボイス	♪効果音のあとに、『スピード注意』とボイスで警報します。
クワイアットボイス	♪効果音のあとに、『レーダーです』と約 10 秒に 1 回ボイスで警報します。
メロディ 1	オリジナルメロディ パターン 1 (メロディ 1) で警報します。
メロディ 2	オリジナルメロディ パターン 2 (メロディ 2) で警報します。
メロディ 3	オリジナルメロディ パターン 3 (メロディ 3) で警報します。
メロディローテーション	レーダー波を受信することにより、3 曲のメロディアラム (メロディ 1 → メロディ 2 → メロディ 3 の順) で警報します。

■ 無線警報音 4/10

各種無線の警報を「ボイス警報」「復調」「ボイスクラシック」「復調クラシック」「OFF」の中から選択できます。

※「OFF」に設定すると、すべての無線警報を行いませんのでご注意ください。

設 定	説 明
ボイス	・各無線を受信すると、ボイスが1フレーズ鳴ります。 ・30秒以内に同じ無線を受信した場合は、ボイスのお知らせはありません。 ・ボイスが鳴っているときに、取締りレーダー波を受信した場合、レーダー警報が優先されます。
復調	・各無線を受信すると、受信した音声を聞くことができ、受信終了後に無線ジャンルをボイスでお知らせします。 ・30秒以内に同じ無線ジャンルを受信した場合は、ボイスによるお知らせを行わず、受信した音声のみ聞こえます。 ・デジタル方式やデジタル信号での通信は、受信しても内容はわかりません。 ・各無線交信は、数秒間で終わることが多いため、交信内容を完全に聞き取ることができない場合もあります。 ・各無線を音声受信している場合に、取締りレーダー波を受信すると、両方の音が重なって聞こえます。 ・カーロケ無線 (P.84) とベストパートナー6識別 (P.86) は、復調を行わず、ボイスによるお知らせのみとなります。
ボイスクラシック	・各無線を受信すると、電子音とボイスが1フレーズ鳴ります。無線の種類によって電子音の種類が違います。 ・30秒以内に同じ無線を受信した場合は、ボイスのお知らせはありません。 ・ボイスが鳴っているときに、取締りレーダー波を受信した場合、レーダー警報が優先されます。
復調クラシック	・各無線を受信すると、受信した音声を聞くことができ、受信終了後に無線ジャンルを電子音とボイスでお知らせします。 ・30秒以内に同じ無線ジャンルを受信した場合は、ボイスによるお知らせを行わず、受信した音声のみ聞こえます。 ・デジタル方式やデジタル信号での通信は、受信しても内容はわかりません。 ・各無線交信は、数秒間で終わることが多いため、交信内容を完全に聞き取ることができない場合もあります。 ・各無線を音声受信している場合に、取締りレーダー波を受信すると、両方の音が重なって聞こえます。 ・カーロケ無線 (P.84) とベストパートナー6識別 (P.86) は、復調を行わず、旧式電子音とボイスによるお知らせのみとなります。

■ オービスロケーション 5/10

オービスの手前 500 mで目標物(交差点・バス停・陸橋・高速のキロポストなど)と、オービスの種類などのアナウンスをより安全でわかりやすく行います。

■ 速度警告音 6/10

時速 110km/h を超えると電子音で速度オーバーを警告します。GPS が非測位の時は警告できません。

OBDⅡアダプターで接続した場合は GPS が非測位の時でも警告を行います

■ 測位アナウンス 7/10

「測位アナウンス」の ON/OFF が選択できます。ビルの谷間など衛星の電波の受信状態が良くない場合、『衛星を受信できません』『衛星を受信しました』と測位アナウンスをくり返すことがあります。電源を ON にしてから、しばらく衛星を受信できない場合『衛星をサーチ中です』とお知らせします。

■ リラックスチャイム 8/10

安全運転をしていただくために、休憩を促す機能です。電源 ON 後、設定時間が経過するたびに『長時間運転しています、休憩しませんか?』とお知らせします。

■ 時報 9/10

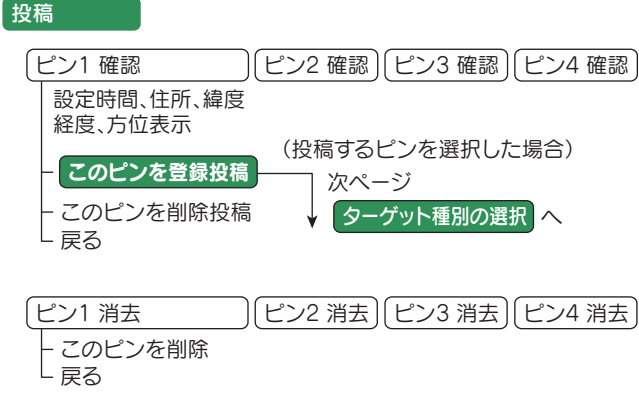
「ON」に設定すると、毎時、正時に時刻をお知らせします。「午前(午後)〇〇時です」。

■ 操作音 10/10

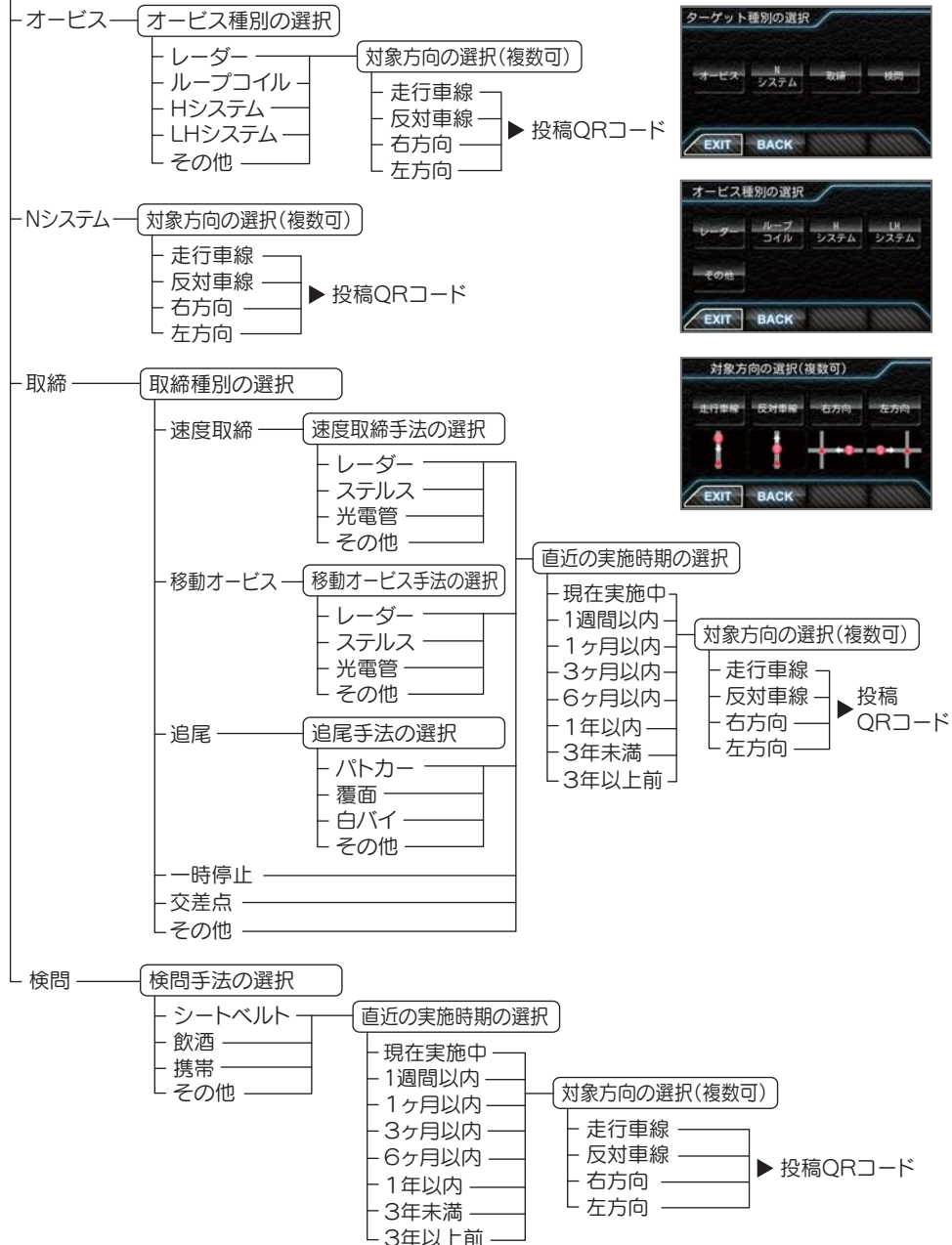
「ON」に設定すると、操作時の確認音が出ます。

投稿設定

投稿ピンメニューにそって、投稿のための QR コードを表示できます。
設定→投稿ピンメニューから投稿するピンを選択します。最大 4 箇所のピンが登録でき、それぞれ個別にピンを削除できます。登録されたピンの項目が有効になります。



ターゲット種別の選択



1. 設定項目の説明

■ 投稿ピンメニュー

登録されているピンの項目が有効になっているので、投稿するピンの項目にタッチします。
設定された日時、住所、緯度経度、方位が表示されます。
「このピンを登録投稿」にタッチすると、投稿情報の編集画面に移動します。
「このピンを削除投稿」は、以前取締り機があったが撤去された場合などに使用します。

■ ターゲット種別の選択

投稿するターゲットの種類を選び、項目にタッチします。

オービス	道路脇や道路上にカメラが固定・設置されている自動速度違反取締り装置。
Nシステム	道路上に設置されている「自動車ナンバー自動読取装置」を指します。
取締	人が道路脇などに測定装置を設置して行う取締りや、車両に測定装置を積載しての取締り、車両による追走、現場で人による一時停止違反や交差点での信号無視などの取締り。
検問	すべての通行車両を停止させての検問や、特定の車両を停止させる検問など。

■ オービス種別の選択

オービスの種類を選択します。

レーダー	車両に向けてレーダー波を発射し、その反射波の周波数変化で速度を算出します。アンテナユニットでレーダー波を受信すると、「レーダー」と表示されます。
ループコイル	道路の中にループコイルが埋められていてその上を車両が通過する時間から速度を測定します。
Hシステム	車両に向けてレーダー波を発射し、その反射波の周波数変化で速度を算出します。レーダー波を発信する四角いアンテナが車線上に設置されています。
LHシステム	道路の中にループコイルが埋められていてその上を車両が通過する時間から速度を測定します。測定装置付近にパトランプが設置されています。
その他	上記に当てはまらない、またはよく分からない場合

■ 対象方向の選択(複数可)

投稿するターゲットがどの方向に設置されていたかを選択します。

走行車線	自車の進行方向に向かって設置されています。
反対車線	自車の進行方向と反対方向(反対車線)に設置されています。
右方向	自車に対して右方向の道路に設置されています。
左方向	自車に対して左方向の道路に設置されています。

■ 取締り種別の選択

取締りの種類を選択します。

速度取締	歩道や道路脇などに測定装置を設置し、走行する車両に向けてレーダー波を発射し速度を測定する取締り。道路脇にパトカーを停車し、測定する場合もあります。
移動オービス	ワンボックス車などの車両に設置された測定装置により写真を撮影する取締り。
追尾	車両により、走行中の自車を追尾しての取締り。
一時停止	一時停止違反の取締り。
交差点	信号無視などの取締り。
その他	上記に当てはまらない場合。

＜速度取締り、移動オービス手法の選択＞

レーダー	レーダー波を用いた取締り。
ステルス	計測する瞬間だけ電波を発射する取締り。
光電管	道路の一定間隔に測定装置を設置し、通過時間により速度を算出する取締り。
その他	上記以外の手法による取締り。

＜追尾手法の選択＞

追尾が行われた手法を「パトカー」「覆面(パトカー)」「白バイ」「その他」から選択します。

■ 直近の実施時期の選択

取締りが行われていた時期を選択します。「現在実施中」「1週間以内」「1ヶ月以内」「3ヶ月以内」「6ヶ月以内」「1年以内」「3年未満」「3年以上前」から選択します。

■ 検問手法の選択

検問の種類を選択します。

シートベルト	シートベルト検問。
飲酒	飲酒運転検問。
携帯	携帯電話検問。
その他	上記以外の検問。

■ 投稿 QR コード

QRコードの読み取り以外に、WLAN 経由での投稿もできます。あらかじめ、接続先設定と My Yupiteru ID、パスワードの設定が必要です。WLAN 接続が確立していれば、[WLAN 投稿]を選択するとサーバーへ接続し、投稿を行い、以下が表示されます。



成功：「投稿完了 投稿ありがとうございました」
My Yupiteru にログインできないとき：「ID 又はパスワードが違います」

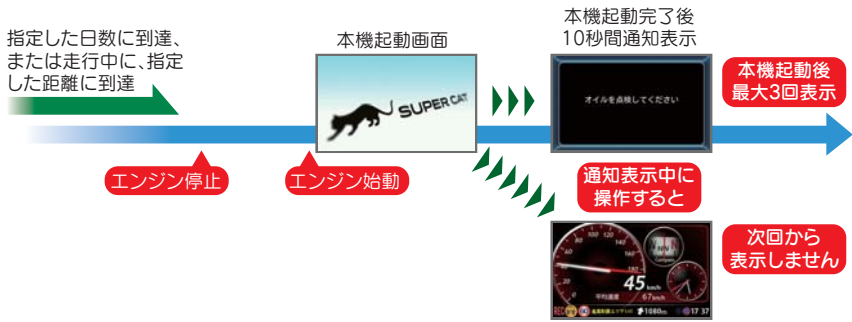
リマインダー設定

各項目について日数で通知をおこないます。OBD II アダプターで接続すると距離での通知が可能になります。

通知は指定した日数、または距離到達後のエンジン始動時(本機起動後)に約 10 秒間、最大 3 回通知されます。通知が表示されている時に操作を行うと通知が消え、次回起動時に通知が表示されなくなります。

ハイブリッド車で OBD II アダプターで接続した場合に、「オイル」「オイルエレメント」の項目は、エンジンが始動した状態で走行した距離によってリマインダー距離が計算されます。

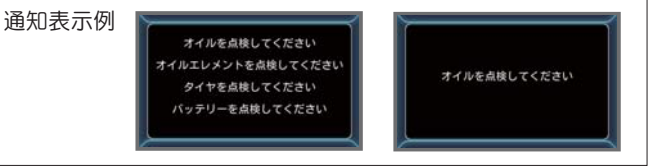
●通知確認操作 … 通知表示中に本機の操作をすると、3回通知前でも次回から表示されません。



リマインダー

オイル	オイルエレメント	タイヤ	バッテリー
残り * km	残り * km	残り * km	残り * km
残り * ヶ月	残り * ヶ月	残り * ヶ月	残り * ヶ月

OBD II アダプター



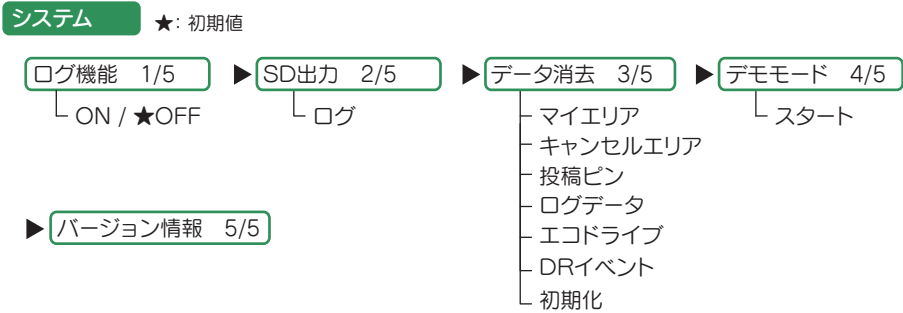
レーダー探知機
カスタマイズして使う

■ オイル、オイルエレメント、タイヤ、バッテリー

- 各項目について、設定した日数による通知が設定できます。OBDⅡアダプターで接続すると設定した距離による通知が設定可能になります。「0 ヶ月」に設定すると OFF になります。（OBDⅡアダプターで接続した場合は「0 km」「0 ヶ月」で OFF になります。）
- ・初期値は「OFF」です。
 - ・設定単位は、1,000km 単位または 1 ヶ月単位です。
 - ・システム設定の「データ消去」→「初期化」を行うと設定した日数、距離もクリアされ、OFF になります。
 - ・日数、距離を再設定した場合は、再設定した時点で通知前（通知中）の残り日数、残り距離はリセットされ、再設定後の日数、距離で通知します。

システム設定

設定メニューにそって、システム設定の各種設定変更ができます。



■ ログ機能 1/5

- 「ON」に設定すると、約 20.5 時間分の走行データを記録できます。（ P.97）
- ※ 測位状況および走行の状況により異なります。

■ SD 出力 2/5

- ログ機能で記録した走行データを同梱品のレーダー探知機用 SD カードにコピーします。
- ・スタートを選択するとコピーを開始します。

■ データ消去 3/5

- 「マイエリア」「キャンセルエリア（アイキャンセル・マイキャンセルエリア）」「投稿ピン」「ログデータ」「エコドライブ」「DR イベント」のデータを消去・クリアできます。また、「初期化」すると、すべての設定項目をお買い上げ時の状態にリセットします。
- ・消去したい項目（マイエリア、キャンセルエリア、投稿ピン、ログデータ、エコドライブ、DR イベント）を選び、「はい」を選択するとデータが消去・クリアされます。
 - ・いったん消去・クリア・初期化すると、元に戻せませんのでご注意ください。
 - ・レーダー探知機用 SD カードに登録されているオービス等の GPS データが消去されることはありません。

■ デモモード 4/5

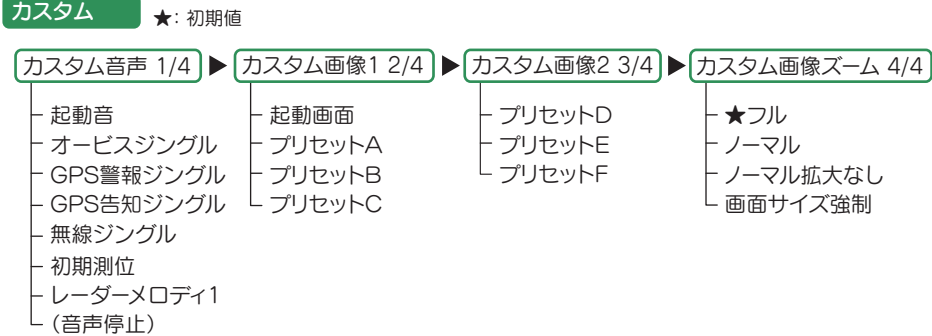
- レーダー受信や GPS 警報などの音声や画面表示を実演できます。
- ・スタートを選択するとデモモードが始まります。
 - ・デモモード中に画面タッチするとデモモードは終了します。
 - ・本機が OBDⅡアダプター（ P.18）で接続されていない場合でも、OBDⅡ関連の待受画面が表示されます。

■ バージョン情報 5/5

- 収録データの「オービスデータ」-「実写データ」-「公開取締情報」公開日-「リアルタイム配信」（投稿により収集された情報）-「地図データ」-「プログラム」（ソフトウェアのバージョン）が表示されます。
- ※ 公開取締り情報とリアルタイム配信はデータが入っていない場合空白になります。

カスタム設定

設定メニューにそって、カスタム設定の各種設定変更ができます。



1. 設定項目の説明

■ カスタム音声 1/4

- 起動時や各警報時などに流れる音をお好みの音楽などに変えることができます。再生中に音を停止するときは「音声停止」にタッチします。カスタム音声の ON/OFF（緑ランプの点灯 / 消灯）を選択し、通常の音に戻せます。
- 「sound」フォルダの中に以下のファイル名で保存すると、それぞれの音として使用できます。
- ※ 再生できないファイルの場合は、ファイルが存在していても通常音となります。その場合は違うファイルでお試ください。
- ※ 保存するファイルは下記のファイル名、拡張子のルールに従ってください。下記以外のファイル名、拡張子では対応しません。ファイル名、拡張子はすべて半角文字にしてください。全角文字では再生できません。
- 例（起動音）： 1.mp3（「1」がファイル名、「.mp3」が拡張子になります）

■ カスタム画像 1 2/4、カスタム画像 2 3/4

「起動画面」「プリセット A～F」の背景画面が選択できます。画像ファイルの保存方法は「フォトフレーム」設定項目の説明を参照ください。(P.117「画像データの保存方法」)
レーダー探知機用 SD カードに保存した画像ファイルを削除したり、入れ替えたりした場合は、背景に設定されている画像が変更されることがあります。その場合は、再度画像を選択してください。

「起動画面」には 4 種類のオープニングムービーが収録されています。

- ①季節(春夏秋冬で切り替わります)※初期値
- ②大メーター、③ SUPER CAT ロゴ、
- ④小メーター。

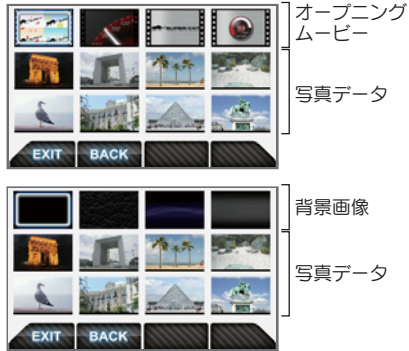
※ 写真をオープニングにすることもできます。

「プリセット A～F」には 4 種類の背景画像が収録されています。

- ①黒※初期値、②革、③波、④黒木目

※ 写真を背景にすることもできます。

※ 収録されている写真データ以外の写真を設定するには、あらかじめ同梱品のレーダー探知機用 SD カードに画像データを保存する必要があります。



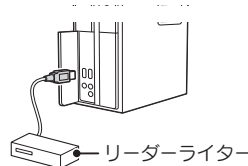
■ カスタム画像ズーム 4/4

(カスタム画像)で背景にする画像を表示する時の表示サイズを選択できます。

フル	写真の縦横比を保ったまま、画面が写真で埋まるように拡大・縮小します。写真の縦横比が画面の縦横比と異なる場合、写真の上下もしくは左右がカットされます。レーダー波を用いた取締り。
ノーマル	写真の縦横比を保ったまま、縦もしくは横が画面サイズになるように拡大・縮小します。写真の縦横比が画面の縦横比と異なる場合は、写真をすべて表示し、余白は黒い帯になります。
ノーマル拡大なし	写真データのサイズが画面より小さい場合は、写真の拡大を行わずに、画面に表示し、余白は黒くなります。写真データのサイズが画面より大きい場合は、縦もしくは横が画面サイズになるように拡大・縮小します。
画面サイズ強制	写真データの縦横比が画面サイズと異なる場合でも、強制的に画面サイズに拡大・縮小します。そのため、画面の縦横比に合わせて、写真が縦長や横長になります。

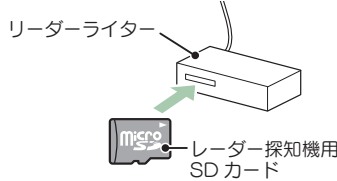
2. カスタム音声の保存方法

2-1 リーダーライターをパソコンに接続する

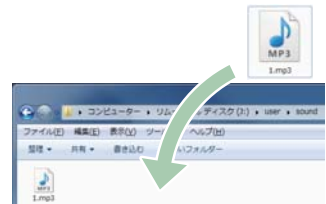


※ 接続方法はリーダーライターの取扱説明書を参照ください。
※ SD カードを直接接続できるパソコンの場合は、リーダーライターを接続する必要はありません。

2-2 ディスプレイユニットに装着されているレーダー探知機用 SD カードをリーダーライターに挿入する



2-3 レーダー探知機用 SD カードの「user」フォルダの中の「sound」フォルダに音楽ファイルを入れる



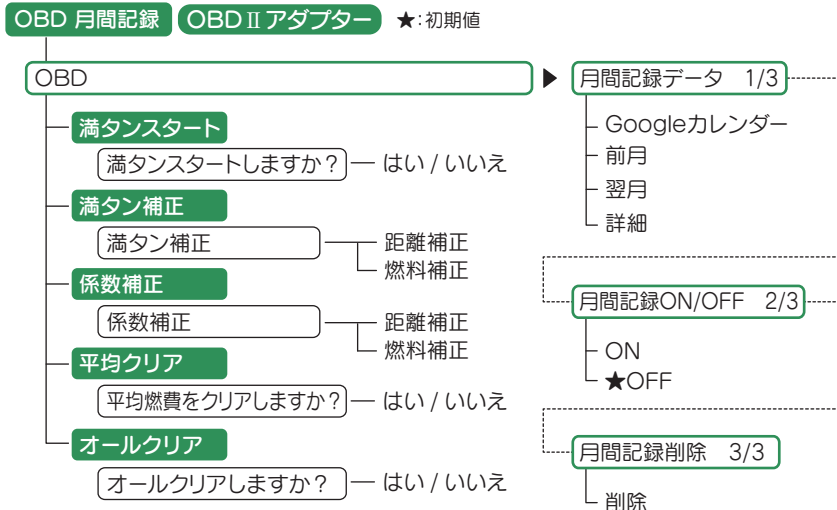
※ ステレオのファイルでもモノラルで再生されます。
※ ファイルが存在するときはカスタム音声 ON(緑ランプの点灯)になります。通常の音に戻すときは、緑ランプを消灯させてください。また、ON/OFF 時にそれぞれの音がテスト再生されます。テスト再生を中止するときは「音声停止」にタッチします。
※ 起動音で設定した音楽ファイルは、起動時に曲の最後まで再生した後、通常のレーダー探知機の音声が始まります。レーダー受信警報やオービス警報など緊急なものは割り込んで警報します。割り込み警報があった時点で起動音の再生は停止します。

保存ファイル名

- ・ 起動音: 1.mp3 (再生時間上限なし)
- ・ オービスジングル: 2.mp3 (再生時間上限 15 秒)
- ・ GPS 警報ジングル: 3.mp3 (再生時間上限 15 秒)
- ・ GPS 告知ジングル: 4.mp3 (再生時間上限 15 秒)
- ・ 無線ジングル: 5.mp3 (再生時間上限 15 秒)
- ・ GPS 初期測定: 6.mp3 (再生時間上限 15 秒)
- ・ レーダーメロディ: 7.mp3 (再生時間上限なし)

OBD 月間記録 設定

設定メニューにそって、OBD 設定の各種設定変更ができます。



1. 設定項目の説明

■ OBD

ご購入状態のままでは走行距離 / 給油量で計算した燃費(実燃費)とディスプレイユニットが表示する燃費に誤差が発生しています。「満タンスタート」「満タン補正」、「係数補正」を行うことで、平均燃費数値の精度を高めることができます。また、「平均クリア」を行うと、画面内の平均燃費の数値をリセットし、「オールクリア」を行うと、レーダー探知機機能の OBD II アダプターから受け取った車両に関連する数値をリセットします。

■ 満タンスタート (P.141)、満タン補正 (P.142)

実走行による走行距離・給油量により燃費数値の精度を高めます。この手順で取得される補正係数は本機に自動登録されます。一度行えば、給油時に同じ手順を繰り返す必要はありません。

■ 係数補正 (P.144)

係数補正は、燃費計算を行う上での OBD 情報の係数となります。この画面に表示される「距離係数」と「燃料係数」をメモしておくことにより、「オールクリア」をした後でもこれまでの燃費計算に戻すことができます。

また、すでに OBD II アダプター対応の弊社製品をお使いの場合、違う機種に買い替えた場合など係数補正を行うことにより「満タンスタート・満タン補正」が不要になります。

■ 平均クリア

平均クリアは、画面内の「平均燃費」の項目をリセットできます。

「満タン補正」の直後に行くと、これまでの平均燃費がクリアされることによって、新たに計算を開始させることができます。(平均クリアを行っても補正係数はクリアされません。)

■ オールクリア

オールクリアは、OBD II アダプターから受け取った車両に関連するレーダー探知機内の数値をリセットします。(車両側 OBD II に影響はありません。)

オールクリアを行うと、燃費の補正係数もクリアされるので、「満タンスタート・満タン補正」または「係数補正」を行う必要があります。行わないと正確な燃費が表示されません。そのため、オールクリアを行う前に、係数補正の画面で距離係数と燃料係数を確認し、メモしておくことをおすすめします。

※ オールクリアを行い、初期値となった数値を元に戻すことはできませんので、ご注意ください。

2. 満タンスタート

※ 車両が停止した状態で操作してください。

2-1 満タン給油をし、油面の位置を覚える



※ 次回「満タン補正」の給油時に同量の燃料を給油するために油面を覚えます。
※ 燃料タンクの構造により給油停止後に油面が低下します。燃料の油面低下が止まった位置を覚えておいてください。(車両によっては下がり方が遅く、また低下が大きい場合があります。)

2-2 待受画面にタッチし、ジャンプウィンドウの[設定 TOP]にタッチする

「設定画面」が表示されます。



待受画面



ジャンプウィンドウ

2-3 [OBD]にタッチし、[満タンスタート]にタッチする



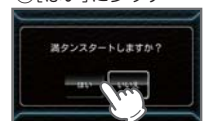
「設定」画面



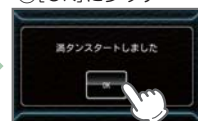
「OBD」画面

2-4 以下の手順で操作する

①[はい]にタッチ



②[OK]にタッチ



③[EXIT]にタッチ



「OBD」画面

※ 手順②は、タッチしなくても自動で「OBD」画面に戻ります。

2-5 車両のトリップメーターをリセットし、「満タン補正」アイコンが点灯するまで、200～300km 程度、無給油で走行する



※ 適当な間隔で「OBD」画面をご確認いただき、満タン補正進捗率が 100% になり「満タン補正」アイコンが点灯するまで走行してください。（点灯したまま長く走れば、それだけ補正精度が向上します。）



3-6 以下の手順で距離補正する

■ 距離補正



「距離補正」にタッチ



トリップメーターの距離を入力し、「OK」にタッチ

3-4 以下の手順で燃料補正する

■ 燃料補正



「燃料補正」にタッチ



給油伝票を確認して、給油量を入力し、「OK」にタッチ

3-5 正しい燃費に補正されたので、以下の手順で終了します。



「OK」にタッチ

「EXIT」にタッチ

3. 満タン補正

満タン補正進捗率が 100% になり、「満タン補正」アイコンが点灯したら、再度満タン給油をしてください。

3-1 前回給油時の油面位置まで給油する



※ 燃料タンクの構造により給油停止後に油面が低下します。前回給油時の燃料の油面位置まで給油してください。（車両によっては下がり方が遅く、また低下が大きい場合があります。）

3-2 待受画面にタッチし、ジャンプウィンドウの「設定 TOP」にタッチする

「設定画面」が表示されます。



待受画面



ジャンプウィンドウ

3-3 「OBD」にタッチし、「満タン補正」にタッチする

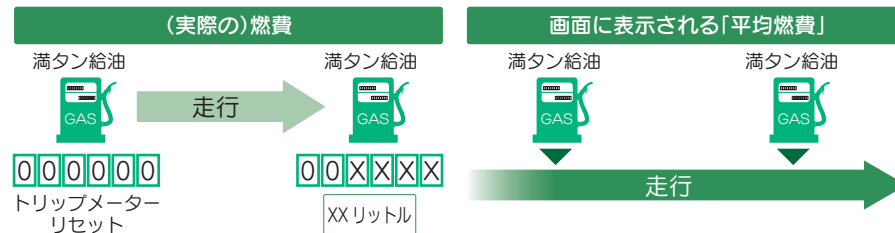


「設定」画面



「OBD」画面

実際の燃料給油量と走行距離から計算した（実際の）燃費と画面の「平均燃費」は、計算を行う方法が異なりますので、必ず一致するものではありません。



4. 係数補正

- ※ あらかじめ「満タンスタート・満タン補正」を行って正確な補正係数を取得している場合に限りです。
- ※ 他社製品に表示されていた、雑誌等に掲載されていた、ネットに掲載されていたなどの数値を入力した場合、正常な表示・演算がされないことがあります。

4-1 「係数補正」にタッチする



4-2 「距離係数」と「燃料係数」の数値を入力します。



4-3 [OK]にタッチすると補正が完了し、画面が元に戻ります。



より正確な数値に修正されました。

5. 月間記録データについて

■ 月間記録データ 1/3

[月間記録]を選択すると、その月の月間記録データが表示されます。[Google カレンダー]で、手動で Google カレンダーに月間記録を登録できます。(P.157) [前月]、[翌月]でデータの表示月を変更できます。[詳細]を選択すると、月の記録データの詳細が表示されます。ひと月に記録できる件数は、最大 2,000 件です。



詳細表示

■ 月間記録 ON/OFF 2/3

月間記録の ON/OFF が設定できます。



■ 月間記録削除 3/3

記録された月間記録を削除できます。

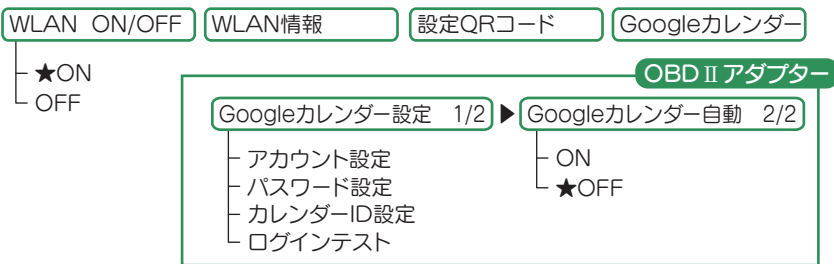
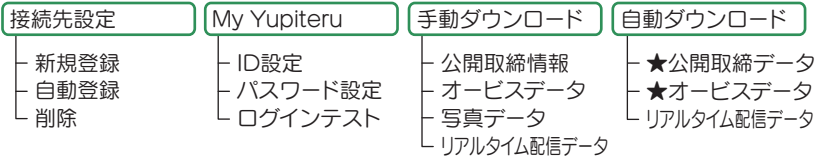


無線 LAN(WLAN)設定

本機能は別売品の「無線 LAN 機能付 SD カード (OP-WLSD16)」をご購入いただき、ディスプレイユニットにあらかじめ装着されている、SD カードアダプター (SD カード) と入れ替えてご使用ください。

別売品の「無線 LAN 機能付 SD カード (OP-WLSD16)」を装着しないと、[WLAN] は表示されません。

WLAN ★: 初期値



ダウンロード項目	ダウンロード制限	手動	自動
公開取締情報	制限なし	○	○
オービス / コンテンツデータ	My Yupiteru 有料会員のみ (要機種登録)	○	○
写真データ	My Yupiteru 有料会員のみ (要機種登録)	○	—
リアルタイム配信データ	制限なし	○	○
WLAN 経由の投稿	My Yupiteru 会員	○	—

● WLAN で接続している場合
メッセージウィンドウにアイコンが表示されます。



1. 設定項目の説明

■ 接続先設定

接続先は 8 件まで登録できます。
一度設定しておけば、以降は自動的に接続が行われます。
[接続先設定] で「接続先設定」メニューを表示します。
接続先を登録するには、2 種類の方法があります。いずれかの方法で登録してください。
・新規登録 (パスワード認証)
・自動登録 (プッシュ認証)

■ My Yupiteru

My Yupiteru のアカウントを設定します。

■ 手動ダウンロード

各項目でダウンロードを行います。
My Yupiteru ID とパスワードが設定されていない場合は、[オービスデータ] と [写真データ] が押せません。
写真データはデータ量が大きいので、ダウンロードに時間が掛かります。写真データのダウンロードは手動ダウンロードのみ可能です。
ダウンロード中に電源を切ることは避けてください。

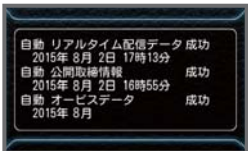


■ 自動ダウンロード

あらかじめ、ダウンロードする項目を設定しておくことで、WLAN 接続が確立されていれば、電源 ON のたびに、ダウンロードサーバーに最新のデータの有無を確認し、最新のデータがあればダウンロードを行います。
WLAN 接続が確立されていれば、最初のデータ確認から 30 分ごとに自動的にダウンロードサーバーに最新のデータの有無を確認し、最新のデータがあればダウンロードします。
自動ダウンロード中は、警報を行いません。



※ My Yupiteru ID とパスワードが設定されていない場合は [オービスデータ] が選択できません。



※ 自動ダウンロードが終了し、レーダー探知機機能にデータが取り込まれるとデータの情報を表示し、自動的に通常の画面に戻ります。

■ WLAN ON/OFF

WLAN の機能を OFF にしたいときに使用します。初期値は ON です。

■ WLAN 情報

WLAN 情報を表示します。

接続先 現在接続しているアクセスポイント名 (SSID)

チャンネル 現在接続しているチャンネル

受信強度 現在の受信強度

セキュリティ 現在の接続のセキュリティが有効か無効かを表示

IP アドレス 本機に割り当てられている IP アドレス

MAC アドレス 本機無線 LAN の物理アドレスを表示します。

(OP-WLSD16 の裏面にも「MAC : 」の後ろに記載されています。アクセスポイントで MAC アドレスによる制限を設定してある場合は、この値をアクセスポイント側で許可してください。



■ 設定 QR コード

本機とスマートフォンがテザリングで接続されているか、または同じ無線 LAN 親機でネットワークに接続されていれば、スマートフォンからレーダー探知機機能の設定ができます。

■ Google カレンダー、Google カレンダー設定 1/2 OBD II アダプター

月間記録を Google カレンダーに登録できます。

登録されるデータは、運転開始日時、運転終了日時、距離、燃費、緯度、経度になります。

■ Google カレンダー自動 2/2 OBD II アダプター

「ON」に設定すると、月間記録を自動で Google カレンダーに登録できます。

2. 接続先をパスワード認証で登録する

2-1 [新規登録]にタッチする

アクセスポイントを検索します。



2-2 アクセスポイントを選択する

パスワード入力画面が表示されます。



※ アクセスポイントが SSID 非公開の場合は、[Manual] を選択し、SSID とパスワードを入力します。



2-3 パスワードを入力し、[OK]にタッチする

接続結果が表示されます。



※ 接続に成功すると「成功しました」と表示され、使用可能になります。接続に失敗した場合は再度お試しください。

3. 接続先をプッシュ認証で登録する

プッシュボタン(PBC)認証モード

2-1 無線 LAN アクセスポイントのプッシュボタンを押す

2-2 一定時間内にディスプレイユニット内の[自動登録]にタッチし、画面表示の要領で[開始]にタッチする



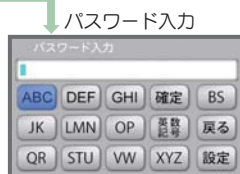
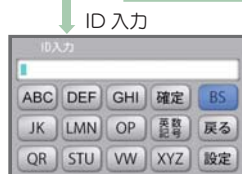
※ 接続したくない接続先がある場合は、[削除]で削除してください。本機メニュー[初期化]では、接続先は削除されません。

設定が成功したら、「設定が完了しました」と表示します。一定時間経過、またはその他エラーが発生した場合は「設定ができませんでした」と表示されます。

本機では、ログインが必要な無線 LAN サービス用のアクセスポイントに接続はできても、無線 LAN サービスへのログイン画面表示および入力ができないため、通信することはできません。

4. My Yupiteru アカウントを設定する

4-1 [ID 設定]で ID を入力、[パスワード 設定]でパスワードを入力する



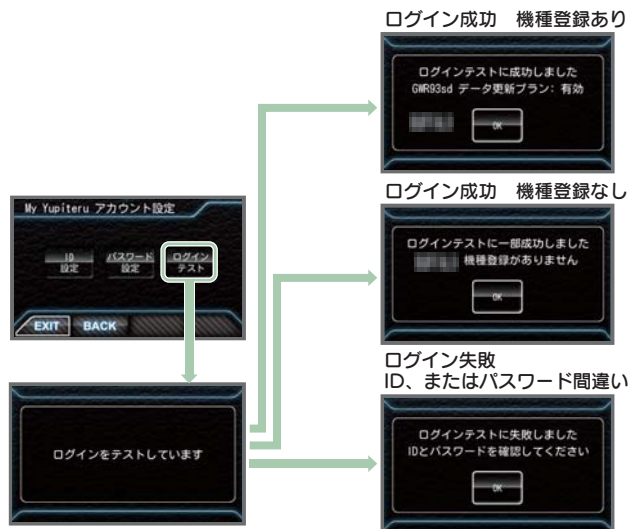
※ My Yupiteru のアカウント登録は、あらかじめパソコンなどを使用して行っておく必要があります。本機での登録は行えません。

※ [オービスデータ][写真データ]のダウンロードには、「My Yupiteru のアカウント」、「Itty クラブのプラン加入」、「機種登録」が必要です。詳しくは弊社ホームページをご覧ください。

※ 本機を廃棄したり、人に譲ったりする際は、ID・パスワードを削除したい場合は、[BS] で文字を全部消去して [設定] を選択してください。ID・パスワードが残ったままだと、悪用される恐れがあります。

4-2 WLAN の接続が確立した状態で [ログインテスト] にタッチする

機種登録があっても、無料会員の場合は、「(機種名) データ更新プラン：無効」と表示されます。



5. スマートフォンでレーダー探知機機能を設定する

5-1 「WLAN」画面の[設定 QR コード]にタッチする

設定 QR コードを表示します。



※ WLAN 接続されていない場合は「ネットワークに接続していません」と表示されます。



5-2 表示された設定 QR コードをスマートフォンで読み込む

ブラウザが開き自動的にレーダー探知機機能の設定が読み込まれます。



レーダー設定画面



VIEW (P.63)



待受 (P.109)



モード (P.118)



警報 (P.124)



音声 (P.128)



画面・LED (P.127)

5-3 レーダー設定画面で設定する

表示される項目名、設定内容はレーダー探知機機能と同様になります。

5-4 設定終了後、[設定の転送]にタッチし、確認画面で[はい]にタッチする

設定変更が完了した画面が表示されますので、[OK]にタッチします。



※ 転送中、ディスプレイユニットの待受画面は下の画面になります。[手動で終了]にタッチで転送を中断できます。



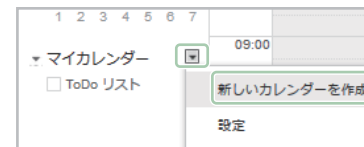
※ 「設定の読み込」にタッチし、「はい」にタッチすることで現在スマートフォンでの設定を破棄しレーダー探知機能の設定を読み込むことができます。

6. Google カレンダーを設定する

6-1 Google のアカウントを作成し Google アカウントと Google パスワードを取得する



6-2 Google にログインして以下の手順で Google カレンダー ID を取得する



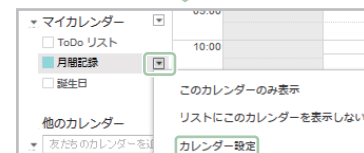
マイカレンダーの▼をクリックし、「新しいカレンダーを作成」をクリックします。

※ 月間記録用にカレンダーを追加せず、初めからある Google カレンダーを使用する場合、手順 1-2 は必要ありません。



カレンダー名を「月間記録」にし、「カレンダーを作成」ボタンをクリックします。

※カレンダー名はご自由に登録できます。



月間記録の▼をクリックし、「カレンダー設定」をクリックします。



Google カレンダー ID が表示されます。※本機の登録が必要になります。

6-3 Google アカウント、Google パスワード、Google カレンダー ID を本機に設定する

※ Google アカウント設定で入力すると、Google カレンダー ID 設定にも反映されます。



Google アカウント設定
例：xxxxx@gmail.com

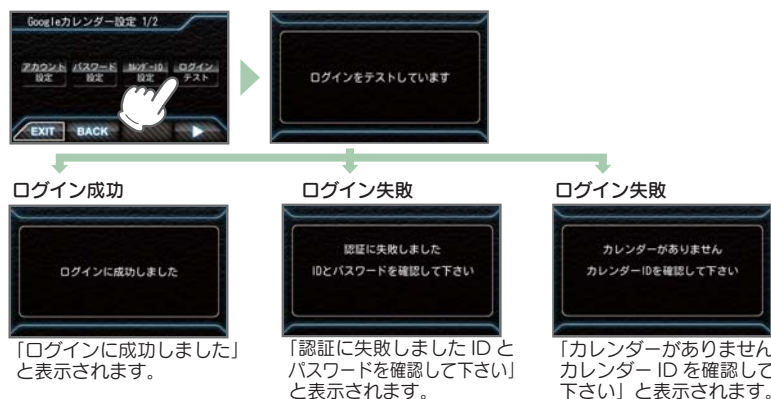
Google パスワード設定

Google カレンダー ID 設定
例：xxxxx@group.calendar.google.com
※手順 1-2 を行わなかった場合は Google アカウントが Google カレンダー ID になります。

7. Google カレンダーのログインテストをする

ログインテストで Google カレンダー設定の確認ができます。

7-1 [ログインテスト]にタッチする



※ ログイン失敗の場合は表示画面に従い、確認してください。
※ Google のセキュリティ設定を確認してください。(P.155)

8. Google カレンダーのログインテストに失敗した場合

Google アカウントを新規で作成した場合、セキュリティの「安全性の低いアプリのアクセス」の設定が「有効」になっているか、確認してください。

8-1 Google にログインする



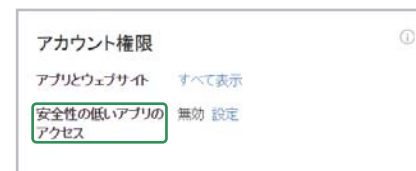
8-2 アカウントをクリックする



8-3 セキュリティをクリックする



8-4 [安全性の低いアプリのアクセス]の設定をクリックする



8-5 [有効にする]をクリックする



※ [無効にする]にチェックがあると、ログインテストは成功しません。

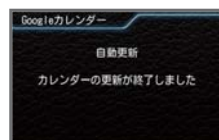
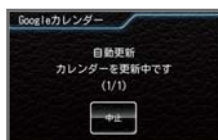
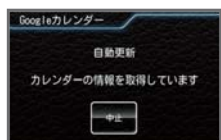
8-6 再度、本機にてログインテストをする

➡ P.154 「Google カレンダーのログインテストをする」

9. 月間記録を Google カレンダーに自動登録する

※ 月間記録は Google アカウント、Google パスワード、Google カレンダー ID が本機に設定されていない場合は Google カレンダーに登録できません。(➡ P.153)

9-1 Google カレンダー自動 2/2 の [ON]にタッチする



ネットワークに接続すると、画面が自動で切り替わり更新を開始します。

更新終了後、元の画面に戻ります。

10. 月間記録を Google カレンダーに手動で登録する

※ 月間記録は Google アカウント、Google パスワード、Google カレンダー ID が本機に設定されていない場合は Google カレンダーに登録できません。(➡ P.153)

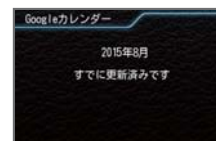
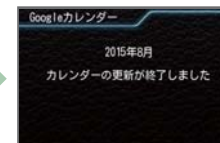
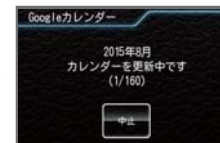
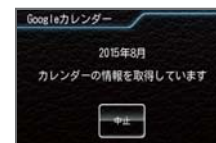
10-1 [月間記録]にタッチし、[Google カレンダー]にタッチする



[月間記録]にタッチ



[Google カレンダー]にタッチ



※ 月間記録データを登録済みの場合は、「すでに登録済みです」と表示されます。

DR (ドライブレコーダー) 設定

設定メニューにそって、ドライブレコーダーの各種設定変更ができます。

1. [解像度] 設定

録画の解像度を選択します。



3M 30FPS	録画の解像度を選択します。
1080P HD HDR 30FPS	3M : 2304 × 1296
1080P HD 30FPS	1080P : 1920 × 1080
720P 60FPS	720P : 1280 × 720
720P 30FPS	「1080P HD HDR 30FPS」または「1080P HD 30FPS」設定時のみ、Active Safety 機能が有効になります。
	※ 「1080P HD (HDR) 30FPS」設定時のみ HDR が有効になります。

■ [解像度] の変更方法

1-1 DR 設定画面を表示する



1-2 選択したい解像度にタッチし、[EXIT]にタッチする

選択した解像度に変更されます。



※ 選択した解像度が、青色になります。
※ 初期値は 1080P HD HDR 30FPS になります。

2. [自動録画] 設定

エンジンキー連動で録画開始の ON/OFF を設定します。



3. [音声録音] 設定

音声録音の ON/OFF を設定します。



4. [G センサー記録] 設定

G センサー記録を使用するか ON/OFF で設定します。



5. [G センサー感度] 設定

X(前後方向)、Y(左右方向)、Z(上下方向)の衝撃感度を 0.1G ステップで個別に設定します。感度は数字が小さくなると「敏感」になり、数字が大きくなると「鈍感」になります。

■ [G センサー感度] の変更方法

5-1 設定画面を表示する



5-2 ◀▶ にタッチし、方向 (X,Y,Z) を選択し、▽△ にタッチし、値を変更します



5-3 確定したら [EXIT] にタッチします

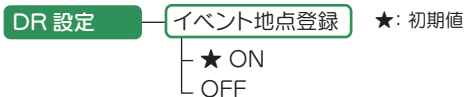
変更した感度に変更されます。



6. [イベント地点登録] 設定

イベントが発生した際のアイコンの画面表示 ON/OFF を設定します。

※ [OFF] に設定しても、イベント記録を行うとメッセージウィンドウにてお知らせします。



7. [AS 設定] 設定

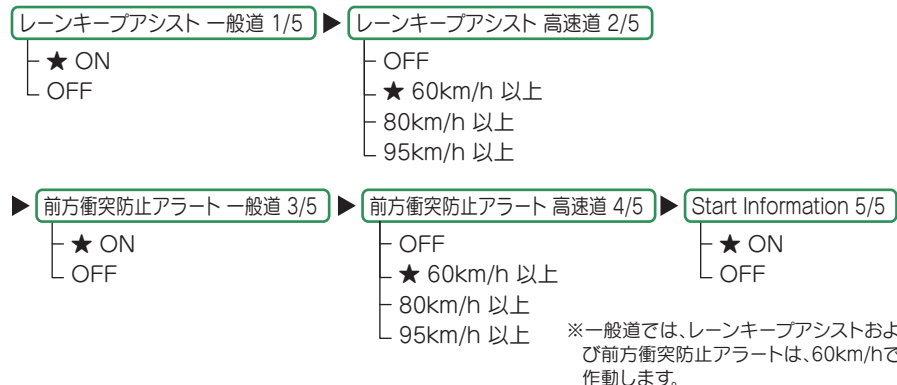
Active Safety の「AS 設定」を行います。

「レーンキープアシスト」と「前方衝突防止アラート」を使用するには、本機にて AS 設定が必要です。

※ 設定をせずに使用するとうまく動かない場合があります。

※ AS 設定は [1080P HDR 30FPS] 及び [1080P HD 30FPS] のみ機能します。

DR 設定 ★: 初期値



■ レーンキープアシスト 一般道 1/5

一般道でレーンキープアシスト機能を使用するかを ON/OFF 切り替えます。
初期値は「ON」です。

■ レーンキープアシスト 高速道 2/5

高速道でレーンキープアシスト機能が動作する速度を設定します。
OFF、60km/h 以上、80km/h 以上、95km/h 以上から設定します。
初期値は「60km/h」です。

■ 前方衝突防止アラート 一般道 3/5

一般道で前方衝突防止アラート機能を使用するかを ON/OFF 切り替えます。
初期値は「ON」です。

■ 前方衝突防止アラート 高速道 4/5

高速道で前方衝突防止アラート機能が動作する速度を設定します。
OFF、60km/h 以上、80km/h 以上、95km/h 以上から設定します。
初期値は「60km/h」です。

■ Start Information 5/5

Start Information 機能を使用するかを ON/OFF 切替します。
初期値は「ON」です。

8. [AS 範囲設定] 設定

Active Safety の動作範囲を設定します。(P.53 「レーンキープアシスト機能と前方衝突防止アラートの設定を行う」)

※ 設定をせずに使用するとうまく動かない場合があります。

※ AS 設定は [1080P HDR 30FPS] 及び [1080P HD 30FPS] のみ機能します。

9. [上書きモード] 設定

上書き禁止	それぞれの記録方法で上限に達しても、録画ファイルは上書きされません。
常時録画上書き	それぞれの記録方法で上限に達した場合、録画ファイルは常時録画のみ古い録画ファイルから自動削除して上書きされます。
全て上書き	それぞれの記録方法で上限に達した場合、それぞれの記録方法の古い録画ファイルから削除して上書きされます。

※ 初期値は「全て上書き」です。

10. [外部入力ウィンカー] 設定

ウィンカー情報の入力先を設定します。

ウィンカー使用中は車線変更中とみなし、レーンキープアシスト機能による警告を行わなくなります。

初期値は「OFF」です。

OBD12-M II で接続している場合そちらも使用することができます。

ウィンカー検出ケーブル接続確認は P.46 「ウィンカー検出ケーブル接続確認方法」を参照ください。

■ [外部入力ウィンカー] の変更方法

10-1 モード画面を表示する



[DR]にタッチ



[外部入力ウィンカー]にタッチ

再生モードの表示・再生方法

再生モードを表示すると、自動的に常時録画が停止します。

1. 再生モードを表示する

1-1 待受画面にタッチする

ジャンプウィンドウが表示されます。



<待受画面>

1-2 [再生]にタッチする

フォルダ選択画面を表示します。



<ジャンプウィンドウ>

1-3 再生したいファイルの記録方法にタッチする

ファイル選択画面を表示します。



<フォルダ選択画面>



<ファイル選択画面>

- ・常時録画とは・・・ P.89
- ・Gセンサー記録とは・・・ P.90
- ・ワンタッチ記録とは・・・ P.90

10-2 設定したい外部入力方法を選択します



接続確認表示

- ※ ウィンカー・ブレーキ検出ケーブルもしくは OBD12-M Ⅲ による入力を検知すると、接続確認表示が緑に光ります。
- ※ OBD アダプターを検出すると OBD アダプターのボタンがアクティブになります。

11. [外部入力ブレーキ] 設定

ブレーキ情報の入力先を設定します。
前方衝突防止アラート機能にて、ブレーキを踏んでいることを認識すると警告を行わなくなります。
初期値は [OFF] です。
OBD12-M Ⅲ で接続している場合そちらも使用することができます。
ブレーキ検出ケーブル接続確認は P.45 「ブレーキ検出ケーブル接続確認方法」を参照ください。

■ [外部入力ブレーキ] の変更方法

11-1 モード画面を表示する



[DR]にタッチ



[外部入力ブレーキ]にタッチ

11-2 設定したい外部入力方法を選択します



接続確認表示

- ※ ウィンカー・ブレーキ検出ケーブルもしくは OBD12-M Ⅲ による入力を検知すると、接続確認表示が緑に光ります。
- ※ OBD アダプターを検出すると OBD アダプターのボタンがアクティブになります。

12. [SD 初期化] 設定項目の説明

カメラユニットの SD カードのフォーマットを行います。(P.52 「カメラユニット用 SD カードをフォーマットする」)

※ 同梱品以外の SD カードを使用する場合、初回起動時に必ずフォーマットしてください。

2. ディスプレイユニットで録画ファイルを再生する

2-1 再生したい録画ファイルにタッチし、▶にタッチする

録画ファイルが再生します。
録画ファイルが複数ある場合は、連続して再生します。



<ファイル選択画面>



<ファイル再生画面>

※ ファイルがない場合、ファイル選択画面上に「ファイルがありません」と表示します。
[OK] にタッチするとフォルダ選択画面に戻ります。



※ ファイルが再生できない場合、ファイル選択画面上に を表示します。



- ・ファイル選択画面の詳しい使いかたは…
➡ P.167
- ・ファイル再生画面の詳しい使いかたは…
➡ P.167

3. 再生中の録画ファイルを一時停止する

3-1 画面にタッチし、⏸にタッチする



<ファイル再生画面>

4. 録画を再開する

録画を再開するとメッセージウィンドウに録画アイコンを表示します。

4-1 [EXIT] にタッチする

ドライブレコーダー画面もしくは待受画面を表示し、自動的に録画を開始します。(初期値：自動録画 ON)



・自動録画を OFF している場合…
待受画面にタッチしジャンプウィンドウの[常時録画 START]にタッチする。



録画ファイルの保護について

録画ファイルは下記の手順で保護することができます。

保護した録画ファイルは、フォーマット以外の操作では削除されません。

※ 保護した録画ファイルは、フォーマット (➡ P.52) することで削除できます。フォーマットを行うと、全ての録画ファイルを削除します。必要に応じてパソコンにバックアップ (➡ P.179「録画ファイルの読み出しについて」) などしてからフォーマットしてください。

⚠ 注意

! 初期値では、保護していない録画ファイルは、各記録方法の上限に達すると、上書きされます。(初期値「上書きモード：全て上書き」)

1. 録画ファイルを保護する

1-1 待受画面にタッチする

ジャンプウィンドウが表示されます。



<待受画面>

1-2 [再生] にタッチする



<ジャンプウィンドウ>

1-3 保護したい録画ファイルの記録方法にタッチする



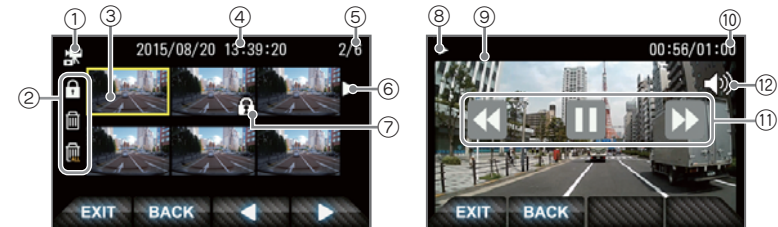
<フォルダ選択画面>

- ・常時録画とは … ➡ P.89
- ・G センサー記録とは … ➡ P.90
- ・ワンタッチ記録とは … ➡ P.90

再生モード

再生モードでは、録画ファイルをディスプレイユニットで再生できます。

※ 再生モードの表示方法は P.163 を参照ください。



＜ファイル選択画面＞

＜ファイル再生画面＞

No.	表示名	説 明	
①	フォルダアイコン		常時録画フォルダを選択中に表示します。
			G センサー記録フォルダを選択中に表示します。
			ワンタッチ記録フォルダを選択中に表示します。
②	操作メニュー	録画ファイルを保護 / 保護解除、削除などを行います。 (P.168「操作メニュー」)	
③	選択中のファイル	選択中の録画ファイルを黄色枠で表示します。	
④	記録日時	録画した日時を表示します。	
⑤	ページ数	現在のページ / 総ページを表示します。	
⑥	再生	選択した録画ファイルを再生します。	
⑦	ファイル保護アイコン	保護した録画ファイル上に表示します。	
⑧	動作アイコン	動作の状態をアイコンで表示します。	
			再生中に表示します。
			早送り中に表示します。
			巻き戻し中に表示します。
			一時停止中に表示します。
			3 倍速の早送り・巻き戻し中に表示します。
			6 倍速の早送り・巻き戻し中に表示します。
			0.5 倍速の早送り・逆再生中に表示します。
⑨	記録映像	録画ファイルを再生します。	
⑩	再生時間	現在の再生時間 / ファイル総時間を表示します。	

1-4 保護したい録画ファイルにタッチする

選択した録画ファイルに黄色い枠がつきます。



＜ファイル選択画面＞

1-5 アイコンにタッチする

選択中のファイルを保護します。



＜ファイル選択画面＞

※ 保護が完了するとファイル選択画面上で
アイコンを表示します。



＜ファイル選択画面＞

保護を解除する場合は、手順 1-4 ～ 1-5 を繰り返します。
保護を解除すると、ファイル選択画面上の アイコンの表示が消えます。

No.	表示名	説 明
⑪	速度切替・一時停止	再生中のファイルの再生速度を切り替え及び、再生・一時停止を行います。
⑫	音声切替	再生中のファイルの音声の ON/OFF を切り替えます。

■ 再生速度の切り替え

ファイル再生画面を表示すると、通常の再生速度(× 1 倍速)で再生されます。

◀◀ ボタンと ▶▶ ボタンを押すことで再生速度を切り替えます。



※ ▶▶ は早送り、◀◀ は巻き戻し、▶ は通常の再生です。
 ※ 早送り、巻き戻し中は音声が生再生されません。

例：3 倍速の早送り中の表示
 ◀◀ x 3 00:37/01:00
 <ファイル再生画面>

■ 操作メニュー

アイコン	説 明	
	保護 / 保護解除	選択中の録画ファイルを保護します。保護したファイルを選択中に押すと、保護解除します。(P.165「録画ファイルの保護について」) ※ 保護した録画ファイルは、本機の「削除」では削除できません。保護を解除するか、SD カードをフォーマットすることで削除できます。(P.52「カメラユニット用 SD カードをフォーマットする」)
	削除	選択中の 1 ファイルを削除します。
	全削除	録画ファイルをすべて削除します。

保護したファイルで SD カードがいっぱいになると、カメラユニットの録画を停止します。(P.91「上書きモードについて」)
 必要に応じて録画ファイルをパソコンにバックアップなどしてから、本機で SD カードをフォーマットしてください。(P.52「カメラユニット用 SD カードをフォーマットする」)

専用ビューアソフトで再生する

カメラユニットで録画した映像は、パソコンに専用ビューアソフトをインストールすることにより、Google Maps と連動させて表示することができます。

※ 自車位置の表示にはインターネット接続環境が必要です。

1. 準備する

以下の仕様を満たしたパソコンで専用ビューアソフトを使用することができます。

OS : Microsoft Windows 7 または 8
 CPU: Core2Duo 相当、2.0GHz 以上
 メモリ : 2GB 以上

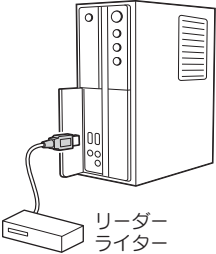
- ※ 推奨環境のすべてのパソコンについて動作を保証するものではありません。
- ※ 再生する動画の種類によっては処理能力が高いパソコンが必要になります。お使いになるパソコン環境によっては正しく再生されなかったり、正しく動作しない場合があります。
- ※ CPU やメモリが動作環境に満たない場合、再生時の動作が遅くなることがあります。
- ※ 誤って専用ビューアソフトを削除した場合は、弊社ホームページよりダウンロードしてください。
<http://www.yupiteru.co.jp/>
- ※ ご使用の SD カード容量に対応していない SD カードリーダーライターを使用した場合、SD カード内のファイルが破損することがあります。

2. 専用ビューアソフトをインストールする

⚠ 注意

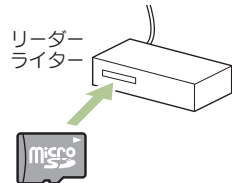
! パソコンや SD カードリーダーライターから SD カードを取り外す際は、お使いのパソコンやカードリーダーライターに付属の取扱説明書に沿って取り外してください。誤った手順で取り外すと、保存したデータが失われたり、SD カードを破損させてしまう恐れがあります。

2-1 リーダーライターをパソコンに接続する

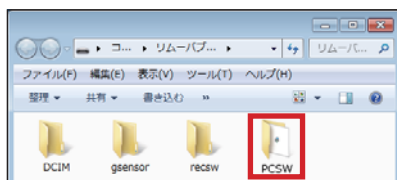


※ SD カードを直接接続できるパソコンの場合は、リーダーライターを接続する必要はありません。

2-2 カメラユニットから取り出したカメラユニット用 SD カードをリーダーライターに接続する



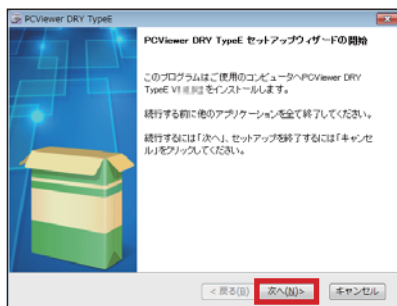
2-3 リムーバブルディスクを開き、[PCSW] フォルダをダブルクリックする



2-4 [setup.exe] をダブルクリックする



2-5 [次へ] をクリックする



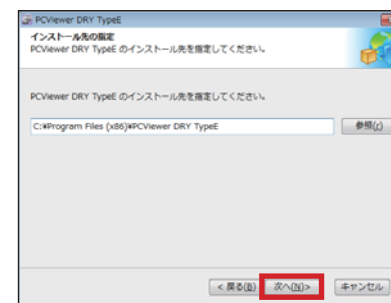
※ SD カードのフォーマットを行った場合、
「PCSW」フォルダも削除されます。
弊社ホームページよりダウンロードする
ことができます。
<http://www.yupiteru.co.jp/>

※ パソコンが「拡張子を表示しない」に設定
されている場合、setup と表示されます。

2-6 「同意する」をクリックする

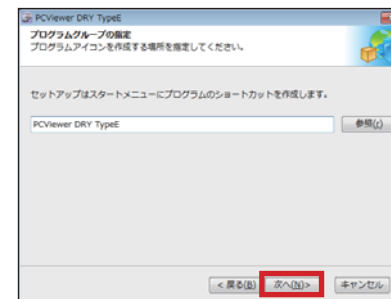


2-7 [次へ] をクリックする



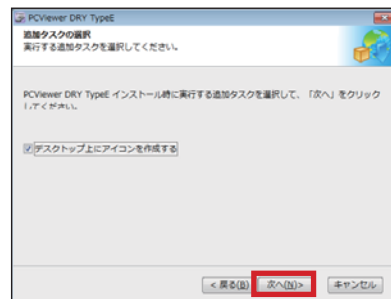
※ 「参照」をクリックすると、インストー
ル先を指定できます。

2-8 [次へ] をクリックする



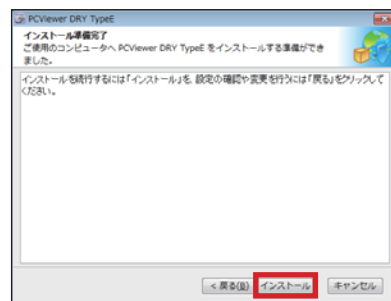
※ 「参照」をクリックすると、プログラムア
イコンを作成する場所を指定できます。

2-9 「デスクトップ上にアイコンを作成する」にチェックを入れ、[次へ]をクリックする



※ チェックを入れると、デスクトップ上にアイコンを作成します。

2-10 [インストール]をクリックする



2-11 [完了]をクリックする

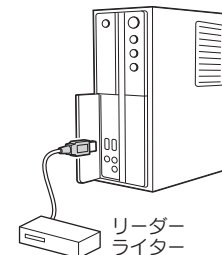


3. 専用ビューアソフトをバックアップ(コピー)する

専用ビューアソフトは同梱品のカメラユニット用 SD カード内に収納されています。誤って削除しないためにもパソコンなどにバックアップ(コピー)することをお勧めします。

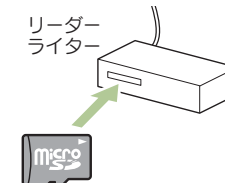
例：デスクトップにバックアップ(コピー)する場合・・・

3-1 リーダーライターをパソコンに接続する

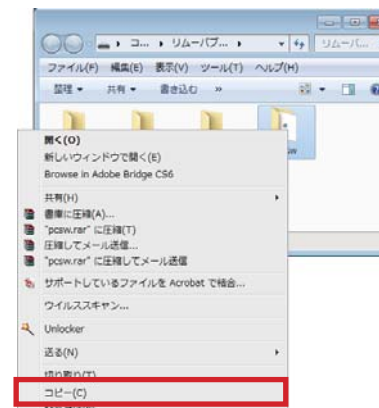


※ SD カードを直接接続できるパソコンの場合は、リーダーライターを接続する必要はありません。

3-2 カメラユニットから取り出した SD カードをリーダーライターに接続する

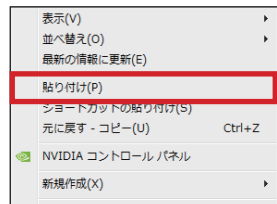


3-3 リムーバブルディスクを開き、[PCSW] フォルダ上で右クリックし、[コピー]を選択する



3-4 デスクトップ上で右クリックし、 [貼り付け]を選択する

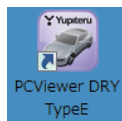
デスクトップに [PCSW] のフォルダ
がコピーされます。



4. 専用ビューアソフトを起動する

4-1 デスクトップにある [PC Viewer DRY TypeE] アイコンをクリック する

専用ビューアソフトが起動します。



※ 専用ビューアソフトをインストールする
際、デスクトップ上にアイコンを作成で
きます。

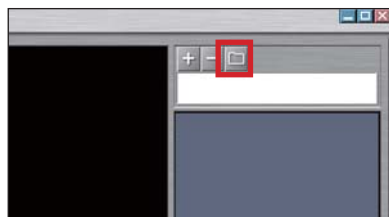
☛ P.172「手順 2-9」

・専用ビューアソフトの詳細は …

☛ P.176「専用ビューアソフト」

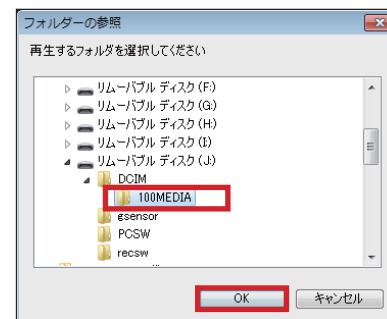
5. 録画ファイルを再生する

5-1 (フォルダを再生リストに読 込) をクリックする



5-2 接続した SD カードの再生したい フォルダを選択し、[OK] をクリッ クする

選択したフォルダの録画ファイルを
読み込みます。



・フォルダ名について

常時録画 …「DCIM」→「100MEDIA」フォルダ
G センサー記録 …「gsensor」フォルダ
ワンタッチ記録 …「recsw」フォルダ

※ 常時録画は「100MEDIA」フォルダを選
択してください。「DCIM」フォルダを選
択しても録画ファイルを読み込むことが
できません。

5-3 再生したい録画ファイルをダブル クリックする

選択した録画ファイルが再生します。



・専用ビューアソフトの詳細は …

☛ P.176「専用ビューアソフト」

6. 専用ビューアソフトを終了する

6-1 専用ビューアソフト右上の [X] をクリックする

専用ビューアソフトが終了します。



専用ビューアソフト

専用ビューアソフトでは、映像の再生や自車位置、G センサーグラフ等を表示できます。

※ 専用ビューアソフトのインストールは P.169「専用ビューアソフトをインストールする」を参照ください。
※ 自車位置の表示にはインターネット接続環境が必要です。

1. 専用ビューアソフトの画面について



<標準表示>



<全画面表示>

No.	表示名	表示の意味	
①	表示エリア	選択した録画ファイルの映像を表示します。	
②	タイムライン	クリック位置から再生できます。	
③	ファイルコントロール	1 ファイルを開く	録画ファイルを 1 ファイル開いて再生します。 ※ 「1 ファイルを開く」を行っても、再生リストには追加されません。
		停止	再生中の録画ファイルを停止します。
		再生 / 一時停止	録画ファイルを再生 / 一時停止します。 ※ 再生リストに複数の録画ファイルがある場合、連続して再生します。
		ウィンドウサイズ切替	映像の全画面表示 / 標準表示を切り替えます。
		静止画変換	再生中、一時停止中の映像から静止画 (JPEG ファイル) に変換して保存します。
		1 フレーム再生	クリック毎に 1 フレーム進めた映像を表示します。
④	G センサーグラフ	録画ファイルに埋め込まれている G センサーデータを X 軸、Y 軸、Z 軸でグラフ表示します。	
⑤	プログラム	最小化	ウィンドウを最小化します。
		最大化 元に戻す	ウィンドウを最大化 / 元に戻します。
		閉じる	ソフトウェアを終了します。
⑥	再生リストの操作	ファイルを再生リストへ追加	再生リストに 1 ファイル追加します。
		ファイルを再生リストから削除	再生リストから 1 ファイル削除します。 ※ 再生リストから削除しても SD カード内の録画ファイルは削除されません。
		フォルダを再生リストに読み込み	再生リストに、フォルダ単位で録画ファイルを読み込みます。
⑦	再生リスト	録画ファイルのファイル名と録画終了日時 (年月日と時分秒) を表示します。 ※ ファイル名の詳細は P.179 を参照ください。	
⑧	地図表示	読み込まれた映像は Google Maps に連動して自車位置が移動します。 ※ インターネットに接続されていないと、地図 (Google Maps) は表示されません。	
⑨	走行速度表示	GPS で記録した走行速度を表示します。 ※ GPS データがない場合は変化しません。	
⑩	ファイル情報	表示している画面の緯度・経度・高度・加速度 (X・Y・Z) を表示します。	

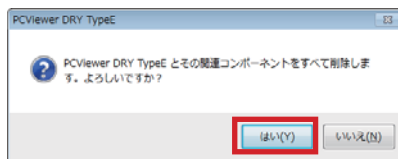
2. 専用ビューアソフトをアンインストールする

専用ビューアソフトが不要になった場合、以下の方法でパソコンから削除できます。

2-1 スタートメニューの [PC Viewer
DRY TypeE] から、[PC Viewer
DRY TypeE Uninstall] を選択する

2-2 [はい]をクリックする

アンインストールを開始します。



2-3 [OK] をクリックする

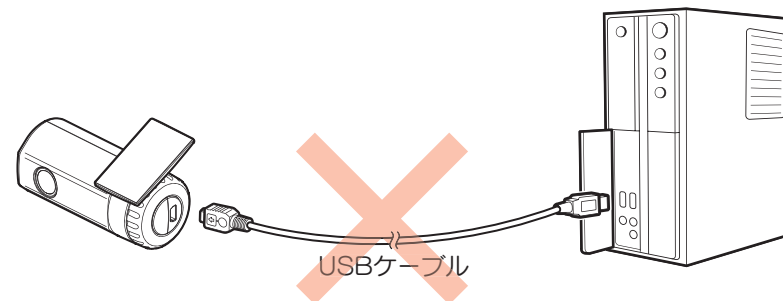
アンインストールが完了します。



録画ファイルの読み出しについて

本機で録画した映像は、通常のコピーと同様にパソコンで扱うことができます。下記の仕様を満たしたパソコンで再生することができます。

OS : Microsoft Windows 7 または 8
CPU: Core2Duo 相当、2.0GHz 以上
メモリ : 2GB 以上



- ※ 本機とパソコンを、直接 USB ケーブルなどで接続しないでください。
本機から SD カードを取り出して、SD カードをパソコンと接続してください。
- ※ 推奨環境のすべてのパソコンについて動作を保証するものではありません。
- ※ 再生する動画の種類によっては処理能力が高いパソコンが必要になります。お使いになるパソコン環境によっては正しく再生されなかったり、正しく動作しない場合があります。
- ※ CPU やメモリが動作環境に満たない場合、再生時の動作が遅くなることがあります。
- ※ ご使用の SD カード容量に対応していない SD カードリーダーライターを使用した場合、SD カード内のファイルが破損することがあります。

■ ファイル名について

ファイル番号は、記録した順に本機で自動設定されます。

例 08201234 _ 0001 . mov — 動画

—ファイル番号

—記録日時(記録した月、日、時間)

■ フォルダ構造について

各ファイルは、下記のフォルダ構造で保存されています。

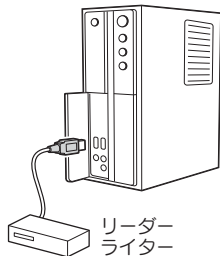
```

SD カード ──┬── DCIM ─── 100MEDIA ─── 08201234_0001.mov
              │      │
              │      └── gsensor ─── 08201305_0001.mov
              │
              └── recsw ─── 08201423_0001.mov

```

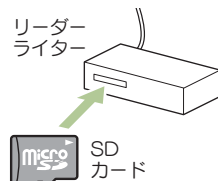
1. SD カードを直接パソコンと接続する

1-1 リーダーライターをパソコンに接続する

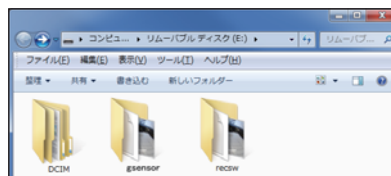


※ SD カードを直接接続できるパソコンの場合は、リーダーライターを接続する必要はありません。

1-2 SD カードをリーダーライターに接続する

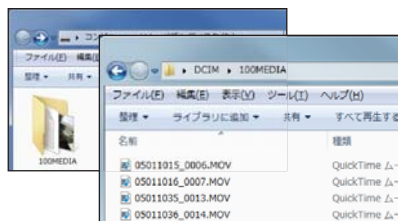


1-3 SD カードを開き、再生したいファイルがあるフォルダを開く



- ・常時録画・・・
「DCIM」フォルダ→「100MEDIA」フォルダを開いてください。
- ・G センサー記録・・・
「gsensor」フォルダを開いてください。
- ・ワンタッチ記録・・・
「recsw」フォルダを開いてください。

1-4 録画ファイルをダブルクリックする



- ・Windows 標準の Windows Media Player で再生することができます。

故障かなと思ったら

修理をご依頼になる前に、もう 1 度次のことをご確認ください。それでも異常や故障と思われるときは、お買い上げの販売店、または弊社ご相談窓口にご相談ください。

電源が ON にならない

- 電源スイッチが ON になっていますか。

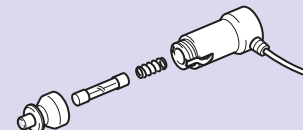


- 電源直結コードが外れていませんか。

- 同梱品の SD カードアダプタ(SD カード)を装着していますか、または抜けていませんか。

本機は同梱品の SD カードアダプタ(SD カード)が入っていないと起動しません。

- シガープラグコード内部のヒューズが切れていないか確認してください
切れている場合は、同じ容量の新しいヒューズと交換してください。



※コードの種類によって、ヒューズが違います。
➡ P.26 ~ 27

- シガーライターソケットの内部が汚れて、接触不良をおこしていませんか。
2 ~ 3 回左右にひねりながらシガーライターソケットに差し込み直してください。



※初めて OBD II アダプター (OBD12-MⅢ、OBD-HVTM) を車両に取り付ける場合は、本機の起動に数分かかることがあります。

電源が OFF にならない

- シガーライターソケットの電源が、イグニッションの ON/OFF と連動していない車両があります。

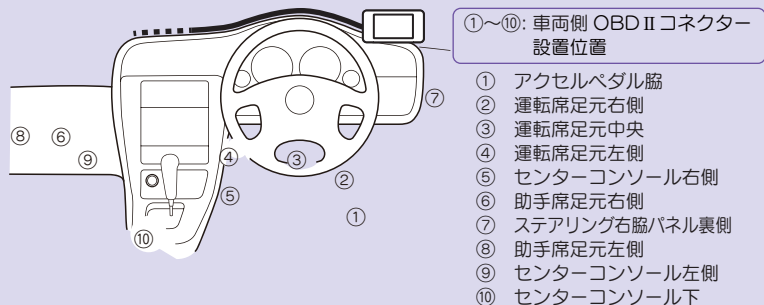
本機の電源スイッチで電源を OFF にしてください。

- OBD II アダプター取り付け時はイグニッションの OFF から本機の電源が OFF になるまでに数秒から数十秒かかります。

OBD II アダプターで接続した場合は、本機の電源スイッチで電源を OFF にしないでください。

OBID II 接続中に突然電源が OFF になった

OBID II アダプターのコネクターが外れていないか確認してください。
車両の振動等によってコネクターが緩むことがあります。



何も表示しない

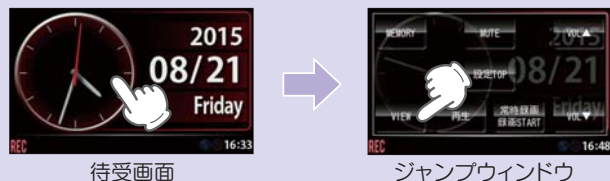
□ 「マナーモード」になっていませんか。

画面をタッチしてジャンプウィンドウを表示させ、[VOL ▲] をタッチして解除してください。



□ 待受画面の設定が「OFF」ではありませんか。

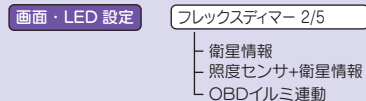
待受画面をタッチしてジャンプウィンドウを表示させ、[VIEW] をタッチして待受画面を変更してください。



画面が常に暗い

フレックスディマーの設定で「照度センサ+衛星情報」に設定していませんか。

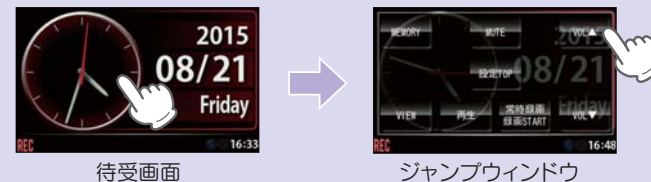
設置場所によっては常にフレックスディマーが作動する場合があります。その場合は、取付場所を変更するか設定を「衛星情報」にしてご使用ください。(P.127)



音が出ない

音量「0」になっていませんか。

待受画面をタッチしてジャンプウィンドウを表示させ、[VOL ▲] をタッチして調節してください。



レーダー警告しない

□ 電源が入っていましたか。



□ 取締りレーダー波が発射されていましたか。

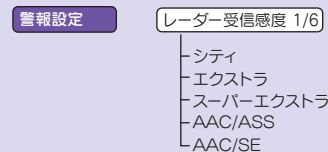
計測する瞬間だけ電波を発射するステルス型や、取締り準備中あるいは終了後などで、スピード測定装置から取締りレーダー波が発射されていないことがあります。



□ マイキャンセル登録したエリアではありませんでしたか。

□ アイキャンセルされていませんか。

□ 受信感度モードが「AAC/ASS」または「AAC/SE」の場合、時速 30 km 未満のときは警告しません。(P.124)



□ 「マナーモード」になっていませんか。

画面をタッチしてジャンプウィンドウを表示させ、[VOL ▲] をタッチして解除してください。



GPS 警報しない

- ☐ GPS 測位していましたか。
- ☐ 新たに設置されたオービスなどのターゲットではありませんか。

取締りもしていないのに警報機能がはたらく

取締りレーダー波と同じ電波が他にも使用されています。それらの電波を受信すると警報機能がはたらくことがあります。故障ではありませんので、ご了承ください。

取締りレーダー波と同じ電波を使用している主な機器

電波式の自動ドア、防犯センサー / 信号機の近くに設置されている車両通過計測器 / NTTのマイクロウェーブ通信回路の一部 / 気象用レーダー、航空レーダーの一部 / 他のレーダー探知機の一部
まれに他の無線機の影響を受けることがあります。その場合は取り付け位置を変えてみてください。

警報の途中で警報音が小さくなる

レーダー波の受信が約 30 秒以上続くと、警報音が小さくなります。
(オートクワイアット)(☛ P.76)

一般道を走行中に高速道のターゲットを GPS 警報する

- ☐ 「道路選択」の設定を「オール」でご使用の場合は、一般道と高速道の両方のターゲットを警報します。(☛ P.121)

警報設定

道路選択 2/6

- 一般道
- 高速道
- オール
- オート気圧なし
- オート気圧あり

- ☐ 一般道と高速道が並行していたり、交差している場所およびその周辺などで走行道路の識別が困難な状況では、一般道 / 高速道の両方のターゲットを表示・警報することがあります。
- ☐ ハイウェイオアシスは、「一般道」に設定された場合も GPS 告知されます。

ひんばんに無線警報する

放送局や無線中継局、携帯電話の基地局などが近くにある場合、強い電波の影響や周囲の状況により、受信状態になることがあります。また、取り付けた車両やカーナビの画面、カーオーディオなどから強い電波が放射している場合があります。

地図にズレがでる

- ☐ GPS 測位していましたか。
障害物や遮蔽物の無い、視界の良い場所へ移動してみてください。
- ☐ マーク・名称が重なって表示されることがありますが、故障ではありませんので、ご了承ください。

取締り現場なのに 350.1MHz を受信しない

- ☐ 「取締無線」を「ON」に設定していませんか。(☛ P.122)

モード設定

マニュアル → 無線

無線設定 1/2



- 受信感度 HI / LO
- カーロケ ON / OFF
- 取締 ON / OFF
- デジタル ON / OFF
- 特小 ON / OFF
- 警活系 ON / OFF
- 警察電話 ON / OFF
- 警察活動 ON / OFF

- ☐ 取締り現場での連絡が無線方式で行われていましたか。
連絡には 350.1MHz の電波を使った無線方式の他に、有線方式の場合もあります。

誤警報がキャンセルされない

- ☐ 「アイキャンセル」の設定は「ON」になっていましたか。(☛ P.121)

モード設定

マニュアル → レーダー

レーダー設定



- アイキャンセル ON / OFF
- キャンセルサウンド ON / OFF
- 反対キャンセル ON / OFF

- ☐ スペシャルモードになっていませんか。
スペシャルモードは「アイキャンセル」の設定を「ON」にできません。



- ☐ GPS 測位していましたか。
- ☐ 新 H システムやレーダー式オービスが近くにありませんでしたか。
- ☐ 取締りエリア、またはマイエリア登録したエリアではありませんか。

速度表示が車両の速度計と異なる

車両の速度計は、実際より数値が高く表示される(プラス誤差)傾向があります。
※OBDII接続の場合でも車両の速度計とは一致しません。
※補正機能はありません。

OBID II 接続時に表示される待受画面の一部が表示されない

車種によって、待受画面の一部の項目が表示されない場合があります。
(車種別の適応については、販売店または弊社ホームページでご確認ください。)



例えば、リアエンジンが無い車種では
リアエンジンに関する項目は表示されません。

OBID II 接続時にスロットル開度が、アイドリング中でも 0%にならない

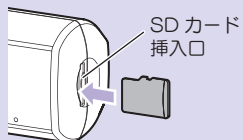
車種によって、「スロットル開度」はエンジンがアイドリング状態でも表示が 0%にならないことがあります。

OBID II 接続時に待受画面の項目の内容が、車両のメーターと異なる

車種によって、表示する内容は純正メーターの数値やタイミングと異なる場合があります。

映像が記録できない

□ SDカードが正しく挿入されていますか。



□ 保護したファイルでSDカードがいっぱいになっていませんか。

保護したファイルは、上書きできません。保護を解除する
(●P.166)か、SDカードをフォーマットする(●P.52)こ
とで録画ファイルをすべて削除することができます。
保護したファイルには、再生モード(●P.163)のファイル
選択画面上で (🔒) アイコンを表示します。



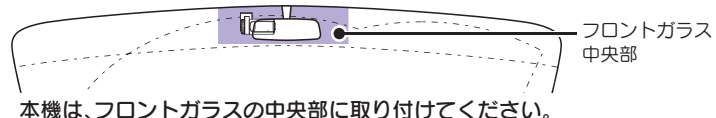
<ファイル選択画面>

Start information がうまく働かない

□ 本機の取り付け位置を確認してください。

Start informationは、前方の車両を認識してお知らせを行います。
前方車両を正しく認識できない位置に本機を設置すると、Start informationがうまく働かない
場合があります。

■ Start information 使用時の取付位置について



□ 解像度を確認してください。

解像度が「1080P HD(HDR) 30FPS」(初期値)または「1080P HD 30FPS」設定時のみ有効です。
解像度を「3M」、「720P 60FPS」、「720P 30FPS」のいずれかに設定した場合、レーンキープア
シストと前方衝突防止アラートを「ON」に設定していても、お知らせを行いません。

レーンキープアシストや前方衝突防止アラートがうまく働かない

□ AS設定を確認してください。

レーンキープアシストと前方衝突防止アラートは、設定が必要です。「設定メニュー」→「AS設定」
から設定を行います。(●P.53「レーンキープアシストと前方衝突防止アラートの設定を行う」)
設定では、本機画面内の白線と道路の白線が重なるように合わせてください。

・ 良い見本

道路上の白線と本機画面内の白
線が重なっている



・ 悪い見本

道路上の白線と本機画面内の白
線がずれている



□ GPS測位していましたか。

レーンキープアシストや前方衝突アラートはGPSを
測位した状態で機能します。GPS測位の状態はメッ
セージウィンドウの時計表示で確認できます。

14 34

測位できない時
時計表示が白

16:48

測位している時
時計表示が白

□ 時速60km未満ではないですか。

一般道は60km以上でレーンキープアシスト機能や前方衝突アラートは作動します。

イベント記録ファイルが生成されない

□ イベント記録中に電源OFFしていませんか。

イベント記録中に電源OFFした場合は、見えないファイルや壊れた状態のファイルとなる場合が
ありますが、再度電源ONすると修復されます。
(●P.90「イベント記録」(Gセンサー記録とワンタッチ記録))

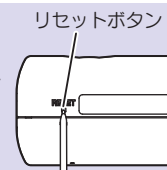
■ リセットボタンについて

画面が固まって
動かない

こんなときは

ボタンを押しても
反応しない

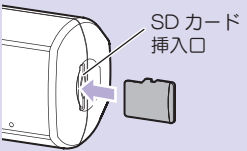
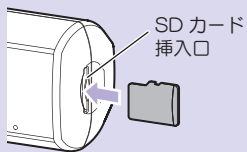
リセットボタンを押して
再起動してください。



動作しなくなったり、誤作動を起こしたときは、本体下部のリセットボタンを押して、
システムを再起動させてください。

※ リセットボタンを押しても SD カードに記録したデータは消えません。

エラー表示一覧

エラーメッセージ	対処方法
SDカードを挿入して下さい (SDカードを挿入して下さい)	☐ SDカードが正しく挿入されていますか。 
SDカードエラー (SDカードエラー)	☐ SDカードの容量は、下記の対応範囲内ですか。 ・記録媒体：microSDHC カード ・容量：4 ～ 32GB ・SD スピードクラス：Class 10 以上 ☐ SDカードが正しく挿入されていますか。  ☐ 本機でSDカードをフォーマットしてください。 フォーマットを行うと、保護したファイルも全て削除されます。 必要に応じて録画ファイルをパソコンなどにバックアップしてから、本機でフォーマットしてください。 (●P.52[SD カードをフォーマットする]) 
SDカードがいっぱいです (SDカードがいっぱいです)	☐ 上書きモードが「上書き禁止」になっていませんか。 上書きモードを「上書き禁止」に設定した場合、常時録画がSD カード容量の上限に達すると、録画を停止します。 上書きモードの設定は、「DR 設定」→「上書きモード」で確認できます。 (●P.157[「上書きモード」設定項目の説明]) ☐ 保護したファイルでSDカードがいっぱいになっていませんか。 保護したファイルは、上書きできません。保護を解除する(●P.166)か、SDカードをフォーマットする(●P.52)ことで録画ファイルをすべて削除することができます。  <ファイル選択画面> 保護したファイルには、再生モード(●P.163)のファイル選択画面上で🔒アイコンを表示します。

エラーメッセージ

対処方法

イベント領域がいっぱいです
 (イベント領域がいっぱいです)

- ☐ 上書きモードが「上書き禁止」または「常時録画上書き」になっていませんか。
 上書きモードを「上書き禁止」または「常時録画上書き」に設定した場合、イベント記録が最大記録件数に達すると、イベント記録を停止します。
 上書きモードの設定は、「DR 設定」→「上書きモード」で確認できます。
 (●P.166[「上書きモード」設定項目の説明])

- ☐ 保護したファイルで最大記録件数に達していませんか。

保護したファイルは、上書きできません。保護を解除する(●P.166)か、SDカードをフォーマットする(●P.52)ことで録画ファイルをすべて削除することができます。



<ファイル選択画面>

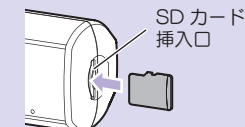
保護したファイルには、再生モード(●P.163)のファイル選択画面上で🔒アイコンを表示します。

SDカードの初期化に失敗しました
 (SDカードの初期化に失敗しました)

- ☐ SDカードの容量は、下記の対応範囲内ですか。

・記録媒体：microSDHC カード
 ・容量：8 ～ 32GB
 ・SD スピードクラス：Class 10 以上

- ☐ SDカードが正しく挿入されていますか。



- ☐ 他の機器で認識することができるかを確認してください。

本機からSD カードを取り外し、パソコンなどの機器に接続して、SD カードが認識できるか確認してください。

ファイルを消去できませんでした
 (ファイルを消去できませんでした)

- ☐ パソコンなどで録画ファイルを削除してください。

本機で削除できない場合、パソコンなどで録画ファイルを削除してください。
 (●P.179[録画ファイルの読み出しについて])

- ☐ 本機でSDカードをフォーマットしてください。

フォーマットを行うと、保護したファイルも全て削除されます。
 必要に応じて録画ファイルをパソコンなどにバックアップしてから、本機でフォーマットしてください。
 (●P.52[カメラユニット用SD カードをフォーマットする])



DR接続エラー
 (DR接続エラー)

- ☐ ドライブレコーダー接続ケーブルを確認してください。
 ドライブレコーダーが外れていないか確認をしてください。

仕様	
電源電圧	DC12V(マイナスアース車専用)
消費電流	待機時：600mA 以下（無線 OFF 時） 最大：700mA 以下
受信方式	[GPS 部] 32 チャンネル / パラレル受信方式 [レーダー部] スイープオシレーター式ダブルスーパーヘテロダイン方式
測位更新時間	最短 0.5 秒
ディスプレイユニット	液晶ディスプレイ ワイド 3.0 インチ
受信周波数	[GPS 部] 1.6GHz 帯 [レーダー部] Xバンド / Kバンド [UHF 部] 336 ～ 470MHz 帯 [VHF 部] 154 ～ 163MHz 帯
カメラ素子	400 万画素カラー CMOS
視野角※ ¹	レンズ画角：対角 144° 最大記録画角：対角 135°（120°（水平）、68°（垂直））
記録解像度	300 万画素
画像サイズ	3M(2304 × 1296)/1080P HD(1920 × 1080)/720P(1280 × 720)
画質	HDR(ハイ ダイナミック レンジ) ※「解像度：1080P HD(HDR) 30FPS」
録画ファイル構成	常時録画：1 分単位 イベント記録（ワンタッチ記録、G センサー記録）：40 秒単位
カメラユニット用 記録媒体	microSD カード (8GB 同梱)
記録形式	MOV(H.264)
フレームレート	3M、1080P HD：30 コマ / 秒 720P：60、30 コマ / 秒
動作温度範囲	－ 20℃～＋ 85℃ 無線部：－ 10℃～＋ 60℃ カメラユニット：0℃～＋ 60℃
外形寸法	ディスプレイユニット：97(W)× 53(H)× 14(D)mm カメラユニット：80(W)× 35(Φ)mm ジャンクションユニット：49(W)× 49(H)× 12(D)mm アンテナユニット：61(W)× 21(H)× 49(D)mm ※各ユニット突起部を除く
重量	ディスプレイユニット：約 138g(接続ケーブル、SD カード含む) カメラユニット：約 66g(ブラケット含む) ジャンクションユニット：約 24g(接続ケーブル含む) アンテナユニット：約 107g(接続ケーブル含む)

※ 1：解像度により記録される視野角が変化します。
超広角レンズのため、視野角の水平、垂直と対角の比率は異なります。

・この説明書に記載されている各種名称・会社名・商品名などは各社の商標または登録商標です。
なお、本文中では TM、® マークは明記していません。

カメラユニット用 microSD カード対応一覧表

※ 本機と同梱品以外の microSD カードとの相性による動作の不具合については保証いたしかねます。

記録媒体	microSDHC カード
容量	8 ～ 32GB
SD スピードクラス	Class 10 以上

※ スピードクラスとは、連続的な書き込みに関する速度規格です。

1. 録画時間の目安

microSD カード 容量	3M	1080P HD (HDR)	1080P HD	720P 60FPS	720P 30FPS
32GB	約 220 分	約 260 分	約 280 分	約 280 分	約 560 分
16GB	約 110 分	約 130 分	約 140 分	約 140 分	約 280 分
8GB(同梱品)	約 55 分	約 65 分	約 70 分	約 70 分	約 140 分

- ・上記値は目安で、絶対保証値ではありません。
- ・録画時間は、常時録画とイベント記録（G センサー記録とワンタッチ記録）の全ての録画時間の合計です。

・お使いの状況、被写体や周囲環境などの要因、解像度（☛ P.158）により録画可能時間は変化します。

2. イベント記録の最大記録件数

microSD カード 容量	3M	1080P HD (HDR)	1080P HD	720P 60FPS	720P 30FPS
32GB	32 件	32 件	32 件	32 件	32 件
16GB	16 件	16 件	16 件	16 件	16 件
8GB(同梱品)	8 件	8 件	8 件	8 件	8 件

- ・最大記録件数は、G センサー記録とワンタッチ記録を合わせた件数です。

取扱説明書は随時更新されます。最新版の取扱説明書は当社ホームページにてご確認ください。
<http://www.yupiteru.co.jp/>

地図データベースについて

背景地図(Top,Middle,Base)

- ・この地図の作成に当たっては、一般財団法人日本デジタル道路地図協会発行の全国デジタル道路地図データベースを使用しました。(測量法第 44 条に基づく成果使用承認 < 07-125P >) [2014 年 3 月発行データ使用]
- ・©2009-2014 (一般財団法人) 日本デジタル道路地図協会
- ・©2014 INCREMENT P CORP.

詳細背景地図(City)

- ・この地図は小田原市長の承認を得て、同市発行の 1/2,500 国土基本図を使用したものである。(承認番号) 小田原市指令第 52 号
- ・この地図は、養老町長の承認を得て、同町所管の 2500 分の 1 都市計画図を使用したものである。平成 12 年 養建第 1902 号
- ・この地図は、貴志川町長の承認を得て同町発行の 1/2,500 全図を使用し、調整したものである。(承認番号) 平 10. 近公. 第 34 号
- ・この地図の作成に当たっては、知多市長の承認を得て、同市発行の 2,500 分の 1 都市計画基本図を使用したものである。(測量法第 44 条に基づく成果使用承認 平成 12 年度 知都発第 170 号)
- ・この地図は大木町長の承認を得て、同町発行の 5,000 分の 1 の地形図を使用し調整したものです。
- ・この地図は、堀金村長の承認を得て 1/2,500 の都市計画図を参照して作成したものです。
- ・この地図は東近江市長の承認を得て、同市発行の地形図 1/2,500 を使用し、調製したものである。(承認番号 東開第 111 号 平成 18 年 2 月 28 日承認)
- ・この地図は、伊香保町長の承認を得て平成 7 年度作成の 10,000 分の 1 の白図を使用し、調整したものです。(承認番号 伊建農発 229 号 平成 17 年 7 月 14 日承認)
- ・この地形図は、東京都都市整備局および東京デジタルマップの東京都縮尺 1/2500 地形図を使用して作成したものである。(承認番号 :18 東テ共 041 号)
- ・この地図は、東京都知事の承認を受けて、東京都縮尺 2,500 分の 1 の地形図を使用して作成したものである。(承認番号) 18 都市基交 第 478 号
- ・この地図は、津山市長の承認を得て、同市所管の測量成果津山市都市計画 (1/2,500) を使用して調整したものです。(承認番号 平成 17 年津山市使用承認第 5 号)
- ・この地図は、宇部市長の承認を得て平成 13 年作成の宇部市域図を使用したものである。(承認番号) 指令宇都第 13 号 平成 18 年 5 月 15 日承認
- ・この地図は、宇部市長の承認を得て平成 13 年作成の宇部市域図を使用したものである。(承認番号) 指令宇都第 14 号 平成 18 年 5 月 31 日承認
- ・この地図は、周防大島町長の承認を得て、周防大島町管内図を使用したものである。
- ・この地図は、東かがわ市長の承認を得て、同市所管の測量成果である東かがわ市地形図 1/10,000 及び東かがわ市都市計画図 1/2,500 を使用して調整したものである。(承認番号平成 18 年 5 月 2 日 18 建第 107 号)
- ・この測量の成果は、東温市長の承認により、平成 17 年 3 月作成の東温市都市計画図を使用して得たものである。(承認番号 H18 東温都第 174 号)
- ・この地図は秋田県知事の承認を得て森林基本図を複製したものである。承認番号 平成 19 年 3 月 7 日 指令水緑 -1258
- ・この地図は、山形県の森林基本図を複製したものである。承認番号森第 18-10 号
- ・この地図は長岡市長の承認を得て、同市所管の地形図 1/10,000 を使用して調整したものである。(長都政第 477 号 平成 18 年 3 月 28 日承認)
- ・この図面は山梨県が作成した測量成果をもとに作成したものです。使用承認 平成 19 年 3 月 1 日 森整第 1561 号
- ・この地図は、長野県知事の承認を得て、長野県森林基本図を使用して作成したものである。(承認番号 18 森政第 5-5 号)
- ・この地図は島根県が作成した森林基本図 1:5,000 を原図とし、島根県知事の承認を得て使用したものである。(承認番号 平成 18 年 11 月 24 日付け森第 1286 号)
- ・この地図は島根県が作成した森林基本図 1:5,000 を原図とし、島根県知事の承認を得て使用したものである。(承認番号 平成 19 年 2 月 27 日付け森第 1736 号)
- ・この地図は、長崎県知事の承認を得て、長崎県森林基本図 (1/5,000) を使用し調製したものである。承認番号 18 林第 492 号 (平成 18 年 10 月 6 日)
- ・この地図は、熊本県知事の承認を得て 5,000 分の 1 の森林地形図を複製したものである。(承認番号 森整第 993 号・平成 19 年 2 月 14 日)
- ・この地図は、熊本県知事の承認を得て 5,000 分の 1 の森林地形図を複製したものである。(承認番号 森整第 1079 号・平成 19 年 3 月 7 日)
- ・この地図は、大分県知事の承認を得て、5,000 分の 1 森林基本図を使用し、調整したものである(承認番号林 18-1 平成 18 年 12 月 5 日)
- ・この地図は、大分県知事の承認を得て、5,000 分の 1 森林基本図を使用し、調整したものである(承認番号林 18-2 平成 19 年 3 月 7 日)
- ・この地図は宮崎県知事の承認を得て 5000 分の 1 森林基本図を使用し、調製したものである。(承認番号 使 18-1 号 平成 18 年 12 月 8 日)
- ・この地図は宮崎県知事の承認を得て 5000 分の 1 森林基本図を使用し、調製したものである。(承認番号 使 18-3 号 平成 19 年 3 月 8 日)
- ・この地図の作製に当たっては、鹿児島県知事の承認を得て、5 千分の 1 森林基本図を使用したものである。(承認番号 平 18 林振第 360 号)
- ・この地図は、知覧町長の承認を得て、同町発行の 1/5,000 全図を使用し、調製したものである。(承認番号) 平成 18 年 5 月 26 日知耕第 590 号

- ・この地図の作成にあたっては、茨城県林政課作成の 5 千分の 1 森林基本図を使用しました。(測量法第 44 条第 3 項の規定に基づく成果使用承認 平成 19 年 8 月 8 日付、承認番号 林政 19-482 号、茨城県林政課長)
- ・この地図は秋田県知事の承認を得て森林基本図を複製したものである。(承認番号 平成 18 年 11 月 30 日 指令水緑 -947)
- ・この地図は、笛吹市長の承認を得て同市発行の 10000 分の 1 の全図を使用し、作成したものである。(承認番号 笛まち第 12-25 号 平成 19 年 12 月 13 日承認)
- ・この成果品は、高知県が作成した測量成果を、高知県知事の承認を得て使用し作成したものである。(承認番号 平成 19 年 2 月 14 日付け 18 高森推第 568 号)
- ・この地図の作成に当たっては、鹿児島県知事の承認を得て、5 千分の 1 森林基本図を使用したものである。(承認番号 平 19 林振第 404 号)
- ・この地図データの一部は、小樽市長の承認を得て、同市が作成した平成 19 年度臨港道路竣工平面図を複製したものである。(承認番号) 平 21 樽港事第 33 号
- ・この地図は、森林計画室長の承認を得て静岡県作成の 5000 分の 1 の森林基本図を複製したものである。(承認番号) 平成 21 年森計第 477 号
- ・この地図の作成に当たっては、鹿児島県知事の承認を得て、5 千分の 1 森林基本図を使用したものである。(承認番号 平 18 林振第 497 号)
- ・この地図は、東根市長の承諾を得て同市保管の東根市道路台帳図を使用し、調整したものである。(承認番号 東建収第 8 号 平成 21 年 5 月 27 日承認)
- ・この地図は幕別町長の承認を得て、同町発行の 2 千 5 百分の 1 幕別町現況図を使用し、調整したものである。(承認番号) H22 幕都計第 185 号
- ・この地図は、国土地理院長の承認を得て、同院の技術資料 H・1 - No.3「日本測地系における離島位置の補正量」を利用し作成したものである。(承認番号 国地企調第 180 号 平成 22 年 9 月 28 日)
- ・この地図の作製に当たっては、鹿児島県知事の承認を得て、5 千分の 1 森林基本図を使用したものである。(承認番号 平 19 林振第 246 号)
- ・この地図は、田原市長の承認を得て、同市発行の都市計画図を使用して作成したものである。(承認番号)23 田街第 55 号
- ・この地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の災害復興計画基図を使用した。(承認番号 平 24 情使、第 199 号 -55 号)
- ・このデータは、国土地理院長の承認を得て、同院の「小笠原諸島西之島周辺の正射画像 (平成 26 年 3 月 22 日撮影)」を利用して作成したものである。(承認番号 国地企調第 89 号 平成 26 年 6 月 13 日)
- ・この地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の 5 千分の 1 国土基本図を使用した。(承認番号 平 26 情使、第 74 号 -55 号)
- ・この地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の基盤地図情報を使用した。(承認番号 平 26 情使、第 163 号 -55 号)
- ・©2014 INCREMENT P CORP.

道路ネットワーク

- ・この地図の作成に当たっては、一般財団法人日本デジタル道路地図協会発行の全国デジタル道路地図データベースを使用する。(測量法第 44 条に基づく成果使用承認 < 07-125P >) [2014 年 3 月発行データ使用]
- ・©2009-2014 (一般財団法人) 日本デジタル道路地図協会
- ・©2014 INCREMENT P CORP.

アフターサービス

- 保証書(裏表紙参照)
保証書は、必ず「販売店・お買い上げ年月日」をご確認のうえ、保証内容をよくお読みになって、大切に保管してください。
 - 保証期間
お買い上げの日から 1 年間です。
 - 対象部分機器
本体(消耗部品は除く)
 - 修理をご依頼されるとき
「故障かな?と思ったら」で確認しても、なお異常があると思われるときは、機種名(品番)、氏名、住所、電話番号、購入年月日、保証書の有無と故障状況をご連絡ください。ご転居ご贈答品等で本保証書に記入してあるお買い上げの販売店に修理をご依頼できない場合には、お客様ご相談センターへご相談ください。
 - 保証期間中のとき
保証書の「故障内容記入欄」にご記入いただき、お買い上げの販売店まで、保証書とともに、機器本体をご持参ください。
保証書の内容に従って修理いたします。
 - 保証期間が過ぎているとき
まず、お買い上げの販売店にご相談ください。修理によって機能が維持できる場合は、ご要望により有料修理いたします。
- ※ 点検や修理の際、履歴や登録したデータが消去される場合があります。
※ 修理期間中の代替機の貸し出しは行っておりません。あらかじめご了承ください。

お客様ご相談センター

お問い合わせの際は、使用環境、症状を詳しくご確認のうえ、お問い合わせください。
下記窓口の名称、電話番号、受付時間は、都合により変更することがありますのでご了承ください。
電話をおかけになる際は、番号をお確かめのうえ、おかけ間違いのないようご注意ください。
紛失等による同梱品の追加購入や別売品の購入につきましては、お買い上げの販売店にご注文ください。

受付時間 9:00 ~ 17:00 月曜日~金曜日(祝祭日、年末年始等、当社指定期間を除く)

故障相談や取扱方法に関するお問い合わせ

0120-998-036

ity.クラブやデータ更新に関するお問い合わせ

0120-958-955

※ 本機は、「レーダー探知機」の製品になります。お問い合わせする際は、ご注意ください。

大メーター

プリセット画面内で大メーターとして選択できる項目です。

カテゴリ	No.	メーターの種類	メーターの内容
時計	1	時計	時刻を表示します。
カレンダー	2	カレンダー	年月日、曜日を表示します。
速度 加速度	3	速度 0-180km/h	180km/h がメーター最大値で速度を表示します。 白針：速度、赤針：最高速度 付加情報：①平均速度、②最高速度
	4	速度 0-240km/h	240km/h がメーター最大値で速度を表示します。 白針：速度、赤針：最高速度 付加情報：①平均速度、②最高速度
	5	加速度	加速度待受の左側と同様。
傾斜・方位	6	傾斜・方位	傾斜待受の左側と同様。
圧力	7	気圧	気圧を表示します。 付加情報：①最低気圧、②最高気圧
	8	インマニ圧 ※ 1 (OBDⅡアダプター要)	インマニ圧を表示します。(相対圧) 白針：インマニ圧、赤針：最大インマニ圧 付加情報：最大インマニ圧
	9	ブースト圧 ※ 1 (OBDⅡアダプター要)	ブースト圧を表示します。(相対圧) 白針：ブースト圧、赤針：最大ブースト圧 付加情報：最大ブースト圧
燃費 燃料	10	燃費 ※ 2 (OBDⅡアダプター要)	燃費を表示します。 白針：瞬間燃費、赤針：平均燃費 付加情報：①平均燃費、②今回燃費、③生涯燃費
	11	燃料 (OBDⅡアダプター要)	燃料流量を表示します。 白針：燃料流量、赤針：最大燃料流量 付加情報：①平均燃料流量、②最大燃料流量
温度	12	エンジン水温 (OBDⅡアダプター要)	エンジン冷却水の温度を表示します。 白針：エンジン水温、赤針：最高エンジン水温 付加情報：最高エンジン水温
	13	吸気温 (OBDⅡアダプター要)	吸気温度を表示します。 白針：吸気温、赤針：最高吸気温 付加情報：①最高吸気温

※ 1：この数値は 1 気圧に対しての相対値です。過給機を持たない車両では、圧力は 0 を超えません。
※ 2：消費燃料および移動距離から燃費を算出しているため、車両の燃費計と一致しない場合があります。
数値の補正はできません。

カテゴリ	No.	メーターの種類	メーターの内容
温度	14	外気温 (OBDⅡアダプター要)	外気温度を表示します。 白針：外気温、 赤針：最高外気温 付加情報：①最高外気温 ※ 車両によっては、センサーの位置により、車外の気温と異なる場合があります。
	15	エンジン油温 ※ 4 (OBDⅡアダプター要)	エンジン油温を表示します。 白針：エンジンオイル温度、 赤針：エンジンオイル最高温度
エンジン	16	スロットル開度 ※ 3 (OBDⅡアダプター要)	スロットル開度を表示します。 白針：スロットル開度、 赤針：最大スロットル開度 付加情報：①平均スロットル開度、②最大スロットル開度
	17	エンジン負荷 ※ 3 (OBDⅡアダプター要)	エンジン負荷を表示します。 白針：エンジン負荷、 赤針：最大エンジン負荷 付加情報：①平均エンジン負荷、②最大エンジン負荷
	18	回転数 0-4000rpm (OBDⅡアダプター要)	4000rpm がメーター最大値でエンジン回転数を表示します。 白針：回転数、 赤針：最高回転数 付加情報：①平均回転数、②最高回転数
	19	回転数 0-6000rpm (OBDⅡアダプター要)	6000rpm がメーター最大値でエンジン回転数を表示します。 白針：回転数、 赤針：最高回転数 付加情報：①平均回転数、②最高回転数
	20	回転数 0-8000rpm (OBDⅡアダプター要)	8000rpm がメーター最大値でエンジン回転数を表示します。 白針：回転数、 赤針：最高回転数 付加情報：①平均回転数、②最高回転数
その他	21	マップ	現在地の地図を表示します。小メーターが右側に並びます。 ヘディングアップ、ノースアップの切替と地図色、マップデザインは、「マップ」の「マップ詳細設定」に従います。 フォーカス移動、ズーム、2 マップ表示などはできません。 警報パネル、ミニレーダースコープ、道路名、地名は表示しません。
	22	レーダースコープ	レーダースコープを表示します。小メーターが右側に並びます。 スコープ色は変化しません。道路名、地名は表示しません。
	23	衛星情報	衛星情報待受の左側と同様。
	24	OFF	大メーターを表示しません。
	25	HV ※ 4 (OBDⅡアダプター要)	エンジン・モーター等の出力を表示します。 白針：HV システムパワー 赤針：モーターパワー (HV Fr モーターパワーと HV Rr モーターパワーを合わせた数値) 黄針：HV エンジンパワー 付加情報：HV 全電池量

※ 3：アイドリング中でも 0%にならない場合があります。
※ 4：別売品の OBDⅡアダプター(OBD-HVTM、OBD12-MⅢ (ハイブリッド車に装着時))装着時のみ選択できます。

中メーター

プリセット画面内で中メーターとして選択できる項目です。

カテゴリ	No.	メーターの種類	メーターの内容
時計	1	時計	時刻を表示します。 付加情報：日付、曜日
速度 加速度	2	速度	速度を表示します。 付加情報：①平均速度 [AVESPD]、②最高速度 [MAXSPD]
	3	加速度	前後加速度、左右加速度を表示します。 付加情報：①最大前進加速度 [MAXFWD]、 ②最大左右加速度 [MAXL/R]
エコ ドライブ	4	エコドライブ	エコドライブモニターを表示します。ポイントの増減により、 数秒間グラフの色が変化し、数字が点滅します。 acc：急加速、dec：急減速、idle：アイドリング、 esp：経済速度
傾斜・ 方位	5	傾斜	前後左右 30°の車両の傾斜を、玉の動きで表示します。 車両の回頭運動を検出しているとき、玉の中に車両が出現します。
	6	方位	車両の進行方向を、画面上方向として表示します。
圧力	7	気圧	現在の気圧を表示します。
	8	インマニ圧 ※ 1 (OBDⅡアダプター要)	インマニ圧を表示します。(相対圧) 圧力の状態によって、インジケータが変化します。 付加情報：最大インマニ圧 [MAXINM]
	9	ブースト圧 ※ 1 (OBDⅡアダプター要)	ブースト圧を表示します。(相対圧) 圧力の状態によって、インジケータが変化します。 付加情報：最大ブースト圧 [MAXBST]
リマイン ダー	10	リマインダー残日数	リマインダー通知までの残り日数が表示されます。リマインダーの登録が必要です。 項目：オイル、オイルエレメント、タイヤ、バッテリー
	11	リマインダー残距離 (OBDⅡアダプター要)	リマインダー通知までの残り距離が表示されます。リマインダーの登録が必要です。 項目：オイル、オイルエレメント、タイヤ、バッテリー
燃費・ 燃料	12	瞬間燃費 ※ 2 (OBDⅡアダプター要)	瞬間の燃費を表示します。 燃費の状態によって、インジケータが変化します。

※ 1：この数値は 1 気圧に対する相対値です。過給機を持たない車両では、圧力は 0 を超えません。
※ 2：消費燃料および移動距離から燃費を算出しているため、車両の燃費計と一致しない場合があります。
数値の補正はできません。

カテゴリ	No.	メーターの種類	メーターの内容
燃費・燃料	13	今回燃費 ※ 2 (OBDⅡアダプター要)	今回走行での平均燃費を表示します。 付加情報：最大今回燃費 [MAXAVE] ※ 1km 走行後より ※ 電源 ON ごとにリセットされます。
	14	平均燃費 ※ 2 (OBDⅡアダプター要)	OBDⅡアダプターで接続後の平均燃費を表示します。 ※ [OBD 設定]→[平均クリア]でリセットされます。
	15	一般道平均燃費 ※ 2 (OBDⅡアダプター要)	OBDⅡアダプターで接続後の平均燃費を表示します。 ※ [OBD 設定]→[平均クリア]でリセットされます。
	16	高速道平均燃費 ※ 2 (OBDⅡアダプター要)	OBDⅡアダプターで接続後の平均燃費を表示します。 ※ [OBD 設定]→[平均クリア]でリセットされます。
	17	生涯燃費 ※ 2 (OBDⅡアダプター要)	OBDⅡアダプターで接続後の平均燃費を表示します。 ※ [OBD]→[オールクリア]でのみリセットされます。 「平均クリア」ではリセットされません。
	18	移動平均燃費 ※ 2 (OBDⅡアダプター要)	直近 16km 区間での燃費を数値で、消費燃料をグラフで表示します。グラフは過去 16km 区間での消費燃料を表示し、2km ごとに更新されます。 付加情報：①最大移動平均燃費 [MAXMOV] ※ [OBD 設定]→[平均クリア]でリセットされます。
	19	燃料流量 (OBDⅡアダプター要)	燃料の流量を表示します。グラフは消費燃料の量を表し、データ受信ごとに更新されます。 燃料流量 0 が継続すると「Fuel Cut」の文字が流れます。
温度	20	エンジン水温 (OBDⅡアダプター要)	エンジン冷却水の温度を表示します。 付加情報：最高エンジン水温 [MAXENG]
	21	吸気温 (OBDⅡアダプター要)	吸気温度を表示します。 付加情報：最高吸気温度 [MAXITK]
	22	外気温 (OBDⅡアダプター要)	車両の外気温度を表示します。 付加情報：最高外気温 [MAXAMB] ※ 車両によっては、センサーの位置により、車外の気温と異なる場合があります。
	23	エンジン油温 (OBDⅡアダプター要)	車両のエンジンオイルの温度を表示します。 付加情報：最高エンジンオイル温度 [MAXOIL]
エンジン	24	スロットル開度 ※ 3 (OBDⅡアダプター要)	エンジンのスロットル開度を表示します。 付加情報：①平均スロットル開度 [AVETHR]、 ②最大スロットル開度 [MAXTHR]
	25	エンジン負荷 ※ 3 (OBDⅡアダプター要)	エンジンの負荷を 0% ～ 100% で表示します。 付加情報：①平均エンジン負荷 [AVELOD]、 ②最大エンジン負荷 [MAXLOD]
	26	回転数 (OBDⅡアダプター要)	エンジンの回転数をアナログと数値で表示します。 付加情報：①平均回転数 [AVERPM]、②最大回転数 [MAXRPM]

※ 2：消費燃料および移動距離から燃費を算出しているため、車両の燃費計と一致しない場合があります。
数値の補正はできません。
※ 3：アイドリング中でも 0% にならない場合があります。

カテゴリ	No.	メーターの種類	メーターの内容
その他	27	OFF	指定した場所の中メーターを表示しません。
	28	潮汐情報	検潮地点名、月齢、潮名を表示します。周期的に、満潮・干潮時刻と潮位を表示します。
	29	衛星情報	衛星の受信状態を表示します。受信レベルにより、色が 6 色に変わります。進行方向が上方向です。
	30	警報パネル	警報発生時に警報の種類をお知らせします。登録されている場合は、実写警報に切り替わります。ターゲットの方向を周囲のリングで示します。
HV1 ※ 4	31	HV システムパワー	エンジン・モーターを含めた出力を表示します。
	32	HV Fr モータパワー	フロントモーターの出力を表示します。
	33	HV Rr モータパワー	リヤモーターの出力を表示します。
	34	HV Rr トルク配分	リヤモーターへのトルク配分を表示します。
	35	HV バッテリー電流	HV バッテリーの充放電の電流値を表示します。
	36	HV バッテリー電圧	HV バッテリーの電圧値を表示します。
	37	HV 補機バッテリー電圧	HV 補機バッテリーの電圧値を表示します。
	38	HV 全電池容量	バッテリーの充電率を表示します。
HV2 ※ 4	39	HV エンジンパワー	エンジンの出力を表示します。
	40	HV 昇圧後電圧	HV バッテリーの昇圧された電圧値を表示します。
	41	HV アクセル開度	アクセルの踏みこみ量を表示します。 ※ アクセルペダルを踏んでいなくても、0%にならない場合があります。
	42	HV エアコン消費電力	現在のエアコン消費電力を表示します。
	43	HV ジェネレータ発電量	充電用発電機の発電量を表示します。
	44	HV 滑空	モーター / エンジンで駆動しているときは「+」、電力を回生しているときは「-」を表示します。

※ 4：別売品の OBDⅡアダプター (OBD-HVTM、OBD12-MⅢ (ハイブリッド車に装着時)) 装着時のみ選択できます。

小メーター

プリセット画面内で小メーターとして選択できる項目です。

カテゴリ	No.	メーターの種類	メーターの内容
速度	1	速度 0-180km/h	180km/h がメーター最大値で速度を表示します。
	2	速度 0-240km/h	240km/h がメーター最大値で速度を表示します。
エコドライブ	3	エコドライブ	エコドライブポイントを表示します。
加速度	4	前後加速度	前後方向の加速度を表示します。
	5	左右加速度	左右方向の加速度を表示します。
傾斜・方位	6	ピッチ	前後方向の回転を表示します。
	7	ロール	左右方向の回転を表示します。
	8	コンパス(ヨー)	進行方向を表示します。
	9	ピッチレート	ピッチ角速度を表示します。
	10	ロールレート	ロール角速度を表示します。
	11	ヨーレート	ヨー角速度を表示します。
圧力	12	気圧	現在の気圧を表示します。
	13	インマニ圧(OBD 要)※ 1	相対インマニ圧を表示します。
	14	ブースト圧(OBD 要)※ 1	相対ブースト圧を表示します。
燃費・燃料	15	瞬間燃費(OBD 要)※ 2	瞬間の燃費を表示します。
	16	今回燃費(OBD 要)※ 2	今回走行時の平均燃費を表示します。(注 1)
	17	平均燃費(OBD 要)※ 2	OBDⅡアダプターで接続後の平均燃費を表示します。(注 1)
	18	一般道平均燃費(OBD 要)※ 2	OBDⅡアダプターで接続後の一般道での平均燃費を表示します。(注 1)
	19	高速道平均燃費(OBD 要)※ 2	OBDⅡアダプターで接続後の高速道での平均燃費を表示します。(注 1)
	20	生涯燃費(OBD 要)※ 2	OBDⅡアダプターで接続後の平均燃費を表示します。(注 2)
	21	移動平均燃費(OBD 要)※ 2	直近 16km 区間での燃費を表示します。
	22	燃料流量(OBD 要)	燃料の流量を表示します。

(注 1) : 「OBD 設定」→「平均クリア」でリセットされます。
(注 2) : 「OBD 設定」→「オールクリア」でのみリセットします。「平均クリア」ではリセットされません。
※ 1 : この数値は 1 気圧に対しての相対値です。過給機を持たない車両では、圧力は 0 を超えません。
※ 2 : 消費燃料および移動距離から燃費を算出しているため、車両の燃費計と一致しない場合があります。
数値の補正はできません。

カテゴリ	No.	メーターの種類	メーターの内容
温度	23	エンジン水温	エンジン冷却水の温度を表示します。
	24	吸気温	エンジンの吸気温度を表示します。
	25	外気温※ 3	外気の温度を表示します。
エンジン	26	スロットル開度※ 4	エンジンのスロットル開度を表示します。
	27	エンジン負荷※ 4	エンジンの負荷を表示します。
	28	回転数 0-4000rpm	エンジンの回転数を 4000rpm がメーター最大値で表示します。
	29	回転数 0-6000rpm	エンジンの回転数を 6000rpm がメーター最大値で表示します。
その他	30	回転数 0-8000rpm	エンジンの回転数を 8000rpm がメーター最大値で表示します。
	31	OFF	小メーターを表示しません。
	32	時計	時刻を表示します。
HV1 ※ 6	33	HV システムパワー	エンジン・モーターを含めた出力を表示します。
	34	HV Fr モータパワー	フロントモーターの出力を表示します。
	35	HV Rr モータパワー	リヤモーターの出力を表示します。
	36	HV Rr トルク配分	リヤモーターへのトルク配分を表示します。
	37	HV バッテリー電圧	HV バッテリーの電圧値を表示します。
	38	HV バッテリー電流	HV バッテリーの充放電の電流値を表示します。
	39	HV 補機バッテリー電圧	HV 補機バッテリーの電圧を表示します。
	40	HV 全電池容量	バッテリーの充電率を表示します。
HV2 ※ 6	41	HV エンジンパワー	エンジンの出力を表示します。
	42	HV 昇圧後電圧	HV バッテリーの昇圧された電圧値を表示します。
	43	HV アクセル開度※ 5	アクセルの踏みこみ量を表示します。
	44	HV エアコン消費電力	現在のエアコン消費電力を表示します。
	45	HV ジェネレータ発電量	充電用発電機の発電量を表示します。
	46	HV 滑空	モーター / エンジンで駆動している時は「+」、電力を回生している時は「-」で表示します。

(注 1) : 「OBD 設定」→「平均クリア」でリセットされます。
(注 2) : 「OBD 設定」→「オールクリア」でのみリセットします。「平均クリア」ではリセットされません。
※ 3 : 車両によっては、センサーの位置により車外の気温と異なる場合があります。
※ 4 : アイドリング中でも 0% にならない場合があります。
※ 5 : アクセルペダルを踏んでいなくても、0% にならない場合があります。
※ 6 : 別売品の OBDⅡアダプター(OBD-HVTM、OBD12-MⅢ (ハイブリッド車に装着時))装着時のみ選択できます。

1/8、1/14 表示

プリセット画面内で 1/8 表示・1/14 表示として選択できる項目です。

カテゴリ	No.	メーターの種類	OBD	メーターの内容
速度	1	速度		現在の速度
	2	平均速度		今回の平均速度
	3	一般道平均速度	要	今回の一般道平均速度
	4	高速道平均速度	要	今回の高速道平均速度
	5	最高速度		今回の最高速度
	6	5 秒速度	要	発車から 5 秒後の速度
	7	平均 5 秒速度	要	発車から 5 秒後の速度の平均値
	8	最高 5 秒速度	要	発車から 5 秒後の速度の最高値
走行時間 1	9	走行時間	要	今回の停車していない時間
	10	1-20km/h 走行時間	要	1-20km/h の範囲での走行時間
	11	20-40km/h 走行時間	要	20-40km/h の範囲での走行時間
	12	40-60km/h 走行時間	要	40-60km/h の範囲での走行時間
	13	60-80km/h 走行時間	要	60-80km/h の範囲での走行時間
	14	80-100km/h 走行時間	要	80-100km/h の範囲での走行時間
	15	100km/h 以上走行時間	要	100km/h 以上の範囲での走行時間
	16	運転時間	要	今回の運転時間
	17	停車時間	要	今回の停車時間
	18	1000m ラップ	要	電源 ON から 1000m 走行ごとにかかった時間
走行時間 2	19	5000m ラップ	要	電源 ON から 5000m 走行ごとにかかった時間
	20	10000m ラップ	要	電源 ON から 10000m 走行ごとにかかった時間
	21	0-400m 時間	要	発車から 400m 走行にかかった時間
	22	0-1000m 時間	要	発車から 1000m 走行にかかった時間
	23	0-400m 平均時間	要	発車から 400m 走行にかかった平均時間
	24	0-1000m 平均時間	要	発車から 1000m 走行にかかった平均時間
	25	0-400m 最短時間	要	発車から 400m 走行にかかった最短時間
	26	0-1000m 最短時間	要	発車から 1000m 走行にかかった最短時間
走行 比率	27	走行比率	要	運転時間に対して走行している時間の比率
	28	1-20km/h 走行比率	要	1-19km/h の範囲で走行している比率
	29	20-40km/h 走行比率	要	20-39km/h の範囲で走行している比率
	30	40-60km/h 走行比率	要	40-59km/h の範囲で走行している比率

カテゴリ	No.	メーターの種類	OBD	メーターの内容
走行比率	31	60-80km/h 走行比率	要	60-79km/h の範囲で走行している比率
	32	80-100km/h 走行比率	要	80-99km/h の範囲で走行している比率
	33	100km/h 以上走行比率	要	100km/h 以上で走行している
	34	停車比率	要	運転時間に対して停車している時間の比率
	35	今回エンジン走行比率	要	今回走行した距離に対して今回エンジンで走行した比率
	36	生涯エンジン走行比率	要	生涯走行した距離に対して生涯エンジンで走行した比率
エコ ドライブ 1	37	エコ総合ポイント		エコドライブ画面の総合ポイント
	38	エコ加速ポイント		エコドライブ画面の加速ポイント
	39	エコ減速ポイント		エコドライブ画面の減速ポイント
	40	エコ経済速度ポイント		エコドライブ画面の経済速度ポイント
	41	エコアイドリングポイント		エコドライブ画面のアイドリングポイント
	42	今回アイドリングストップ時間※ 1	要	今回アイドリングストップした時間の累積値
	43	最小アイドリングストップ時間※ 1	要	アイドリングストップした時間の最小値
	44	最大アイドリングストップ時間※ 1	要	アイドリングストップした時間の最大値
	45	今回アイドリング時間	要	車速 0 でエンジンが掛かっていた時間
エコ ドライブ 2	46	今回エンジン始動回数	要	今回エンジンを始動した回数
	47	今回アイドリングストップ回数※ 1	要	今回アイドリングストップした回数
	48	0-10 アイドルストップ回数※ 1	要	アイドリングストップ時間が 0-10 秒の回数
	49	10-20 秒アイドルストップ回数※ 1	要	アイドリングストップ時間が 10-20 秒の回数
	50	20-30 秒アイドルストップ回数※ 1	要	アイドリングストップ時間が 20-30 秒の回数
	51	30 秒以上アイドルストップ回数※ 1	要	アイドリングストップ時間が 30 秒以上の回数
	52	0-10 秒アイドルストップ比率※ 1	要	アイドリングストップ時間が 0-10 秒の比率
	53	10-20 アイドルストップ比率※ 1	要	アイドリングストップ時間が 10-20 秒の比率
	54	20-30 秒アイドルストップ比率※ 1	要	アイドリングストップ時間が 20-30 秒の比率
	55	30 秒以上アイドルストップ比率※ 1	要	アイドリングストップ時間が 30 秒以上の比率

※ 1：別売品の OBD II アダプター (OBD-HVTM、OBD12-M III) 装着時のみ項目名が切り替わります。

今回アイドリングストップ時間→今回エンジンストップ時間
最小アイドリングストップ時間→最小エンジンストップ時間
最大アイドリングストップ時間→最大エンジンストップ時間
今回アイドリングストップ回数→今回エンジンストップ回数
0-10 秒アイドルストップ回数→ 0-10 秒エンジンストップ回数
10-20 秒アイドルストップ回数→ 10-20 秒エンジンストップ回数
20-30 秒アイドルストップ回数→ 20-30 秒エンジンストップ回数
30 秒以上アイドルストップ回数→ 30 秒以上エンジンストップ回数
0-10 秒アイドルストップ比率→ 0-10 秒エンジンストップ比率
10-20 秒アイドルストップ比率→ 10-20 秒エンジンストップ比率
20-30 秒アイドルストップ比率→ 20-30 秒エンジンストップ比率
30 秒以上アイドルストップ比率→ 30 秒以上エンジンストップ比率



カテゴリ	No.	メーターの種類	OBD	メーターの内容
加速度	56	前後加速度		前後方向の加速度
	57	左右加速度		左右方向の加速度
	58	最大加速度		最大の加速度
	59	最大減速度		最大の減速度
	60	最大左右加速度		最大の左右加速度
加速時間 1	61	0-20km/h 加速時間	要	0-20km/h 加速にかかった時間
	62	0-40km/h 加速時間	要	0-40km/h 加速にかかった時間
	63	0-60km/h 加速時間	要	0-60km/h 加速にかかった時間
	64	0-80km/h 加速時間	要	0-80km/h 加速にかかった時間
	65	0-100km/h 加速時間	要	0-100km/h 加速にかかった時間
	66	0-20km/h 平均加速	要	0-20km/h 加速にかかった平均時間
	67	0-40km/h 平均加速	要	0-40km/h 加速にかかった平均時間
	68	0-60km/h 平均加速	要	0-60km/h 加速にかかった平均時間
	69	0-80km/h 平均加速	要	0-80km/h 加速にかかった平均時間
	70	0-100km/h 平均加速	要	0-100km/h 加速にかかった平均時間
加速時間 2	71	0-20km/h 最短加速	要	0-20km/h 加速にかかった最短時間
	72	0-40km/h 最短加速	要	0-40km/h 加速にかかった最短時間
	73	0-60km/h 最短加速	要	0-60km/h 加速にかかった最短時間
	74	0-80km/h 最短加速	要	0-80km/h 加速にかかった最短時間
	75	0-100km/h 最短加速	要	0-100km/h 加速にかかった最短時間
傾斜・ 方位	76	ピッチ		前後方向の回転
	77	ロール		左右方向の回転
	78	方位		北を 0° とし時計回りに 359° の範囲で進行方向を表示
	79	ピッチレート		ピッチ角速度
	80	ロールレート		ロール角速度
	81	ヨーレート		ヨー角速度
	82	最大ピッチレート		最大ピッチ角速度
	83	最大ロールレート		最大ロール角速度
	84	最大ヨーレート		最大ヨー角速度
圧力	85	気圧		現在の気圧
	86	相対インマニ圧	要	インマニ圧の相対値
	87	最大相対インマニ圧	要	インマニ圧の最大相対値
	88	絶対インマニ圧	要	インマニ圧の絶対値
	89	最大絶対インマニ圧	要	インマニ圧の最大絶対値
	90	ブースト圧	要	ブースト圧の相対値
	91	最大ブースト圧	要	ブースト圧の最大値

カテゴリ	No.	メーターの種類	OBD	メーターの内容
リマイン ダー	92	オイル残日数		オイル設定した期間の残日数
	93	オイルエレメント残日数		オイルエレメント設定した期間の残日数
	94	タイヤ残日数		タイヤ設定した期間の残日数
	95	バッテリー残日数		バッテリー設定した期間の残日数
	96	オイル残距離	要	オイル設定した距離の残距離
	97	オイルエレメント残距離	要	オイルエレメント設定した距離の残距離
	98	タイヤ残距離	要	タイヤ設定した距離の残距離
燃費	99	バッテリー残距離	要	バッテリー設定した距離の残距離
	100	瞬間燃費	要	瞬間の燃費
	101	今回燃費	要	今回走行時の平均燃費(注 1)
	102	最大今回燃費	要	今回走行時の最大燃費(注 1)
	103	平均燃費	要	OBD II アダプターで接続後の平均燃費(注 1)
	104	一般道平均燃費	要	OBD II アダプターで接続後の一般道平均燃費(注 1)
	105	高速道平均燃費	要	OBD II アダプターで接続後の高速道平均燃費(注 1)
	106	生涯燃費	要	OBD II アダプターで接続後の平均燃費(注 2)
	107	移動平均燃費	要	16km 区間での平均燃費
	108	最大移動平均燃費	要	16km 区間での最大移動平均燃費
燃料	109	燃料流量	要	燃料の流量
	110	平均燃料流量	要	今回走行時での平均燃料流量
	111	最大燃料流量	要	今回走行時での最大燃料流量
	112	残燃料	要	残りの燃料
	113	燃料レベル	要	残りの燃料レベル(割合)
	114	今回消費燃料	要	今回走行時の消費燃料
	115	消費燃料	要	OBD II アダプターで接続後の消費燃料(注 1)
距離	116	生涯消費燃料	要	OBD II アダプターで接続後の消費燃料(注 2)
	117	今回走行距離	要	今回走行時での走行距離
	118	走行距離	要	OBD II アダプターで接続後の走行距離(注 1)
	119	生涯走行距離	要	OBD II アダプターで接続後の走行距離(注 2)
	120	今回エンジン走行距離	要	今回走行時のエンジン走行距離
	121	生涯エンジン走行距離	要	OBD II アダプターと接続後のエンジン走行距離
温度	122	エンジン水温	要	エンジン冷却水の温度
	123	最高エンジン水温	要	エンジン冷却水の最高温度
	124	吸気温	要	エンジンの吸気温度
	125	最高吸気温	要	エンジンの最高吸気温度
	126	外気温	要	外気の温度
	127	最高外気温	要	外気の最高温度
	128	エンジン油温	要	エンジンオイルの温度
	129	最高エンジン油温	要	エンジンオイルの最高温度

注 1 : 「OBD 設定」→「平均クリア」でリセットされます。
注 2 : 「OBD 設定」→「オールクリア」でのみリセットします。「平均クリア」ではリセットされません。

カテゴリ	No.	メーターの種類	OBD	メーターの内容
エンジン	130	スロットル開度	要	エンジンのスロットル開度
	131	平均スロットル開度	要	今回走行時の平均スロットル開度
	132	最大スロットル開度	要	今回走行時の最大スロットル開度
	132	エンジン負荷	要	現在のエンジン負荷
	133	平均エンジン負荷	要	今回走行時の平均エンジン負荷
	134	最大エンジン負荷	要	今回走行時の最大エンジン負荷
	135	MAF	要	エンジンに吸気される空気量
	136	INJ	要	インジェクション噴射時間
	137	点火時期	要	エンジン点火プラグの点火時期
	138	回転数	要	エンジン回転数
	139	平均回転数	要	今回走行時の平均回転数
	140	最高回転数	要	今回走行時の最高回転数
衛星	141	全衛星受信数		現在の全衛星受信数
	142	GPS 受信数		現在の GPS 受信数
	143	GLONASS 受信数		現在の GLONASS 受信数
	144	QZSS 受信数		現在の QZSS 受信数
	145	SBAS 受信数		現在の SBAS 受信数
その他	146	カレンダー		カレンダー
	147	高度		現在地の高度
	148	OFF (1/8 表示のみ)		項目を表示しません
HV1 ※ 2	149	HV システムパワー	要	エンジン・モーターを含めた出力を表示します。
	150	HV Fr モータパワー	要	フロントモーターの出力を表示します。
	151	HV Rr モータパワー	要	リヤモーターの出力を表示します。
	152	HV Rr トルク配分	要	リヤモーターへのトルク配分を表示します。
	153	HV バッテリー電圧	要	HV バッテリーの電圧値を表示します。
	154	HV バッテリー電流	要	HV バッテリーの充放電の電流値を表示します。
	155	HV 補機バッテリー電圧	要	HV 補機バッテリーの電圧を表示します。
	156	HV 全電池容量	要	バッテリーの充電率を表示します。
	157	HV エンジンパワー	要	エンジンの出力を表示します。
	158	HV 昇圧後電圧	要	HV バッテリーの昇圧された電圧値を表示します。
	159	HV アクセル開度	要	アクセルの踏みこみ量を表示します。 ※ アクセルペダルを踏んでいなくても、0%にならない場合があります。
	160	HV エアコン消費電力	要	現在のエアコン消費電力を表示します。
HV2 ※ 2	161	HV ジェネレータ発電量	要	充電用発電機の発電量を表示します。
	162	HV 滑空	要	モーター / エンジンで駆動している時は「+」、 電力を回生している時は「-」で表示します。

※ 2：別売品の OBDⅡアダプター (OBD-HVTM、OBD12-MⅢ) 装着時のみ選択できます。